

【資料2】

# 白河市第2次総合計画 基本計画（案）

平成25年2月14日現在



# 目次

## 分野別計画

---

施策体系図	4
<b>1 安全・安心分野</b>	
1-1 防災・減災対策の充実	10
1-2 消防・救急体制の強化	14
1-3 交通安全対策の充実	16
1-4 防犯・消費生活対策の充実	18
1-5 原子力災害対策の推進	20
<b>2 健康・福祉・医療分野</b>	
2-1 健康づくり・健康管理の推進	24
2-2 医療体制の充実	28
2-3 子育て支援の推進	32
2-4 高齢者福祉の推進	36
2-5 障がい者福祉の推進	40
2-6 地域福祉の充実	42
<b>3 産業・雇用分野</b>	
3-1 商業の振興	46
3-2 工業の振興	50
3-3 農林業の振興	54
3-4 観光の振興	58
3-5 雇用環境・勤労環境の充実	62
3-6 再生可能エネルギーの推進	64
<b>4 教育・生涯学習分野</b>	
4-1 生きる力と思いやりを育む教育の充実	68
4-2 青少年の健全な育成	72
4-3 生涯学習社会の実現	74
4-4 文化・スポーツの振興	78
4-5 歴史や伝統文化の保存・継承	82

5	都市基盤分野	
5-1	魅力ある街並みの形成	86
5-2	快適な道路網の整備	90
5-3	良好な居住環境の整備	94
5-4	公共交通の充実	98
5-5	安全で安定した水の供給	102
5-6	衛生的で快適な下水道の整備	104
6	環境分野	
6-1	資源循環型社会の形成	108
6-2	地域環境の保全	110
6-3	緑豊かで身近な自然環境の保全と創出	114
7	コミュニティ・行財政分野	
7-1	市民との協働による地域づくり	120
7-2	人権尊重・男女共同参画社会の推進	124
7-3	多様な交流と連携の推進	128
7-4	開かれた市政の推進	130
7-5	効果的・効率的な行政運営の推進	132
7-6	健全な財政運営の推進	136

## 重点戦略プラン

---

1	重点戦略プラン設定の方法	143
2	重点戦略プラン設定の具体化	143
	重点戦略プラン1 白河の安心で安全な暮らしを支える環境づくり	145
	重点戦略プラン2 活力にあふれ躍動する白河の礎づくり	146
	重点戦略プラン3 白河の歴史と文化を活かしたまちづくり	147
	重点戦略プラン4 白河の未来を担う人と輝く地域づくり	148

# 分野別計画

## 施策体系図

- 1 安全・安心分野
- 2 健康・福祉・医療分野
- 3 産業・雇用分野
- 4 教育・生涯学習分野
- 5 都市基盤分野
- 6 環境分野
- 7 コミュニティ・行財政分野



# 施策体系図

---

# 施策体系図

## 1 安全・安心分野

～安全・安心に暮らせる人にやさしいまち～

### 1-1 防災・減災対策の充実

- 1-1-1 防災・減災意識の啓発
- 1-1-2 防災・減災体制の強化
- 1-1-3 防災・減災施設の整備
- 1-1-4 治山・治水対策の推進

### 1-2 消防・救急体制の強化

- 1-2-1 防火意識の啓発
- 1-2-2 消防体制の充実
- 1-2-3 消防施設の整備
- 1-2-4 救急・救助体制の充実
- 1-2-5 市民への救命救急知識・技術の普及

### 1-3 交通安全対策の充実

- 1-3-1 交通安全意識の啓発
- 1-3-2 交通安全環境の整備
- 1-3-3 交通事故被害者救済対策の充実

### 1-4 防犯・消費生活対策の充実

- 1-4-1 防犯意識の啓発
- 1-4-2 防犯体制の充実
- 1-4-3 防犯施設等の整備
- 1-4-4 消費相談体制の充実
- 1-4-5 消費者の意識・知識の啓発

### 1-5 原子力災害対策の推進

- 1-5-1 放射線等の実態把握
- 1-5-2 除染対策の推進
- 1-5-3 汚染廃棄物の円滑な処理
- 1-5-4 円滑な原子力損害賠償請求の支援

## 2 健康・福祉・医療分野

～いきいきと健やかで明るい笑顔があふれるまち～

### 2-1 健康づくり・健康管理の推進

- 2-1-1 健康づくりの推進
- 2-1-2 保健指導の充実
- 2-1-3 早期発見・予防対策の推進
- 2-1-4 子どもの健やかな発達支援の充実
- 2-1-5 原子力災害に伴う市民の健康管理

### 2-2 医療体制の充実

- 2-2-1 地域医療体制の整備
- 2-2-2 救急医療体制の充実
- 2-2-3 国民健康保険制度の健全な運営

### 2-3 子育て支援の推進

- 2-3-1 保育サービスの充実
- 2-3-2 子育て支援体制の充実
- 2-3-3 保育園等の施設の充実
- 2-3-4 安心して出産・子育てできる環境整備
- 2-3-5 子どもの人権擁護

### 2-4 高齢者福祉の推進

- 2-4-1 介護予防の推進
- 2-4-2 介護保険制度の推進
- 2-4-3 生きがい対策の推進
- 2-4-4 在宅福祉の充実による生活支援の推進
- 2-4-5 高齢者の権利擁護の推進

### 2-5 障がい者福祉の推進

- 2-5-1 障害福祉サービスの充実
- 2-5-2 障がい者相談・支援体制の充実
- 2-5-3 自立・社会参加への支援
- 2-5-4 障がい者の権利擁護の推進



### 2-6 地域福祉の充実

- 2-6-1 地域福祉意識の啓発
- 2-6-2 地域福祉活動の活性化
- 2-6-3 自立（低所得者）生活の支援

### 3-6 再生可能エネルギーの推進

- 3-6-1 啓発・導入促進
- 3-6-2 関連産業の誘致
- 3-6-3 関連企業・人材の育成

## 3 産業・雇用分野

～地域資源を生かし産業を育て、雇用を生むまち～

### 3-1 商業の振興

- 3-1-1 商業機能の充実
- 3-1-2 経営基盤の強化
- 3-1-3 中心市街地の活性化

### 3-2 工業の振興

- 3-2-1 企業誘致の推進
- 3-2-2 企業への支援の充実
- 3-2-3 担い手の育成
- 3-2-4 工業団地の維持管理と整備

### 3-3 農林業の振興

- 3-3-1 担い手の育成・確保と農業経営の安定化
- 3-3-2 地産地消・ブランド化の推進
- 3-3-3 安全・安心な農産物の提供
- 3-3-4 農村環境と農業生産基盤の整備
- 3-3-5 林業の振興

### 3-4 観光の振興

- 3-4-1 イメージ回復と観光客の誘致
- 3-4-2 着地型観光の推進
- 3-4-3 関連団体との連携強化
- 3-4-4 観光情報の発信と市民意識の醸成

### 3-5 雇用環境・就労環境の充実

- 3-5-1 雇用対策の推進
- 3-5-2 就労環境の整備
- 3-5-3 勤労者福祉の充実

## 4 教育・生涯学習分野

～心豊かに学び・ともにふれあい・生きる喜びを実感できるまち～

### 4-1 生きる力と思いやりを育む教育の充実

- 4-1-1 確かな学力の向上
- 4-1-2 豊かな心の育成
- 4-1-3 健やかな体の育成
- 4-1-4 郷土の歴史教育の充実
- 4-1-5 特別支援教育の充実
- 4-1-6 幼児教育の充実
- 4-1-7 魅力ある教育環境の整備
- 4-1-8 大学等への就学機会の確保

### 4-2 青少年の健全な育成

- 4-2-1 家庭教育の充実
- 4-2-2 家庭・地域・学校等との連携
- 4-2-3 青少年の非行防止活動の充実
- 4-2-4 青少年活動の支援

### 4-3 生涯学習社会の実現

- 4-3-1 生涯学習推進体制の充実
- 4-3-2 生涯学習機会の提供
- 4-3-3 生涯学習拠点の充実

### 4-4 文化・スポーツの振興

- 4-4-1 文化・芸術活動の推進
- 4-4-2 文化・芸術団体への支援と人材育成
- 4-4-3 文化交流拠点の整備・充実
- 4-4-4 生涯スポーツ推進体制の充実
- 4-4-5 スポーツ指導者・団体の育成
- 4-4-6 スポーツ施設の充実

4-5 歴史や伝統文化の保存・継承

- 4-5-1 郷土の歴史や伝統文化の保護・継承
- 4-5-2 文化・芸術・歴史の公開・普及
- 4-5-3 埋蔵文化財の保護

5 都市基盤分野

～やすらぎと快適さのある住みよいまち～

5-1 魅力ある街並みの形成

- 5-1-1 自然景観や歴史的街並み景観の保全・活用
- 5-1-2 景観形成に関する啓発の推進
- 5-1-3 魅力ある景観の創出

5-2 快適な道路網の整備

- 5-2-1 生活道路の整備と維持管理
- 5-2-2 主要幹線道路の整備
- 5-2-3 広域幹線道路の整備促進
- 5-2-4 安全で快適な歩道の整備
- 5-2-5 橋りょうの整備

5-3 良好な居住環境の整備

- 5-3-1 市街地の整備
- 5-3-2 居住環境の充実
- 5-3-3 市営住宅の整備
- 5-3-4 情報通信基盤の整備

5-4 公共交通の充実

- 5-4-1 バス交通の確保
- 5-4-2 バス交通の利便性の向上
- 5-4-3 鉄道・空港の利活用の促進

5-5 安全で安定した水の供給

- 5-5-1 安全・安心な水道水の供給
- 5-5-2 水の安定供給の向上
- 5-5-3 健全な水道経営の推進

5-6 衛生的で快適な下水道の整備

- 5-6-1 公共下水道の整備と維持管理
- 5-6-2 農業集落排水施設の整備と維持管理
- 5-6-3 合併処理浄化槽の設置整備の促進
- 5-6-4 水洗化の普及促進

6 環境分野

～自然と共生し、潤いのある環境を未来につなぐまち～

6-1 資源循環型社会の形成

- 6-1-1 資源循環型社会の普及啓発
- 6-1-2 ごみ減量化・資源化・再利用の推進
- 6-1-3 不法投棄対策の推進

6-2 地域環境の保全

- 6-2-1 環境美化の推進
- 6-2-2 環境保全のための教育・学習環境の充実
- 6-2-3 生物多様性の保全
- 6-2-4 環境汚染の防止
- 6-2-5 生活衛生環境の保全

6-3 緑豊かで身近な自然環境の保全と創出

- 6-3-1 史跡を活かした公園等の保存管理と整備
- 6-3-2 身近な公園の維持管理と整備
- 6-3-3 地域緑化の推進
- 6-3-4 森林や里山の保全・活用

## 7 コミュニティ・行財政分野

～地域のふれあいと支え合いで共に創るまち～

### 7-1 市民との協働による地域づくり

- 7-1-1 協働の仕組みづくり
- 7-1-2 参画と協働の推進
- 7-1-3 特色ある地域コミュニティ活動への支援
- 7-1-4 コミュニティ施設の整備と活用促進

### 7-2 人権尊重・男女共同参画社会の推進

- 7-2-1 人権尊重の意識づくり
- 7-2-2 男女共同参画意識の啓発・促進
- 7-2-3 男女共同参画に係る環境整備

### 7-3 多様な交流と連携の推進

- 7-3-1 国際交流の推進
- 7-3-2 地域間交流の推進
- 7-3-3 定住・二地域居住の推進

### 7-4 開かれた市政の推進

- 7-4-1 広聴活動・参画機会の充実
- 7-4-2 広報活動の充実
- 7-4-3 情報の公開と個人情報の保護

### 7-5 効果的・効率的な行政運営の推進

- 7-5-1 事務事業の重点化と効率化
- 7-5-2 最適な主体・手法による公共サービスの提供
- 7-5-3 窓口サービス機能の充実
- 7-5-4 最適な組織機構の構築
- 7-5-5 適正な人事管理と人材育成

### 7-6 健全な財政運営の推進

- 7-6-1 安定した自主財源の確保
- 7-6-2 中長期的な財政構造の健全化



# 1 安全・安心分野

---

安全・安心に暮らせる人にやさしいまち

## 施策 1-1

## 防災・減災対策の充実

## 【めざすまちの姿】

市民一人ひとりが防災・減災に対する知識を身に付け、理解を深めることで、防災意識の高揚が図られるとともに、自主防災組織等の活動の充実により、平時から災害への備えができていいる防災力の高い地域社会が実現されています。

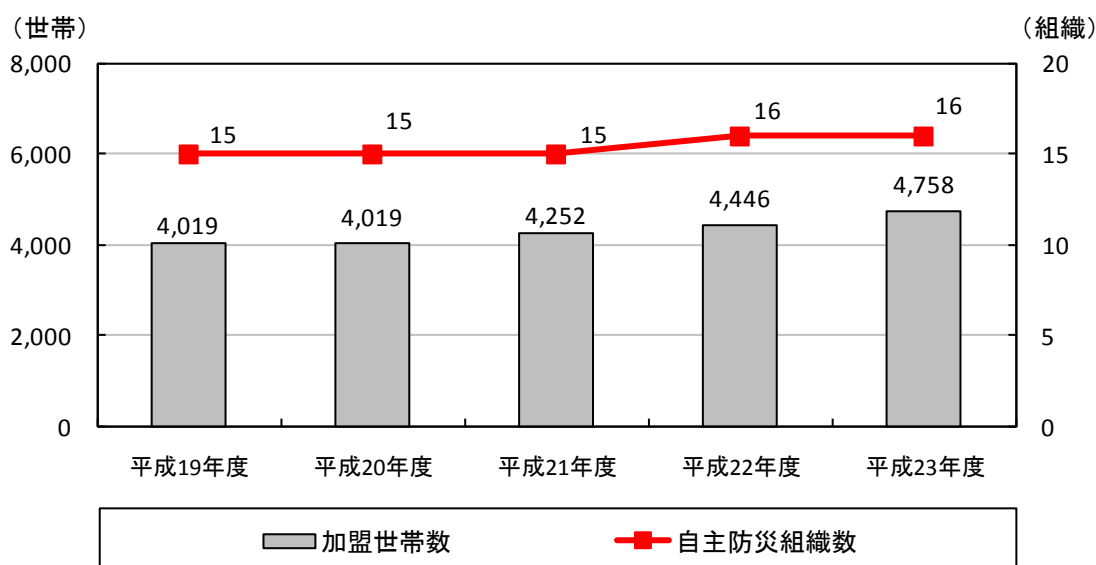
## 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①自主防災組織数	組織	16	21	増加を目指す
②防災資機材交付組織数	組織	14	16	増加を目指す
③防災訓練への参加団体数	団体	16	21	増加を目指す

## 【現状と課題】

- 東日本大震災により本市の社会基盤は大きな被害を受けたことから、防災・減災対策の強化が求められています。
- 震災の経験と教訓から、住民自らの「自助」、消防団・自主防災組織・企業・関係団体などによる「共助」、行政・常備消防・警察・自衛隊などによる「公助」の緊密な連携・協力体制の整備が求められていることから、現在、「白河市地域防災計画」の見直しを進めています。
- 災害発生時に市民一人ひとりが適切に行動できるよう、市民の防災・減災意識の高揚を図る必要があります。
- 町内会等での自主防災組織の結成を促進し、同時に育成を強化するとともに、地域の防災拠点の整備を推進する必要があります。
- 近隣自治体や友好都市、企業との応援協定を締結するなど、災害時における応援協力体制を充実させる必要があります。
- 防災デジタル無線をはじめとする情報通信基盤を整備するなど、災害時の情報伝達手段を確保する必要があります。
- 災害から市民の生命と身体、財産を守るために、急傾斜地や河川の改修・整備を推進する必要があります。

## ■自主防災組織数と加盟世帯数の推移



資料:生活環境課

### 【主要な取組み】

取組み		内容
①	防災・減災意識の啓発	<b>関係機関と連携し、町内会、消防団、市民等が参画する</b> 防災訓練を実施するとともに、 <b>防災マップ等の配布や</b> 広報紙・出前講座の活用などにより、平時から災害への備えができるよう、防災・減災意識の啓発を推進します。
②	防災・減災体制の強化	社会情勢の変化に対応しながら、「白河市地域防災計画」に基づいた計画的な防災・減災体制の充実を図ります。 地域の防災体制を強化するため、町内会等による自主防災組織の育成・強化を図ります。 近隣自治体等と災害応援協定を締結し、広域的な視点からの防災体制の強化に努めるとともに、防災デジタル無線など災害時の情報伝達手段の整備を進めます。
③	防災・減災施設の整備	自主防災組織への防災資機材等の整備促進に努めるとともに、地域の防災拠点の整備に努めます。
④	治山・治水対策の推進	災害の未然防止と被害を最小限に抑えるため、危険性の高い急傾斜地や河川の危険箇所を把握し、国・県と連携して改修・整備を推進します。


【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	自分の身は自分で守るという意識を持って、防災に関する知識を高め、身の回りで実践するとともに、地域での協力体制の確立に努めます。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：-
②	自主防災組織の結成や防災訓練の参加に努め、防災活動に積極的に取り組みます。	市民、団体、関係機関	主要な取組み：② 成果指標：①、②

【主な部門別計画】 白河市地域防災計画

写真を挿入予定





**写真を挿入予定**

施策 1-2

## 消防・救急体制の強化

### 【めざすまちの姿】

地域の安全を守る人材の確保や施設の整備により、緊急時に迅速かつ的確に対応できる消防・救急体制が確立することで、地域住民が安心して暮らせる環境が整っています。

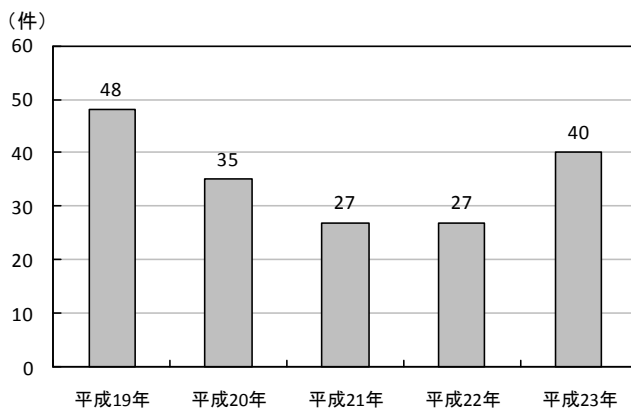
### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①火災発生件数	件/年	27	25	減少を目指す
②消防団員数の条例定数に対する充足率	%	95	96	増加を目指す

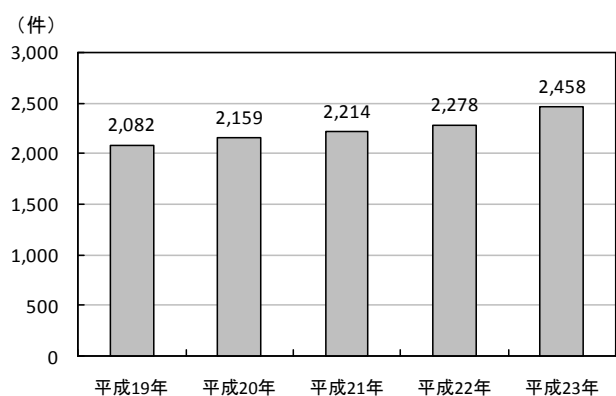
### 【現状と課題】

- 東日本大震災での経験から、地域の防災の担い手としても消防団の重要性・必要性は、**ますます**高まっており、さらなる**消防体制**の強化が求められています。
- 地域防災力を強化するため、防火意識の啓発や消防施設等の計画的な整備が必要です。
- 消防団員の高齢化や団員不足が顕著であるため、団員が活動しやすい環境整備を図ることが必要です。
- 高齢化の進行や近年の大規模災害の増加**により**、救急需要は多様化・拡大していることから、救急・救助体制の充実や、市民への救命救急に関する正しい知識と技術の普及を図ることが必要です。

■火災発生件数の推移



■救急出動件数の推移



資料：白河地方広域市町村圏消防本部（市内）

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	防火意識の啓発	地域の火災予防力を高めるため、広報紙等による情報提供や市民参加の <b>消火・避難訓練</b> の取組みを進め、防火意識の啓発を推進します。 高齢者などの災害弱者をはじめすべての市民を火災から守るため、住宅用火災警報器の普及促進に努め、家庭における防火対策を促進します。
②	消防体制の充実	火災などによる被害を軽減するため、災害時の応急対策等が迅速かつ的確に行えるよう、白河地方広域市町村圏消防本部、市民、事業者、関係団体との連携による総合的な消防体制の充実を図ります。 消防団の活動に対し、市民や事業者などへの周知・啓発による理解の促進を図るとともに、団員が活動しやすい環境づくりに努めます。
③	消防施設の整備	火災などの発生に際し、 <b>迅速で確実な</b> 出動と適切な消防活動を行うため、消防施設や車両・資機材の整備、消防水利の充実に努めます。
④	救急・救助体制の充実	白河地方広域市町村圏消防本部における救急隊員や救助隊員の計画的な育成や資質の向上を支援するとともに、医療機関との連携体制を強化し、救急・救助体制の充実に努めます。
⑤	市民への救命救急知識・技術の普及	救急車の利用のあり方について周知・啓発活動を強化するとともに、救急隊到着までの間に市民等が処置を行えるよう、AEDに関する講習会等の実施により応急手当の普及啓発を図ります。

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 火災に対する正しい知識を身に付け、防火への意識を高めるとともに、防災訓練への参加に努めます。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：①
② 消防団への理解を深めるとともに、消防団活動に協力・参加することで、地域の安全確保に努めます。	市民、団体	主要な取組み：② 成果指標：②
③ 救急車の利用のあり方を理解し、適正利用に努めるとともに、救急救命の知識を学び、技術を身に付け、実践します。	市民、団体	主要な取組み：⑤ 成果指標：-

## 施策 1-3

## 交通安全対策の充実

## 【めざすまちの姿】

市民一人ひとりの交通安全意識の醸成が図られ、交通ルールを守り、思いやりのある交通マナーを実践しています。

地域ぐるみによる活発な交通安全活動などが行われ、安全な交通環境が整うことで、子どもや高齢者、障がい者の安全が確保されています。

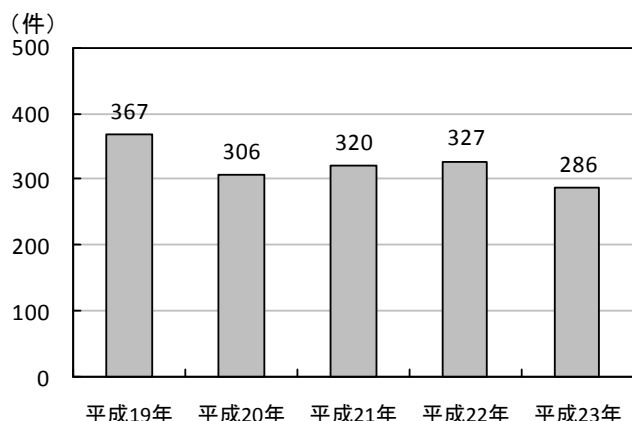
## 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①交通事故発生件数	件/年	273	256	減少を目指す
②交通事故死傷者数	人	357	334	減少を目指す
③市民交通災害共済の加入者数	人	22,665	24,930	増加を目指す

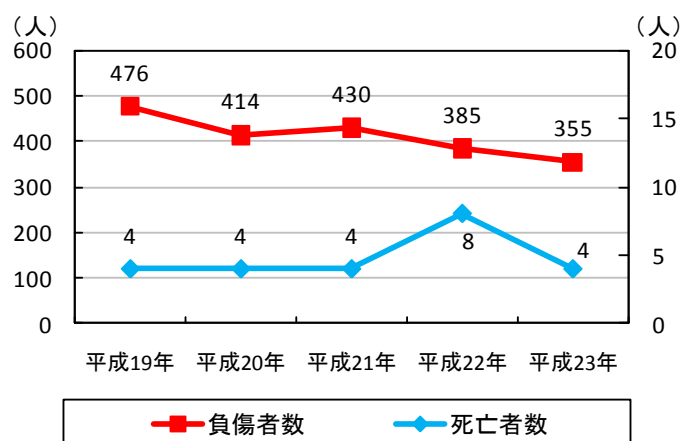
## 【現状と課題】

- 近年の交通事故の特徴は、子どもや高齢者が交通事故に巻き込まれるケースが増加するとともに、夕暮時及び歩行中に多く発生しています。さらに、飲酒運転やスピード違反等を原因とする悪質な交通事故は、依然として減少が見られない状況です。
- 交通事故を減少させるためには、警察をはじめ関係機関や民間団体との連携のもとに、交通安全に向けた教育の充実や普及・啓発活動を積極的に推進し、交通社会に参加する全ての市民一人ひとりの交通安全に対する意識の高揚を図る必要があります。
- 子どもや高齢者を交通事故から守るため、地域住民や行政が一体となって、安全な交通環境の整備を図る必要があります。
- 交通事故により、災害を受けた方を対象に、救済を目的とした市民交通災害共済事業を行っています。万一の交通事故災害に備えて、今後も引き続き、制度の周知・啓発を図り、加入促進に努める必要があります。

■交通事故発生件数の推移



■交通事故死傷者数の推移



資料：白河警察署（市内）

【主要な取組み】

取組み		内容
①	交通安全意識の啓発	警察をはじめ関係機関や民間団体と連携して、交通安全運動を展開し、交通ルールの遵守徹底など交通安全意識の啓発に努めます。 子どもや高齢者など各世代に応じた交通安全教育の推進に努めます。 シートベルト着用などを促す街頭活動や交通指導員の協力による通学路の安全確保など、市民や地域が一体となった交通安全活動を推進します。
②	交通安全環境の整備	道路反射鏡や道路照明等の交通安全施設の整備を図るとともに、適正な管理を行うことで事故の防止に努めます。 交通情勢の変化に応じて、必要な箇所については、信号機・交通標識の設置や交通規制の実施を関係機関に要望していきます。
③	交通事故被害者救済対策の充実	万一の交通事故災害に備えて、市民交通災害共済制度の周知・啓発を図り、加入促進に努めます。

【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 交通安全教室に参加して、交通ルールとマナーを熟知し、交通事故の防止に努めます。	市民	主要な取組み：① 成果指標：①
② 交通災害共済制度に加入し、被災者を会員相互による助け合いで支えます。	市民	主要な取組み：③ 成果指標：③

【主な部門別計画】 第9次白河市交通安全計画

施策 1-4

## 防犯・消費生活対策の充実

### 【めざすまちの姿】

自分たちの地域は自分たちで守るという意識のもと、地域自衛型の防犯活動が行われ、地域社会において犯罪や事件の起きにくい防犯体制が整っています。

消費者トラブルに巻きこまれない対策が適切に行われ、日常生活の安心が確保されています。

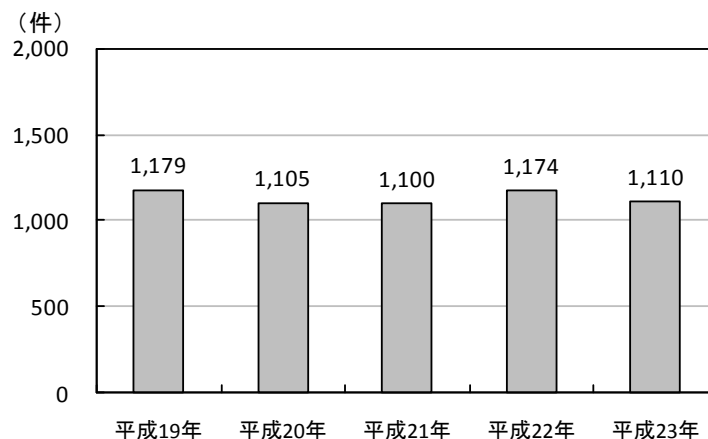
### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①犯罪発生件数（刑法犯認知件数）	件/年	811	730	減少を目指す
②消費生活相談の開催回数	回/年	53	58	増加を目指す

### 【現状と課題】

- 全国的には子供や高齢者を狙った犯罪が増えており、地域での見守り活動など、地域が一体となった防犯体制づくりが必要です。
- 地域においては、自主的な防犯活動が展開されており、今後のさらなる活性化に向け、防犯意識の高揚に努めながら、団体間の連携・協力体制の充実が必要です。
- 道路、街路灯、歩道等については、防犯に配慮した整備や管理を推進する必要があります。
- 消費者を取り巻く環境は、情報通信技術の発展、消費生活の多様化・高度化が進み、消費者問題は相談内容の複雑化・高度化・長期化し、消費者トラブルは増加傾向にあります。
- 関係機関等と緊密に連携しつつ質の向上を図りながら効率的かつ効果的に実施していくため、県消費生活センターや関係機関との連携のもとに消費生活相談や啓発活動の充実に取り組む必要があります。

### ■犯罪発生件数（刑法犯認知件数）の推移



資料：白河警察署（白河警察署管内）

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	防犯意識の啓発	防犯に関する講演会等を開催するとともに、パンフレットの作成や広報紙・ホームページ等による情報提供に努め、防犯意識の向上を図ります。
②	防犯体制の充実	警察や地域、関係機関・団体とのさらなる連携の充実を図るとともに、市民が主体的に行う防犯活動の育成と支援を推進します。 防犯指導隊の活動を充実させ、地域全体で防犯力を高める取り組みを実施します。
③	防犯施設等の整備	街路灯等の防犯上必要な施設の整備を推進するとともに、道路・公園等の樹木を適切に管理し、死角をつくらないなど、防犯に配慮していきます。
④	消費相談体制の充実	消費者トラブルが複雑化、多様化、長期化する傾向にあるため、関係機関・関係団体と緊密な連携を保ち、消費者相談窓口との連絡体制の強化や相談体制の充実に努めるとともに、無料法律相談を実施し消費者問題に対し適切に対応します。
⑤	消費者の意識・知識の啓発	消費者トラブルの対処方法や頻発している問題事例などの情報を提供するよう努め、警察署など関係機関との連携を強化し、啓発活動を推進します。

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	犯罪等による被害から身を守るため、防犯や消費者トラブルに関する基本的な知識の習得に努めます。	市民	主要な取組み：①、⑤ 成果指標：①、②
②	地域に暮らす誰もが安心・安全に暮らせるよう、地域ぐるみでパトロールや見守りを行います。	市民、団体、関係機関	主要な取組み：② 成果指標：①

施策 1-5

## 原子力災害対策の推進

### 【めざすまちの姿】

放射性物質による環境汚染への対処が行われ、市内全域が放射線から安全な地域となり、市民が安心して元の生活を送れています。

### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①住宅除染の実績	戸	1,100	22,000	増加を目指す

### 【現状と課題】

- 原子力災害により、市民は放射性物質による健康影響への不安をはじめ、精神的なストレスにさらされており、原子力災害の収束、環境の回復が求められています。
- 放射線に対する正しい知識の欠如、不正確な情報の拡散などにより、地域の状況が正しく理解されていないことから、風評被害が生じています。
- 一日も早く震災前の生活を取り戻すため、市内全域の放射線量や放射性物質の分布状況などのモニタリングを継続しながら、迅速かつ効果的に除染対策を推進する必要があります。
- 市では、独自に本格的除染までの緊急的措置として、住宅地を対象としたホットスポット除染に取り組んできました。
- 放射性物質に汚染された廃棄物や除染によって発生する除去土壌などの処理が課題となっています。

### ■市内の空間線量率（市内14地区）

地区	平均空間線量率	空間線量率(最小・最大)
旧白河町地区	0.49 $\mu$ Sv/h	0.20~0.85 $\mu$ Sv/h
大沼地区	0.45 $\mu$ Sv/h	0.28~0.64 $\mu$ Sv/h
白坂地区	0.61 $\mu$ Sv/h	0.39~1.16 $\mu$ Sv/h
小田川地区	0.66 $\mu$ Sv/h	0.40~1.14 $\mu$ Sv/h
五箇地区	0.34 $\mu$ Sv/h	0.24~0.55 $\mu$ Sv/h
関辺地区	0.37 $\mu$ Sv/h	0.24~0.53 $\mu$ Sv/h
旗宿地区	0.47 $\mu$ Sv/h	0.34~0.66 $\mu$ Sv/h
旧表郷村古閑地区	0.33 $\mu$ Sv/h	0.22~0.50 $\mu$ Sv/h
旧表郷村金山地区	0.30 $\mu$ Sv/h	0.22~0.58 $\mu$ Sv/h
旧表郷村社地区	0.28 $\mu$ Sv/h	0.23~0.38 $\mu$ Sv/h
旧大信村信夫地区	0.66 $\mu$ Sv/h	0.25~1.82 $\mu$ Sv/h
旧大信村大屋地区	0.76 $\mu$ Sv/h	0.35~1.57 $\mu$ Sv/h
旧東村釜子地区	0.27 $\mu$ Sv/h	0.17~0.40 $\mu$ Sv/h
旧東村小野田地区	0.24 $\mu$ Sv/h	0.12~0.35 $\mu$ Sv/h

※測定器：日立アロカメディカル(株) TCS-172B

※測定場所：地上0.5m、1m

※測定期間：平成23年10月下旬～平成24年1月中旬

平成24年6月下旬(東釜子地区、東小野田地区)

平成24年8月上旬(旧白河市五箇地区、旧表郷村、旧東村)

資料：白河市除染実施計画（放射線対策室）



### 【主要な取組み】

取組み		内容
①	放射線等の実態把握	国・県及び関係機関と連携して、空間線量率や大気などに含まれる放射性物質のモニタリングを継続的に行うとともに、市民に分かりやすく公表します。
②	除染対策の推進	除染実施計画に基づき、追加被ばく線量が年間 1 ミリシーベルト以下となることを目指し、住宅・道路・学校施設・公園・農地・森林などの早期の除染に努め、生活空間の放射線量の低減化を図ります。 国・県及び関係機関と連携して、除染の人材育成、効果的・効率的な技術の普及など、迅速な除染の推進体制の強化に努めます。
③	汚染廃棄物の円滑な処理	除染や仮置場に関する住民理解を促進しながら、除染に伴って生ずる除去土壌等については、市が設置する仮置場に運搬・保管します。
④	円滑な原子力損害賠償請求の支援	原子力損害賠償に関する電話相談や弁護士などによる巡回法律相談に関する情報の提供などにより、賠償請求の支援に努めます。

### 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	放射線等に関する知識を身に付け、日常生活において適切に行動をします。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：-

### 【主な部門別計画】 白河市除染実施計画



## 2 健康・福祉・医療分野

---

いきいきと健やかで明るい笑顔があふれるまち

施策 2-1

## 健康づくり・健康管理の推進

### 【めざすまちの姿】

市民が健康づくりと疾病予防に関心を持ち、自主的な健康増進活動が活発化されることで、健康で生きがいを持ち自立した生活が送られるとともに、あらゆる世代の健やかな暮らしを支える良好な社会環境の構築により、健康寿命が伸びています。

### 【めざす姿の成果指標】

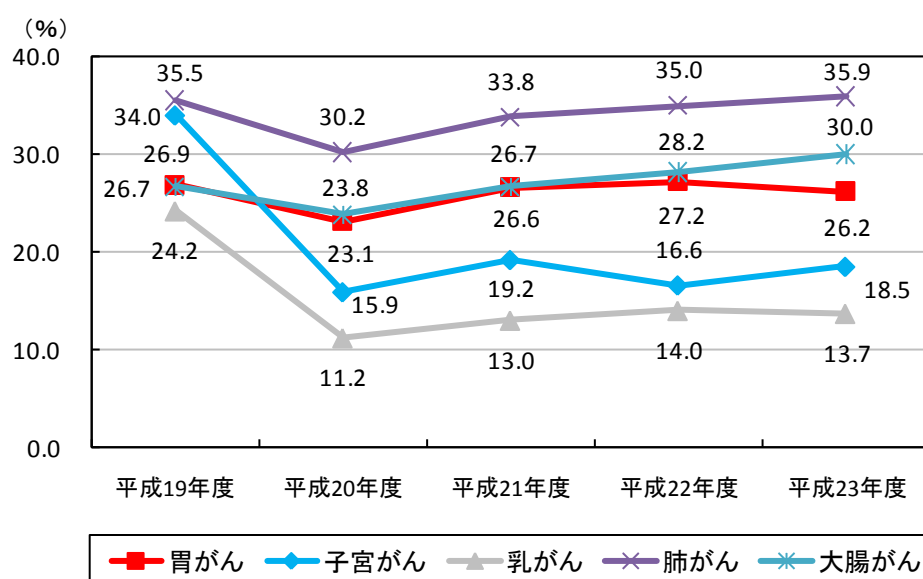
指標名	単位	現状値 (平成 24 年度)	目標値 (平成 29 年度)	方向性
①がん検診受診率				
・胃がん	%	26.2	50	増加を目指す
・大腸がん	%	30.0		
・肺がん	%	35.9		
・子宮がん	%	18.5		
・乳がん	%	13.7		
②特定健康診査受診率	%	38.1	60	増加を目指す
③特定保健指導利用率	%	44.6	60	増加を目指す
④内臓脂肪症候群該当者及び予備群者の割合	%	男 44.1 女 16.1	男 40 女 14	減少を目指す
⑤むし歯のない3歳児の割合	%	65.4	70	増加を目指す

### 【現状と課題】

- 平成 15 年度に策定した「いきいき健康しらかわ 21」計画が平成 25 年度で終了するため、これまでの取り組みの評価や新たな健康課題などを踏まえ、第二次計画を策定し、乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じた様々な課題の解決に取り組んでいく必要があります。
- うつ病などこころの病は増加傾向にあり、さらに、震災後のストレスから、今後もこころの病が増加していくことが予想されます。
- 高齢化の進行や生活習慣の変化により、疾病構造が変化し、疾病全体に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加しています。また、これに伴い、医療・介護などの公的負担が重くなっています。
- 自らの健康管理には、各種健康診査の受診が重要ですが、受診率が伸び悩んでいます。
- 糖尿病ゼロ作戦等を実施していますが、引き続き、生活習慣病の予防に重点を置いた取り組み、合併症の発症や重症化予防を重視した取り組みの推進が必要となります。

- 子どもの発達支援は、ことばの遅れや多動などの子どもが増加していることから、継続した支援が必要です。
- 幼児のむし歯罹患率は、年々減少していますが、国や県の平均と比較して高い状況にあることから、口腔環境の改善とともに、おやつ摂り方や歯ブラシの仕方など年齢に応じた支援が必要です。
- 原発事故後、低線量放射線の健康に対する不安を抱えており、継続した健康管理や、不安の軽減を図る必要があります。

### ■がん検診受診の推移



資料：健康増進課

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	健康づくりの推進	<p>「いきいき健康しらかわ21」第二次計画に基づき、栄養・運動のバランスのとれた生活習慣の定着が図られるよう、各種健康教育や相談体制の充実に努め、生涯を通じた健康づくりを推進します。</p> <p>ライフステージに合わせ、一人ひとりの健康状態に応じた食生活に関する相談・指導を行うとともに、食育の普及・啓発活動に努めます。</p> <p>こころの健康について正しい知識の普及啓発に努めるとともに、専門医や臨床心理士の専門家による相談体制の充実に努めます。</p>
②	保健指導の充実	<p>保健指導を通じて、健康づくりに関する意識の普及・啓発活動を推進するとともに、継続して取り組めるよう支援することにより、市民の自発的な健康づくり活動を促進します。</p> <p>特に、特定健診受診者の特定保健指導の充実と糖尿病や高血圧症などのハイリスク者の重症化を予防するための保健指導の強化に努めます。</p>
③	早期発見・予防対策の推進	<p>生活習慣病の早期発見・早期治療を図るため、検診内容の充実により受診率向上に努めます。</p> <p>感染症を予防するため、予防接種の充実や接種率の向上、感染症の予防の正しい知識の普及・啓発に努めます。</p> <p>特に、新型インフルエンザ等感染症の情報収集と提供機能の強化を図り、迅速かつ的確な対応に努めます。</p>
④	子どもの健やかな発達支援の充実	<p>子どもを安心して生み育てるために、妊婦の健康管理や子どもの発育・発達を支援し、健やかな子育て支援に努めます。</p> <p>健診において発達障がい疑われる乳幼児の早期発見に努め、将来の社会生活を円滑に送ることができるよう、関係機関と連携を密にし、発育発達支援の充実に努めます。</p> <p>学校等と連携し、歯質の強化と甘味の適正摂取、歯の清掃など歯の健康づくりを推進します。</p>
⑤	原子力災害に伴う市民の健康管理	<p>低線量被ばくの健康不安を軽減するため、外部被ばく・内部被ばくの測定、甲状腺検査、健康診査などの健康管理事業に継続して取り組みます。</p> <p>不安の軽減を図るための相談会や放射線学習会などを開催します。</p> <p>将来の病気の発症を予防する免疫力向上の事業に取組み、丈夫な体づくりを支援します。</p>

**【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】**

取組み		主体	期待される波及効果
①	自分の健康に関する意識を高め、健全な食生活を心がけ、適度に体を動かすなど、病気にならない、なりにくい健康的な生活を送れるように努めます。	市民	主要な取組み：①、②、④ 成果指標：④、⑤
②	健康づくりのネットワークを充実し、関係機関との連携により、市民の健康づくりを推進します。	町内会、老人クラブ、食生活改善推進協議会、医師会、関係機関	主要な取組み：①、③、④ 成果指標：①、②、⑤
③	検診の重要性を認識し、定期的に検診を受けることで、自らの健康管理に努めます。	市民	主要な取組み：①、②、③ 成果指標：①、②、③

**【主な部門別計画】** いきいき健康しらかわ21  
白河市食育推進計画

**写真を挿入予定**

施策 2-2

## 医療体制の充実

### 【めざすまちの姿】

市民一人ひとりが「かかりつけ医」を持ち、身近な地域で適切な医療を受けています。休日や夜間の急病に対して、誰もが安心して医療を受けられる体制が整っています。国の制度等の変更や社会情勢の変化に柔軟に対応した国民健康保険制度の健全な運営が図られています。

### 【めざす姿の成果指標】

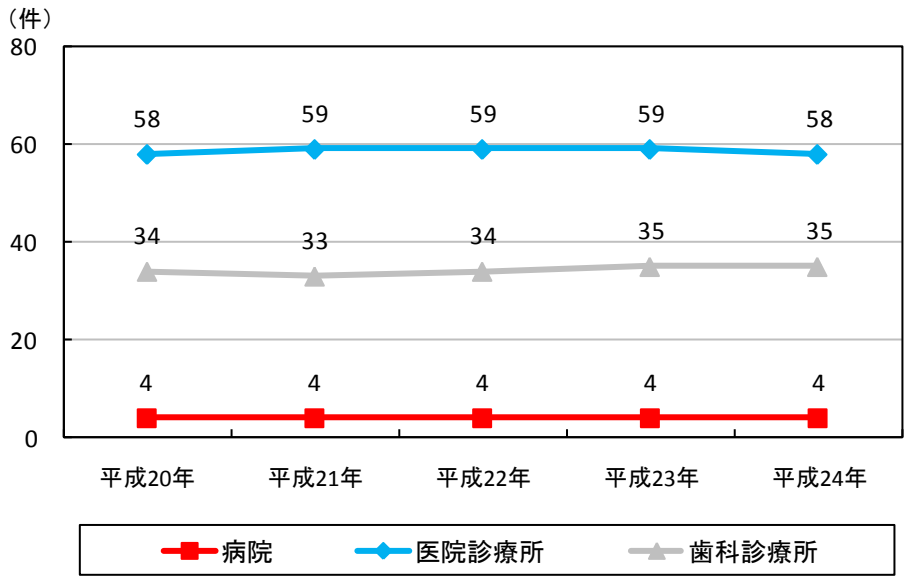
指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①医療施設数	施設	59	63	増加を目指す
②医師数	人	137	147	増加を目指す
③国民健康保険税現年課税分収納率（一般被保険者分）	%	86.38	90.89	増加を目指す

### 【現状と課題】

- 高齢化の進行や健康に関する意識の高まりにより、医療に対する要求が多様化するとともに、医療技術の高度化などにより、医療費の増加傾向が続いています。
- 少子化や18歳まで医療費が無料化されたことにより、コンビニ受診や安易な救急外来の利用などが増えており、医療現場の混乱と医師の疲弊が問題となっています。
- 医師の大都市集中の傾向や、原発事故による放射能問題などにより、福島県では医師離れの傾向にあります。さらに本市においては、医師の高齢化などにより廃止される医療機関が増えており、医師不足は深刻な問題で、地域医療の継続のため医師確保が喫緊の課題となっています。
- 市民一人ひとりが日々安心して暮らすためには、すべての市民が必要なときに、適切な場所で必要な医療を受けられる体制の充実が求められています。また、夜間、休日の急病にも安心して受診できる救急医療体制を強化する必要があります。
- 国民健康保険の事業運営に当たっては、さらなる医療費の適正化を推進するとともに、国保税の収納率向上対策を実施する必要があります。



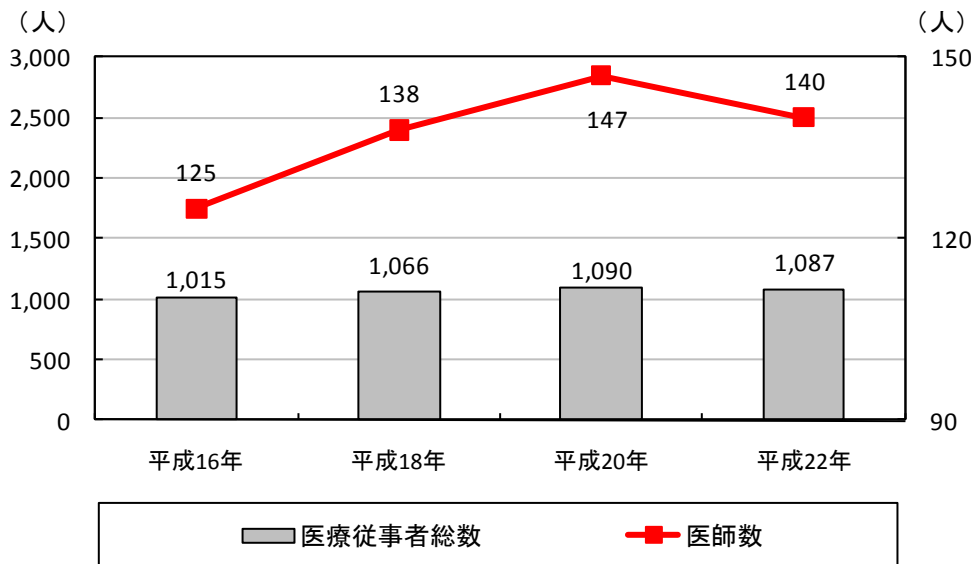
■医療施設数の推移



※各年4月1日現在、病院数は休止中の1病院を含む

資料：県南保健福祉事務所

■医師数及び医療従事者数の推移



※各年4月1日現在


資料：県南保健福祉事務所（隔年調査）

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	地域医療体制の整備	<p><u>安定的・持続的な地域医療体制の充実を図るため、</u>医師会等との連携を図り、医師の確保に努めます。</p> <p><u>市民一人ひとりの身近な健康管理などの地域の初期医療を担う「かかりつけ医」の普及・定着を促進します。</u></p> <p>地域医療の実情について、市民への理解<u>浸透</u>を図るとともに、<u>地域内での医療機関相互の機能分担や円滑な連携を推進します。</u></p>
②	救急医療体制の充実	<p><u>誰もが必要な時に安心して救急医療を受けることができるよう、救急車の適正利用や夜間・休日などの診療時間外の利用などの救急医療の適切な利用方法を周知・啓発します。</u></p> <p>一次救急医療対策として休日当番体制の維持継続に努めるとともに、医師会及び関係機関と連携し、夜間救急体制の整備に努めます。</p> <p>二次救急医療対策としての病院群輪番制の維持継続と応需率向上のため、医療機関の支援に努めます。</p>
③	国民健康保険制度の健全な運営	<p>国保税の適正賦課、収納率の向上による財源確保や診療報酬明細書の再点検、被保険者への医療費の通知、ジェネリック医薬品の勧奨などを通じて、医療費の適正化を図ります。</p> <p>医療費の削減を図るため、保健・医療・福祉の各分野との連携を図り、市民の健康づくりを推進します。</p>

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 病気になった際に気軽に相談でき、適切な処置を受けられるよう、日頃から「かかりつけ医」を持つことに努めます。	市民	主要な取組み：① 成果指標：①、②
② 一次救急・二次救急について理解を深め、適切な救急医療の利用に努めます。	市民	主要な取組み：② 成果指標：①、②
③ 適切な医療機関の受診と国保税の納期内納付に努めます。	市民	主要な取組み：③ 成果指標：③



**写真を挿入予定**

## 施策 2-3

## 子育て支援の推進

## 【めざすまちの姿】

子どもと保護者の保育ニーズに合わせたきめ細やかなサービスを提供することにより、子育てに対する不安も減り、子どもは伸び伸びと心身とも健やかに成長しています。

子育てに伴う経済的負担の軽減を含めた総合的な支援策を充実・拡充することにより、子どもを安心して産み、子育てしやすいまちが形成されています。

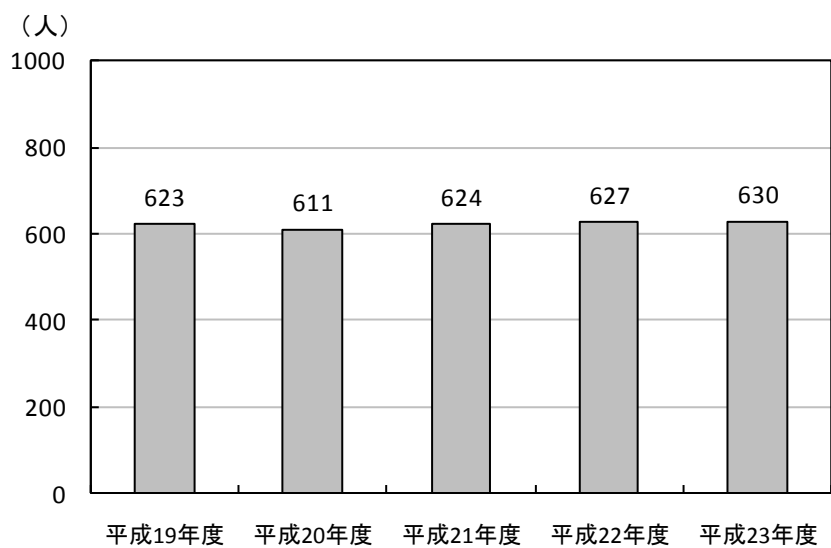
## 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①子育て支援センターの利用者数	人	5,551	6,000	増加を目指す
②つどいの広場の利用者数	人	5,384	6,000	増加を目指す
③ファミリーサポートセンターの登録者数	人	44	100	増加を目指す
④放課後児童クラブの登録率	%	33.7	36.0	増加を目指す
⑤保育園待機児童数	人	6	0	減少を目指す
⑥出生率	%	7.5	7.5	現状レベルを維持する

## 【現状と課題】

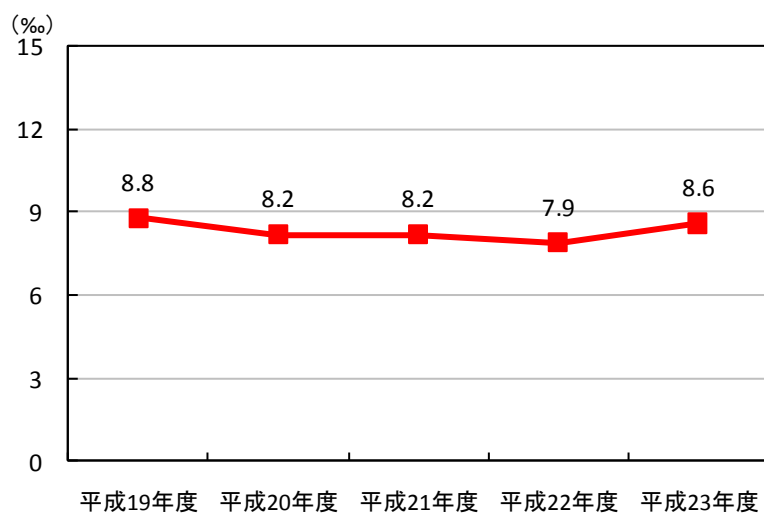
- 少子化の進行や働く女性の増加などにより、子育てに対するニーズは多様化してきており、入園者数の動向等を踏まえた保育園の整備や保護者の勤務時間に合わせた保育園及び放課後児童クラブにおける保育時間の設定など、状況に合わせて効果的な保育サービスを実施する必要があります。
- 保育士の不足が年々深刻化しており、保育士の確保が課題となっています。また、増加傾向にある発達障がいへの対応など、保育の質の向上のため施策を充実する必要があります。
- 原子力災害の発生後、屋外で子どもを遊ばせることの不安から、震災前と比較して子どもの屋外活動が減少しており、運動不足などによる発育や発達への影響が懸念されています。
- 多様化するニーズに柔軟に対応し、共働き家庭にとどまらず、すべての家庭の支援を行うため、地域の多様な担い手による「ファミリーサポートセンター」や地域での子育て支援体制のさらなる充実を図る必要があります。
- 全国的に出生・子育ての家計負担の増加などを背景として、夫婦が希望する子どもの数が減少しています。
- 不妊治療を受ける夫婦が増加しており、経済的負担を軽減するため、平成22年4月から特定不妊治療費助成事業を実施しています。
- 子ども・子育て関連3法（子ども・子育て支援法、認定こども園法一部改正法、整備法）が成立し、実施主体となる市は、子ども・子育て支援の充実を目指し、対応が求められます。

### ■児童館・放課後児童クラブの登録児童数の推移



資料：こども課

### ■出生率の推移



資料：こども課

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	保育サービスの充実	利用者のニーズを踏まえた保育時間の見直し、園毎に特色を持った事業の展開、発達障がいへの正しい理解と対応、保育士の確保・資質向上などに取り組むとともに、変化するニーズを把握し、子ども・子育て関連3法の動向を踏まえながら保育サービスの充実を図ります。
②	子育て支援体制の充実	子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、つどいの広場や地域における子育て支援の充実を図ります。 屋内遊び場を引き続き運営するとともに、子育てサークルや民間団体が実施する活動を支援します。
③	保育園等の施設の充実	乳幼児数の推移、施設の老朽化、幼保一体化の動向などを踏まえて保育園の整備計画を策定し、より利用しやすい保育園へと施設の充実を図るとともに、放課後児童クラブについても、利用者の意向を踏まえて施設や運営の充実を図ります。
④	安心して出産・子育てできる環境整備	不妊治療の費用を助成するとともに、児童手当や18歳までの医療費の無料化により、出産・子育てに伴う経済的負担の軽減を図ります。 妊婦健康診査や乳幼児訪問事業などを実施するとともに、妊娠中・出産後の健康管理や相談・支援などを行います。 養育支援訪問が必要な家庭に対し、迅速な対応ができる体制づくりを進めるとともに、継続支援を必要とする人への一貫した支援体制の構築に努めます。
⑤	子どもの人権擁護	地域全体での子育て支援を推進するため、白河市要保護児童対策協議会、福島県児童相談所、民生・児童委員など関係機関との連携を図るとともに、情報共有化を通じた児童家庭相談事業等の実施により、児童の虐待防止と健全育成を進めます。

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 家庭や地域で子どもや子育てに関心と理解を持ち、あたたかく見守る環境づくりに努めます。	家庭、地域住民、団体	主要な取組み：②、⑤ 成果指標：①、②、③
② 小規模保育事業者や事業所内保育事業者との連携、育児休暇の取得促進などを通じて、働きながら子育てできる環境づくりに努めます。	事業者	主要な取組み：① 成果指標：⑤

## 【主な部門別計画】 白河市次世代育成支援行動計画（後期計画）

**写真を挿入予定**

## 施策 2-4

## 高齢者福祉の推進

## 【めざすまちの姿】

超高齢社会に対応した介護・保健福祉・生きがいづくりなどの各種取組みを計画的に進めることで、高齢者を含めたすべての市民が個人の尊厳を保持しながら、住み慣れた地域で心身ともに健やかに暮らしています。

## 【めざす姿の成果指標】

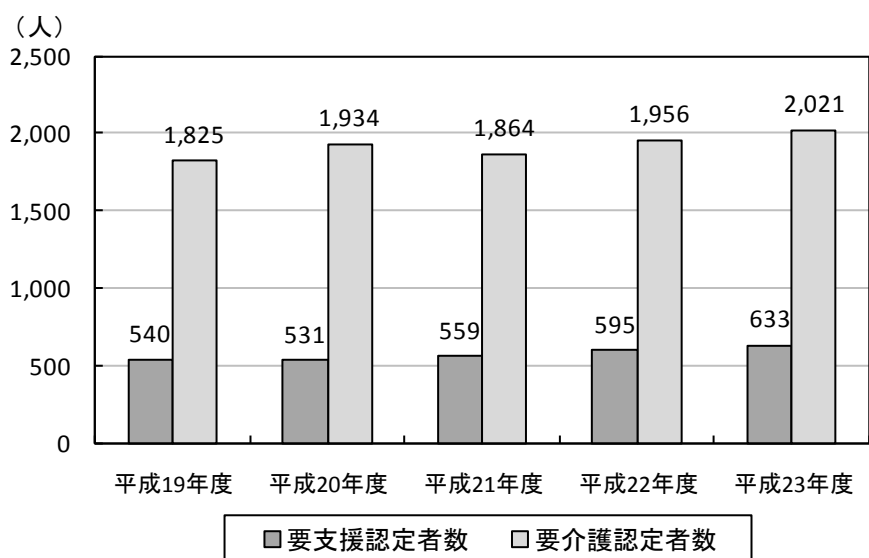
指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①二次予防事業への参加者数	人	139	220	増加を目指す
②認知症サポーターの人数	人	1,086	1,436	増加を目指す
③地域密着型サービス事業所数	か所	8	10	増加を目指す
④高齢者サポーターの人数	人	101	200	増加を目指す
⑤高齢者サロンあったかセンター数	か所	10	20	増加を目指す

## 【現状と課題】

- 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、介護保険の円滑な運営、地域密着型サービス事業所の整備・誘導、介護予防や生きがい活動の各種取組みを推進しています。
- 全国的に高齢化が進行する中、要介護等高齢者に対する介護サービスの充実等を望む市民意識が高まっています。
- 給付と負担のバランスのとれた介護予防事業や介護サービスのさらなる充実、身体能力の低下や認知症の発症など高齢者自身や高齢者を取り巻く環境の変化に対応した福祉サービスの充実や虐待防止等人権擁護が求められます。
- 高齢者がいきいきと自立した生活を送れるよう、白河市地域包括支援センターの機能強化と同センターを中心とした関係機関との円滑な連携を図りながら、高齢者に対する各種事業の展開が必要です。

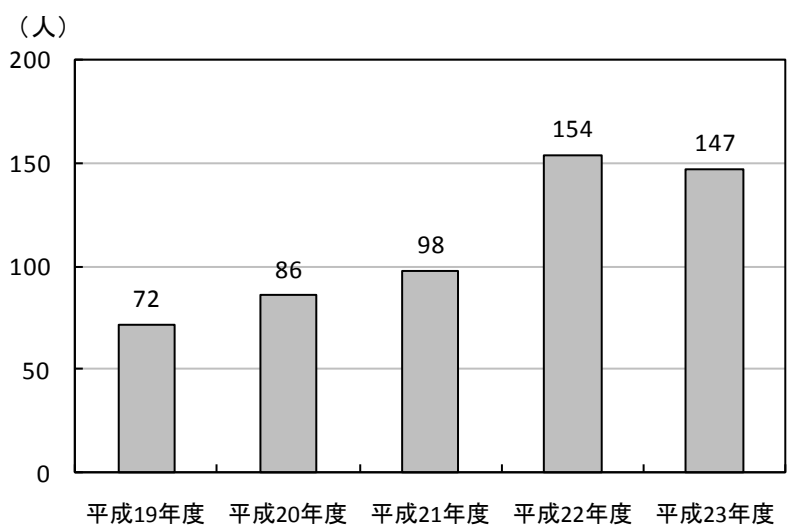


■要介護(要支援)認定者数の推移



資料：高齢福祉課

■地域密着型（介護予防）サービス受給者数の推移



資料：高齢福祉課


## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	介護予防の推進	心身ともに健康で暮らせるよう、地域包括支援センターと連携を図りながら、介護予防の推進を通じて、高齢者の要介護状態への予防や重度化の防止に努めます。
②	介護保険制度の推進	介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、給付と負担のバランスを考慮しながら、介護基盤の充実に努めます。
③	生きがい対策の推進	高齢者がいきいきと自立した生活を送るため、老人クラブや高齢者サロン、生涯学習及び生涯スポーツなどへの参加を通じて、生きがい活動や交流活動を積極的に推進します。
④	在宅福祉の充実による生活支援の推進	<p>高齢者本人や高齢者を取り巻く環境変化に対応した在宅福祉サービスの充実に推進します。</p> <p>認知症に対する正しい理解の普及を図るため、認知症サポーターの養成などを推進します。</p> <p>地域での高齢者の見守り活動が活発に展開されるよう、民生委員、ボランティアや関係団体等との見守りネットワークを強化するとともに、一人暮らしの高齢者などに対する生活支援や安否の確認などを行います。</p>
⑤	高齢者の権利擁護の推進	虐待を受けている、又は受ける恐れのある高齢者や認知症高齢者等の人権擁護に努めるとともに、成年後見制度の利用を促進します。

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 介護予防事業や高齢者サロンへ積極的に参加します。	概ね 65 歳以上の市民、高齢者サポーター、地域包括支援センターなどの団体	主要な取組み：①、③ 成果指標：①、④、⑤
② 一人暮らしや認知症などの高齢者の見守りネットワークに参加します。	市民、認知症サポーター、地域包括支援センターなどの団体、民生児童委員	主要な取組み：④ 成果指標：②
③ 高齢者に対する虐待や認知症の疑いのある高齢者を見かけたら、関係機関等へ通報や相談をします。	市民、地域包括支援センターなどの団体、事業者	主要な取組み：⑤ 成果指標：-

## 【主な部門別計画】 白河市第6期高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画



写真を挿入予定

施策 2-5

## 障がい者福祉の推進

### 【めざすまちの姿】

障がい者の意思を尊重した福祉施策を推進することで、障がい者が住み慣れた地域で自立した生活を営むために必要なサービスと支援を受けられる社会が実現しています。

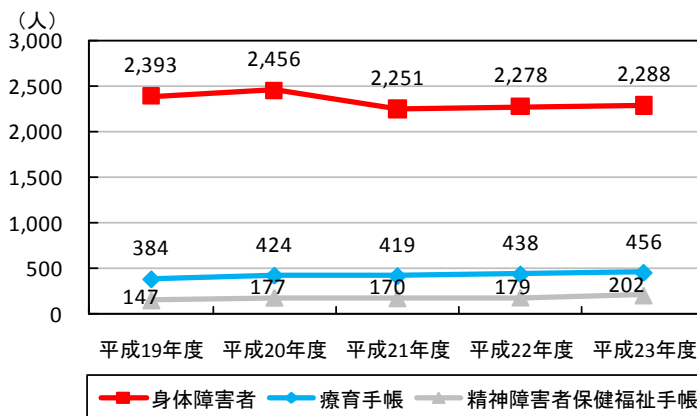
### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①地域生活に移行した障がい者数	人	1	20	増加を目指す
②グループホーム利用者数	人	42	70	増加を目指す
③一般就労移行者数	人	3	11	増加を目指す
④相談支援事業所数	か所	1	4	増加を目指す

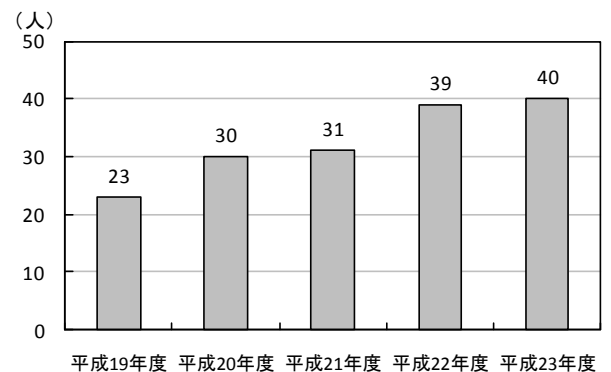
### 【現状と課題】

- 障がい者福祉施策を取り巻く環境は、国の根拠法令の改正、関係法令の新規制定・施行などが予定されており、施策の方向性について注視していく必要があります。
- 障がい者の総合相談窓口として、専門職員（有資格者）を配置し、多種多様な相談業務に対応できる基幹相談支援センターの必要性が求められています。
- 障がい者の自立と社会参画が求められておりますが、経済の低迷などを背景として活躍の場が少ない現状です。
- 障がい者に対しては、幼少期から成人に至るまで成長の段階で一体的にサポートしていく必要があり、保健・福祉・教育・医療・雇用・サービス提供事業者等の各分野で、関係機関が連携していく支援体制の充実とともに、障がい者の権利擁護を支援していく必要があります。

■障がい者手帳の所持者数の推移



■グループホーム利用者数の推移



資料：社会福祉課

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	障害福祉サービスの充実	<p><u>障害者総合支援法の施行や関係法令の改正など、国の新たな動きに対して的確に対応できるよう</u>、利用者・サービス提供事業者への情報提供等を図ります。</p> <p><u>障害の程度や特性に応じて必要なサービスを利用できるよう、在宅や施設などにおける福祉サービスの充実に努めます。</u></p>
②	障がい者相談・支援体制の充実	<p>保健・福祉・教育・医療・雇用・サービス提供事業者など関係機関と連携した<u>総合的な相談支援体制の充実を図ります。</u></p> <p><u>地域相談支援の拠点となる基幹相談支援センターの設置等</u>により、<u>専門的な相談支援体制</u>を強化します。</p>
③	自立・社会参加への支援	<p>障がい者が地域におけるイベント、スポーツ、レクリエーション活動等に、より気軽に参加できるよう、情報提供に努め、参加を働きかけます。</p> <p>日中活動の場や福祉的就労の場を提供<u>するなどの支援を行い、地域生活への移行を推進します。</u></p> <p><u>関係機関と連携して、企業への働きかけなどを行ない、就労の促進を図ります。</u></p>
④	障がい者の権利擁護の推進	<p>障がい者虐待防止センターを設置し、虐待の早期発見や養護者の支援に努めます。</p> <p>障がいの特性から意思疎通能力が十分でなく、生活の様々な場面で権利を侵害されやすい知的障がい者、精神障がい者等が安心して日常生活を営み自ら意思決定できるよう、成年後見人利用支援事業を実施します。</p>

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	障がい者を理解、尊重し社会参加への手助け、支援に努めます。	市民、事業者、団体	<p>主要な取組み：①、③</p> <p>成果指標：①、②、③</p>
②	障がい者の地域生活支援体制の充実に努めます。	市民、事業者、団体	<p>主要な取組み：②、④</p> <p>成果指標：④</p>

## 【主な部門別計画】 白河市障がい者基本計画・白河市障がい福祉計画（第3期計画）

## 施策 2-6

## 地域福祉の充実

## 【めざすまちの姿】

地域でお互いに助け合い、支え合う心が育まれ、支援を必要としている人に対し、地域ぐるみで支援が行われる地域活動が活発化していることで、誰もが安心していきいき暮らせる地域社会が実現しています。

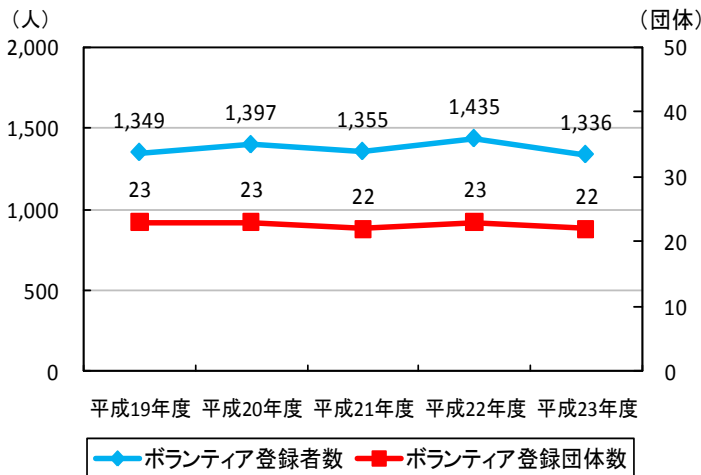
## 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①社会福祉協議会ボランティア団体の登録数	団体	22	25	増加を目指す
②社会福祉協議会ボランティアの登録者数	人	1,336	1,400	増加を目指す
③社会福祉協議会ボランティア養成講座開催数	回	2	6	増加を目指す
④生活困窮者への就労支援数	人	17	30	増加を目指す

## 【現状と課題】

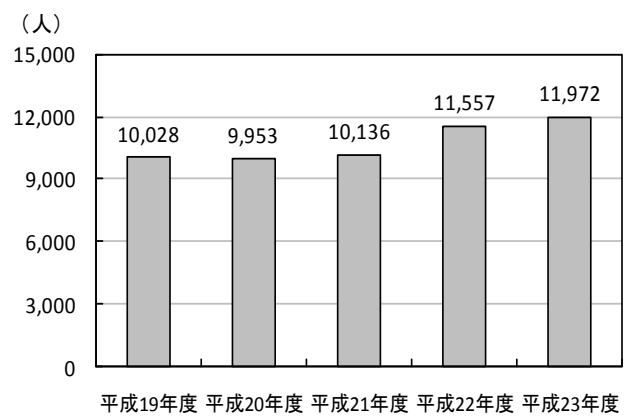
- 東日本大震災の発生後、市内外から温かい支援を受けています。また、震災を契機として、家族・地域・絆の重要性を再評価する動きが見られます。
- 多くの市民が地域での助け合いや支え合いの重要性を認識し、ボランティア活動等へ参加したいと考えているものの、実践の場が確保できていない状況にあります。
- 経済のグローバル化の進展、長年にわたる企業の構造改革などを背景として、雇用格差や所得格差が拡大しています。これに伴い、生活困窮者が増加傾向にあります。
- 生活保護法に基づく、生活困窮者に対する就労支援は一定の成果を挙げていますが、支援期間が長期化しているケースも見受けられます。

■社会福祉協議会ボランティアの登録者数の推移



資料：社会福祉協議会

■生活保護受給者数の推移



資料：社会福祉課

【主要な取組み】

取組み	内容
① 地域福祉意識の啓発	ボランティア活動に参加する人材と団体の育成により、地域での助け合い精神の高揚を図ります。
② 地域福祉活動の活性化	地域活動等の情報を発信し、参加を促進することにより、地域の人とのふれあいや活躍できる機会を増やし、地域福祉活動の充実を図ります。
③ 生活困窮者への支援	生活保護法に基づき、生活困窮者の最低生活の保障を適正に行います。 就労支援については、相談員、ハローワークと連携しながら、ケースに応じた支援を行い、自立を促進します。

【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① コミュニティ活動を通じて、自分が住む地域の人たちとのつながりを大切にするとともに、身近な福祉活動への積極的な参加に努めます。	市民、団体	主要な取組み：①、② 成果指標：①、②、③
② 民生児童委員、ハローワーク等の関係機関と協力しながら生活困窮者の把握に努め、困窮者に対し最低生活を保障し、また自立を支援します。	関係機関	主要な取組み：③ 成果指標：④

【主な部門別計画】 白河市地域福祉計画





# 3 産業・雇用分野

---

地域資源を生かし産業を育て、雇用を生むまち

## 施策 3-1

## 商業の振興

## 【めざすまちの姿】

市内各地域における商業については、それぞれの地域特性を活かした商業環境づくりにより、商店街等に人が集い、賑わいであられています。

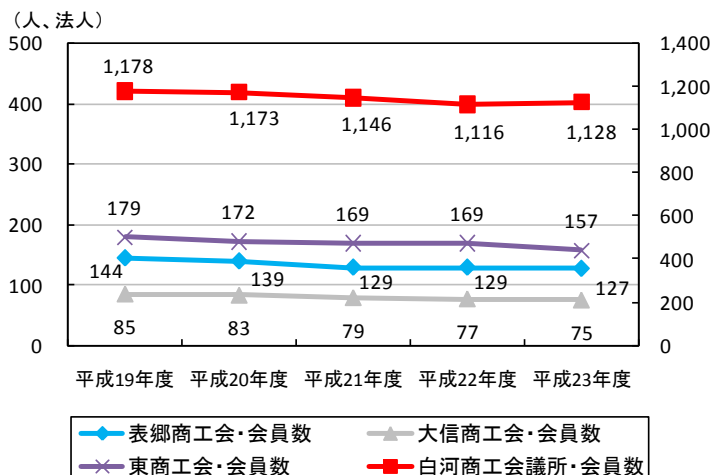
## 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①商工会議所・商工会（個人・法人） 会員数	会員	1,497	1,450	一定レベルを 維持する
②年間商品販売額	千万円	11,015	11,020	増加を目指す
③駅前イベント広場利用件数	件/年	7	24	増加を目指す
④中心市街地・平日歩行者通行量	人/日	2,400	2,750	増加を目指す
⑤中心市街地・小売業及び一般飲食 店事業所数	事業所	178	209	増加を目指す

## 【現状と課題】

- 車社会の進展や消費者ニーズの多様化により、利便性の高い郊外の大型店などへ買い物客が流れ、中心市街地の商店をはじめ、既存商店の買い物客は減少傾向にあります。その一方で、移動手段を持たない高齢者が、より遠方への買い物を余儀なくされています。
- 市内各地域における商業については、商工会議所・商工会との連携により地域の特性を活かした商業環境づくりや魅力のある商品の開発等について支援が行われています。
- 中小企業は、経営者の高齢化や後継者不足等の影響もあり、経営の革新や近代化への対応が難しい状況にあり、経営基盤の強化を図る必要があります。
- 中心市街地においては、市立図書館・交流施設の開館、大型スーパーの進出や、各種イベントの実施等により、徐々に賑わいが創出されてきているため、今後は一年を通しての集客・回遊が定着するための取組みや各商店の積極的な参画、及びさらなる都市交流施設の拡充が求められています。

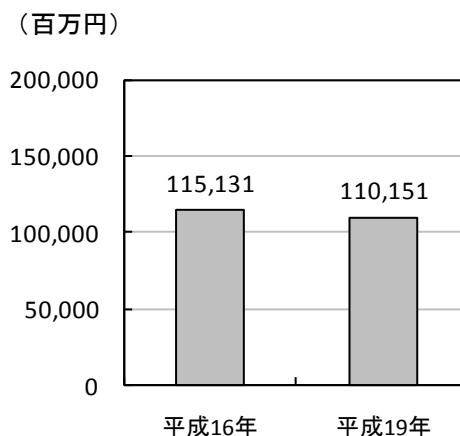
### ■商工会議所・商工会（個人・法人）会員数の推移



※会員とは、個人・法人・定款会員

資料：商工観光課

### ■年間商品販売額の推移



資料：商業統計調査

### 【主要な取組み】

取組み	内容
① 商業機能の充実	中心市街地やそれ以外の周辺部の商業地について、地域に密着したサービスの提供、地域の特性を活かした商業空間づくりや商品開発、公共交通機関との連携などを通して、魅力ある商業の集積を図るとともに、高齢者や商店のない地域に対応する商業サービスの提供について、対応を検討します。
② 経営基盤の強化	中小企業の経営基盤の強化と安定を図るため、商工会議所・商工会と連携し、各種融資制度や経営相談・経営指導体制等の充実を図ります。
③ 中心市街地の活性化	市立図書館及びマイタウン白河をはじめとする既存施設や今後整備する予定の市民文化会館などの都市交流施設を拠点とし、これらを結んで、まちなかへの回遊性を高めるために、商店街が取組む「まちなか逸品運動」や、足元にある歴史的資源を活用した「白河朱印状まわり事業」や「蔵ウォーク」などの事業をさらに活発に推進します。 若者や女性が積極的に企画・運営に参画することで、集客効果の高いイベント等を展開し、中心市街地の活性化を促進します。

**【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】**

取組み		主体	期待される波及効果
①	商店街の活性化のため、イベントなどの各種事業に参画するとともに、市内の商店街を積極的に利用します。	市民、団体、商店	主要な取組み：①、③ 成果指標：②、④
②	地域の特性を活かしたイベントなどを行います。	商工会議所・商工会・商店会	主要な取組み：①、③ 成果指標：③、④

**【主な部門別計画】** 白河市中心市街地活性化基本計画  
白河市商業まちづくり基本構想

**写真を挿入予定**

**写真を挿入予定**

施策 3-2

## 工業の振興

### 【めざすまちの姿】

企業の立地により、多彩な産業が集積し、地域経済の活力が維持されています。  
市内企業の経営基盤が強化され、製造品の付加価値が向上し、競争力が高まっています。

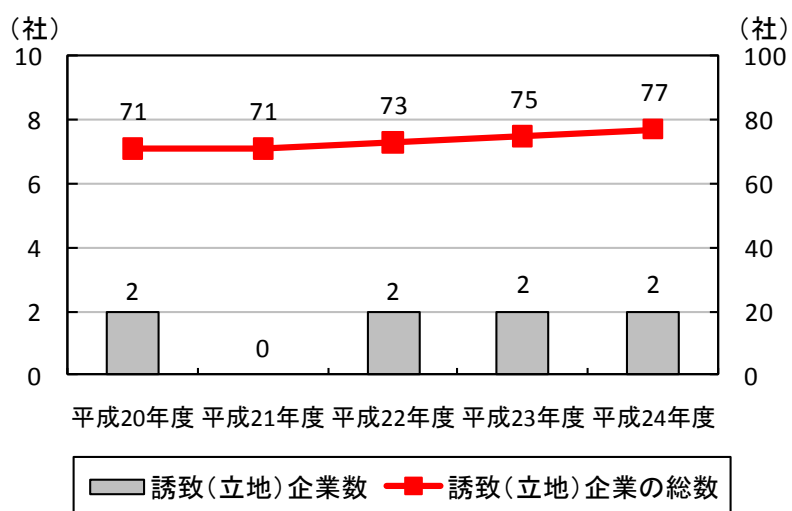
### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①誘致企業数	社	77	90	増加を目指す
②誘致企業の雇用従業員数	人	650	961	増加を目指す
③製造品出荷額等	百万円	248,452	290,340	増加を目指す
④ものづくり講習会の受講者数	人	200	220	増加を目指す

### 【現状と課題】

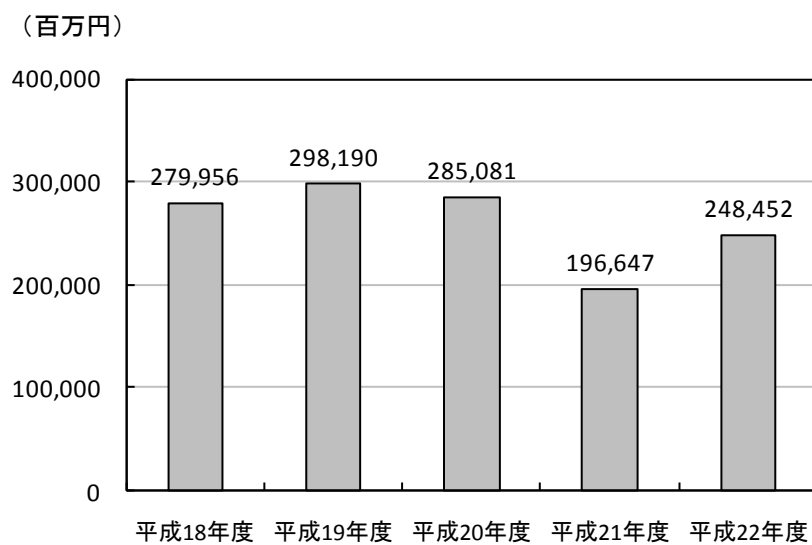
- 平成20年以降は、リーマンショックとそれに伴う世界同時株安による景気低迷や円高による輸出産業への影響、東日本大震災及び原発事故による生産現場への打撃や風評被害により、企業誘致活動に大きな影響がありました。世界屈指の技術を誇る三菱ガス化学（株）や情報通信のリーディングカンパニーであるヤフー（株）等の誘致に成功し、一定の成果を挙げています。
- 原発事故に伴う風評被害を払拭することが喫緊の課題であり、そのためには他県にはないインセンティブと本市の地理的優位性、強固な地盤など自然災害に対するリスク分散の地として最適であることなどを、首都圏や関西圏の企業を中心に広くPRしていくことが必要です。
- 地域経済や雇用面等への波及効果を図るため、半導体関連産業や食品関連産業、輸送関連産業、医療福祉機器関連産業、情報関連産業等の多種多様な産業の誘致と、地元企業との連携も求められています。
- 本市の産業が持続的に発展していくためには、ベンチャー企業や中小企業が社会経済情勢の変化に柔軟に対応して事業を展開し、雇用の創出につなげていく必要があることから、起業家や地元企業の育成・支援を図る必要があります。
- 工業の振興を図るため、企業からは従業員のスキルアップ、新規就業者の能力向上が求められていることから、ものづくり講習会や技術講習等を開催し、企業が求める人材の育成を図っています。

■誘致（立地）企業数の推移



資料：企業立地室

■製造品出荷額等の推移



資料：福島県企画調整部統計課「福島県の工業」


## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	企業誘致の推進	国際競争力が強く、地域経済への波及効果が期待できる企業の誘致を図るため、地域特性や工場適地、税制上の優遇措置、各種環境面での企業立地の優位性をPRします。
②	企業への支援の充実	誘致企業や地元企業からの要望を的確に捉え、その発展に寄与する充実した取組みを展開するため、産業サポート白河等と連携し、企業情報の収集や各種支援事業の情報提供等、企業が求める支援事業に迅速に対応するよう努めます。
③	担い手の育成	<p>就業者のスキルアップや就業に必要な能力・技術の向上を図るため、産業サポート白河等との連携により、企業が求める各種セミナーを開催します。</p> <p>地域の児童・生徒がものづくりや製造業に興味を持つことができるよう、地元企業の魅力を紹介する展示説明会等を開催します。</p>
④	工業団地の維持管理と整備	工業の森・新白河や新白河ビジネスパーク等の工業団地の環境を維持するため、良好な工業用地や工業用水等の効率的な維持・管理に努めます。

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	産学官連携や異業種交流などの必要性についての認識を深め、企業懇談会等へ積極的に参加するなど、相互の企業発展につなげるきっかけづくりに努めます。	企業、産業サポート白河	<p>主要な取組み：②</p> <p>成果指標：①、②、③</p>
②	児童・生徒がものづくりや製造業に対する関心を持てるよう、就業体験等の機会の提供に努めます。	企業	<p>主要な取組み：③</p> <p>成果指標：②、④</p>





**写真を挿入予定**

施策 3-3

## 農林業の振興

### 【めざすまちの姿】

安全で付加価値の高い農産物が生産され、地域の特色を生かした農業が展開されています。将来を担う農業従事者が育ち、農業で安定した収入を得られる環境が整っています。

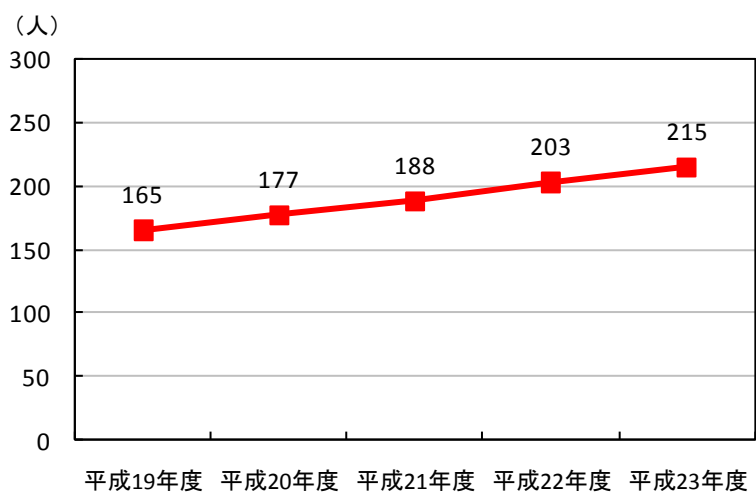
### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①耕作放棄地の解消面積	ha/年	0	5	増加を目指す
②認定農業者数	経営体	222	230	増加を目指す
③新規就農者数	人	4	10	増加を目指す
④市内農産物直売所の販売額	百万円	605	650	増加を目指す
⑤白河ブランド認証産品数	品	13	20	増加を目指す

### 【現状と課題】

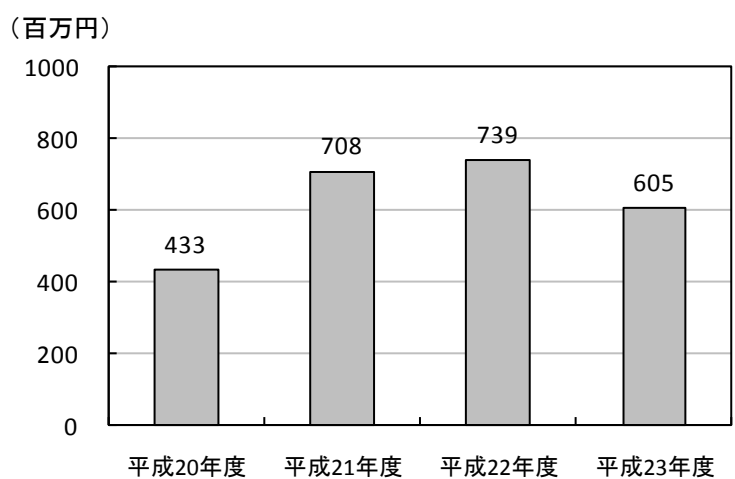
- 後継者の減少や高齢化の進行により、耕作放棄地の増加や農村社会のコミュニティ機能の低下が進んでいます。このため、農業従事者の確保や、地域内の農家がお互いに支え合いながら、農業に取り組める集落営農組織の育成を図ることが必要です。
- 消費者ニーズの多様化などにより、産地間の競争が激しくなっていることから、消費者ニーズを的確にとらえた農産物や加工品のブランド化を推進し、販路の拡大を図る必要があります。
- 農産物の安全・安心に対する消費者のニーズは、ますます高まっています。その一方で本市の生産基盤である農地が放射性物質に汚染されるなど、原子力災害の影響を受けています。このため、農産物の安全性の確保、消費者の信頼の回復、生産者の意欲の向上が課題となっています。特に、モニタリング検査や安全性のPRを継続して実施していくことが求められています。
- 将来にわたる農業経営の安定化のため、効率的な農業生産基盤を整備するとともに、農地の保全や農村環境の向上のため、地域資源に配慮した農村環境の保全を図る必要があります。
- 森林の持つ水源かん養や地球温暖化防止など多面的な機能を継続的に発揮させるため、森林を適正に管理しながら、林業の振興に努める必要があります。

### ■認定農業者数の推移



資料：農政課

### ■市内農産物直売所の販売額の推移



資料：農政課

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	担い手の育成・確保と農業経営の安定化	<p>関係団体と連携して、地域農業の中核的な担い手である認定農業者の育成・確保を図るとともに、地域の実情に応じた集落営農組織の育成や農業者の法人化とその後の経営発展に取り組みます。</p> <p>新規就農者の技術習得や農地確保などを地域ぐるみで支援するなど、円滑に就農・定着できる仕組みづくりを進めます。</p>
②	地産地消・ブランド化の推進	<p>県内はもとより全国における白河ブランドの確立を図るため、市内の優れた産品を数多く発掘し、様々なPR活動も含め、多角的な販売戦略を展開することで、地産地消・ブランド化を推進します。</p> <p><b>農業の付加価値を向上するため、地元農産物を活用した商品開発に対する支援などを行い、農業の6次産業化を推進します。</b></p>
③	安全・安心な農産物の提供	<p>原発事故による放射性物質の農作物への影響を除去し、安全・安心な農産物を提供するため、吸収抑制資材等による農作物への吸収抑制対策を推進するとともに、米の全袋検査等を行います。</p>
④	農村環境と農業生産基盤の整備	<p>農村環境の保全・向上のため、地域との協働により、農村の原風景や生態系等の地域資源に配慮した農村環境の整備を推進します。</p> <p>農業生産高の向上のため、水路・排水路等の農業生産基盤の整備に努めます。</p>
⑤	林業の振興	<p>森林の有する多面的機能を維持するため、効率的な森林施業と適正な管理を計画的に推進し、健全な森林資源の維持に努めます。</p>

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 地域農業施設的环境整備に努めます。	町内会	<p>主要な取組み：④</p> <p>成果指標：-</p>
② 地産地消や白河ブランドへの関心を高め、知合いに紹介するとともに、消費への貢献を心がけます。	市民	<p>主要な取組み：②</p> <p>成果指標：④、⑤</p>

## 【主な部門別計画】 白河市農業振興地域整備計画

**写真を挿入予定**

## 施策 3-4

## 観光の振興

## 【めざすまちの姿】

観光施設の整備や観光資源を有効活用することにより、魅力あるまちづくりが行われています。

観光情報の発信やPR等により、市の魅力を体験するため、多くの人を訪れ、交流人口が拡大することで、地域経済が活性化されています。

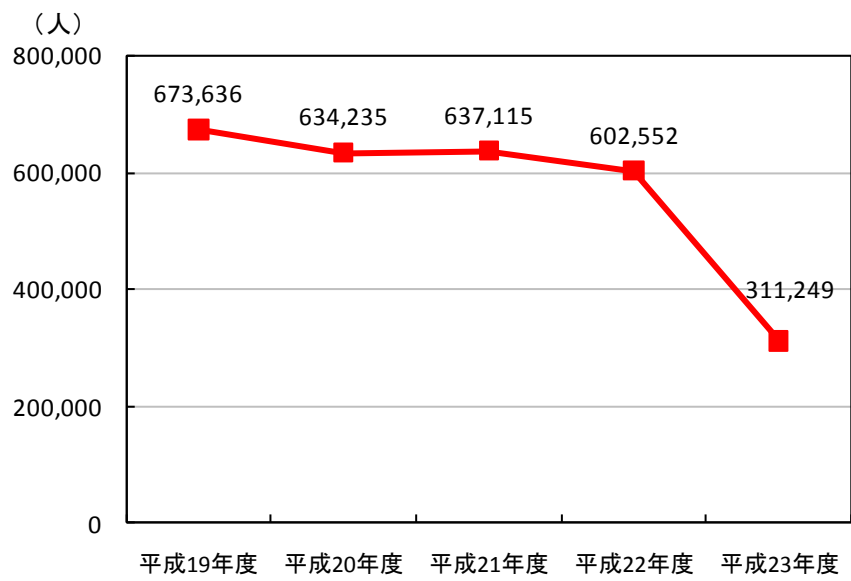
## 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①観光入込客数（主要観光施設）	万人/年	60	75	増加を目指す
②観光入込客数（主要イベント・行事）	万人/年	22	25	増加を目指す
③観光物産協会ホームページへのアクセス件数	件/日	900	1,000	増加を目指す
④観光案内ボランティアガイド回数	回/年	120	150	増加を目指す
⑤観光PR出展回数	回/年	10	10	現状レベルを維持する

## 【現状と課題】

- 東日本大震災・原子力災害の発生により、本市への旅行者数は大幅に減少しており、風評対策は急務となっています。
- NHK 大河ドラマ「八重の桜」の放映を一つの契機としてとらえ、本市の保有する多くの歴史的資産の活用を図り、首都圏等における観光PR等を積極的に実施し、本市の魅力や安全性について、強力に情報発信をしていく必要があります。
- 本市は、史跡名勝、社寺等の歴史的建造物から白河ラーメンまで、優れた観光資源を有しており、それらを生かした着地型観光を推進する必要があります。
- 観光客の受入れ体制づくりを推進するため、幅広い業種の事業者や関連団体との連携を強化するとともに、観光の受入れ側としての意識の醸成を図る必要があります。

## ■観光入込客数（主要観光施設）の推移



※平成 23 年度、城山公園バラ園及び小峰城三重櫓は、震災の影響で閉園中

資料：商工観光課、都市計画課

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	イメージ回復と観光客の誘致	首都圏等でのイベント等において本市の魅力をPRし、風評被害によるイメージ回復と観光客の誘致を促進します。
②	着地型観光の推進	既存の観光ルートの見直しや新たに発掘した観光資源を有機的に結びつけ、旅行者のニーズに合った新たな観光ルートを開発するとともに、必要な観光施設を整備することで、着地型観光の推進を図ります。
③	関連団体との連携強化	観光客のニーズに応える多様なサービスを提供するため、関連する団体や事業者との連携を強化します。 産業、歴史・文化など地域の特性を生かしたイベントを開催するとともに、各種団体が主体的に行うイベントに対して支援を行います。
④	観光情報の発信と市民意識の醸成	観光物産協会のホームページをより一層充実させるとともに、多様な媒体を活用し、観光施設や地場産品などの情報の積極的な提供に努めます。 市全体で、地域への誇りと「おもてなしの心」を持って観光客をあたたく迎えられよう、その意識の醸成に努めます。

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	観光イベントや観光ボランティアに参画し、観光で訪れた方に「おもてなしの心」を持って接するとともに、観光資源のPRに努めます。	市民、団体、関係機関	主要な取組み：③、④ 成果指標：①、②
②	新たな観光資源の発掘や既存の資源の魅力向上に向けて、市民目線での情報提供・発信を行います。	市民	主要な取組み：②、④ 成果指標：①、②



**写真を挿入予定**

## 施策 3-5

## 雇用環境・就労環境の充実

## 【めざすまちの姿】

雇用環境・就労環境の改善が進み、地域の産業に興味を持ち、新たな雇用が発生することで、身近な地域で安定して働くことのできる環境が整っています。

能力の高い人材が多数育成され、地域経済を支えています。

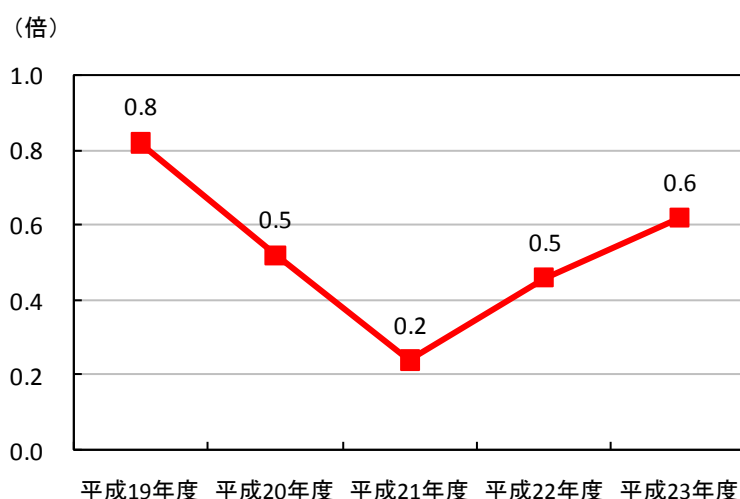
## 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①事業所・企業統計調査による市内に所在する事業所の従業者数	人	27,233	27,600	増加を目指す
②有効求人倍率（ハローワーク白河管内）	倍	0.89	1.2	増加を目指す
③新規高卒者の就職率（ハローワーク白河管内）	%	97.1	100	増加を目指す
④人材育成事業（パソコン関係）	講座 人	14 196	15 225	増加を目指す

## 【現状と課題】

- リーマンショックや東日本大震災により、雇用に対する不安が払拭できない状況にあります。
- 災害に伴う復旧作業や緊急雇用事業により一時的に求人は増加していますが、新規学卒者の就職や中高年の再就職等について、安定した正規雇用者の求人が望まれています。
- 企業から、新規学卒者並びに若年労働者の技能やコミュニケーションのスキルアップが求められています。
- 中小企業における勤労者福祉の向上のため、勤労者互助会による福利厚生や融資等を実施しています。

## ■有効求人倍率（ハローワーク白河管内）の推移



資料：白河公共職業安定所

### 【主要な取組み】

取組み	内容
① 雇用対策の推進	求職者に適切な就労情報の提供を行うとともに、ハローワーク白河等と連携を図りながら、就業のサポート体制を充実し、雇用の促進を図ります。
② 就労環境の整備	産業サポート白河の活動を中心に高度な技術や技能を持った人材の育成など、雇用者・被雇用者が求める事業を行い、就労環境の向上に努めます。
③ 勤労者福祉の充実	中小企業の勤労者の生活・福祉の向上を図るため、各種支援に取り組むとともに、融資制度の条件緩和に努めます。

### 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 事業者は、労働災害の防止対策、育児休業や介護休暇などの制度を整備し、安全な職場の確保と福利厚生の実現に取り組めます。	事業者	主要な取組み：③ 成果指標：-
雇用者・被雇用者の要望を的確に捉え、関係団体との連携による良好な就職環境の整備を行います。	雇用者、被雇用者、ハローワーク、産業サポート、商工会議所、商工会	主要な取組み：② 成果指標：④

施策 3-6

## 再生可能エネルギーの推進

### 【めざすまちの姿】

市内でエネルギー需要に見合った再生可能エネルギーの導入・拡大が進み、自然と共生した安全・安心なエネルギーが確保され、エネルギーの地産地消が実現されています。

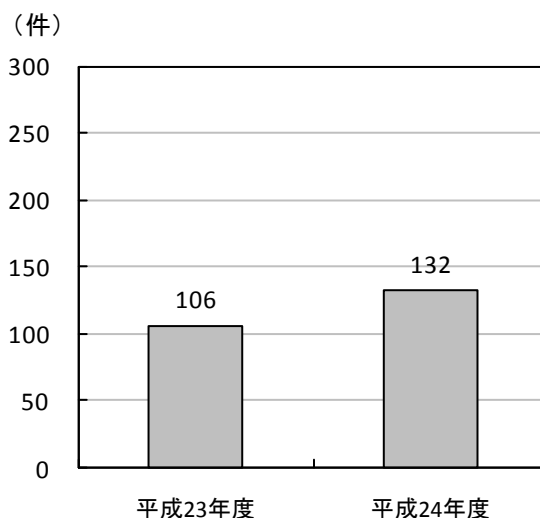
### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①公共施設における太陽光発電導入量（設備容量）	kw	152	750	増加を目指す

### 【現状と課題】

- 原発事故以降、再生可能エネルギーへの期待が高まっていることから、本市の特性を踏まえ、公共施設はもとより、一般住宅、事業所、工場などへの導入促進や市民への啓発を図っていく必要があります。
- 再生可能エネルギー関連の産業は、将来性・成長性の高い分野であるため、本市産業の復興という観点からも関連企業や研究施設の誘致を進めるとともに、それを支える人材・企業の育成を推進していく必要があります。

#### ■住宅用太陽光発電システム導入助成件数の推移



資料：資料：企業立地室

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	啓発・導入促進	<p>市民への啓発を図るとともに、公共施設はもとより、一般住宅、工場、事業所、農業関係施設等への導入を促進します。</p> <p>コスト低減や市場拡大が続くと見られる太陽光発電の導入を中心に、豊富なバイオマス資源の利活用について検討します。</p> <p>小水力及び風力については、発電に適した場所が限られるものの技術革新が進められていることから、導入可能性の検討を継続していきます。</p>
②	関連産業の誘致	<p>将来性と成長性の高い再生可能エネルギー関連の製造業や研究施設の立地・振興を促進します。</p>
③	関連企業・人材の育成	<p>しらかわものづくり講習会等を実施している産業サポート白河と連携しながら、再生可能エネルギーの関連企業・人材の育成を図ります。</p>

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	再生可能エネルギーへの関心を高め、太陽光発電システム等の導入に努めます。	市民、事業者	<p>主要な取組み：①</p> <p>成果指標：①</p>

## 【主な部門別計画】 再生可能エネルギー導入推進ビジョン



## 4 教育・生涯学習分野

---

心豊かに学び・ともにふれあい・生きる喜びを実感できるまち

施策 4-1

## 生きる力と思いやりを育む教育の充実

### 【めざすまちの姿】

知・徳・体のバランスの良い育成と、生き抜く力を育む教育、学校、家庭、地域が一体となった地域全体での教育環境づくりを進め、郷土に誇りを持ち、白河の未来をひらく人材が育成されています。

### 【めざす姿の成果指標】

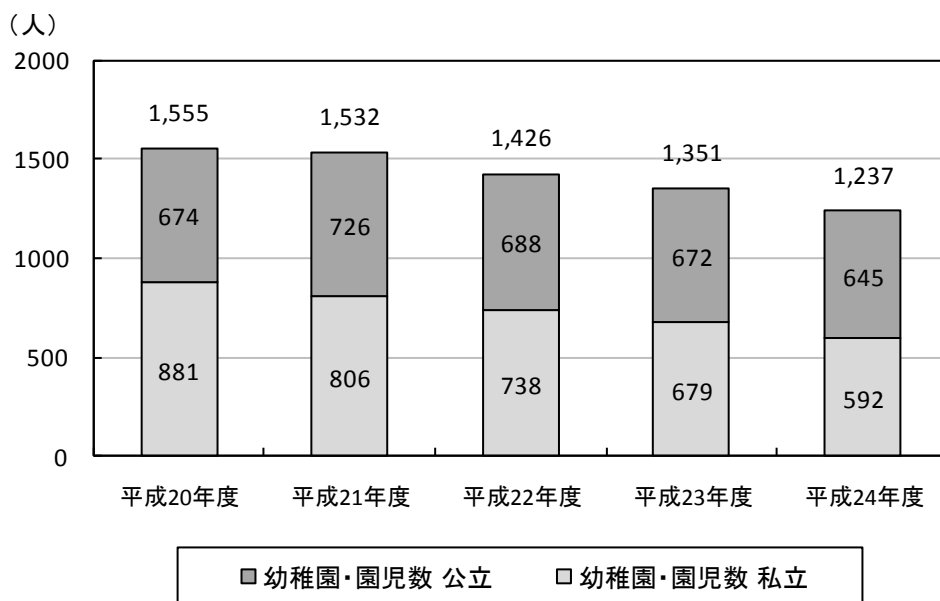
指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①学力実態調査の学力偏差値 (小学校：国語、算数)	平均偏差値	54	56	増加を目指す
②学力実態調査の学力偏差値 (中学校：国語、数学、英語)	平均偏差値	52	54	増加を目指す
③不登校児童生徒の割合	%	0.4	0.3	減少を目指す
④ <b>児童</b> の体力運動能力の値 (小学校：全8種目)	県平均を超えた種目数	3/8	6/8	増加を目指す
⑤ <b>生徒</b> の体力運動能力の値 (中学校：全9種目)	県平均を超えた種目数	5/9	7/9	増加を目指す

### 【現状と課題】

- グローバル化の進展などにより社会が必要とする人物像が変化している中、「生き抜く力」や「人間の絆」の重要性が高まっています。
- 子どもたちの学ぶ意欲や、課題解決のための思考力、判断力、表現力、体力などのさらなる向上 **とともに、**子どもたちの社会性や規範意識の低下などが**課題とされています。**
- どのような時代にあっても、未来を担う子どもたちをしっかりと育み、それぞれが夢や目標を抱けるようにすることは社会の責務であり、そのためにハード・ソフト両面から安全・安心で魅力ある教育環境を確保することが、不可欠な前提条件です。
- 本市の豊かな自然、歴史や文化などを生かし、子どもたちの豊かな感性や郷土を愛する心の育成を図る **とともに、学校給食施設の改修と栄養士の人材確保及び効果的な配置により安全で安心な給食の提供と食育の推進を図り、健やかな体を育成する**必要があります。
- 障がいのある児童・生徒をはじめ、子ども一人ひとりの特性に応じた適切な指導・支援が行えるよう、教職員のさらなる資質向上、人材の確保と効果的な配置が求められています。
- いじめ問題や不登校については、**学校・家庭・地域間の一層の連携強化**と教育相談体制の充実を図り、子どもの悩みや不安を受け止めた指導を行う必要があります。
- 放射性物質に対する不安の解消や老朽化した施設や設備の改修・耐震化は順次進められていますが、今後も計画的な取組みが求められています。
- 奨学資金貸付等の人数は増加しており、大学等への就学の支援制度として活用されています。

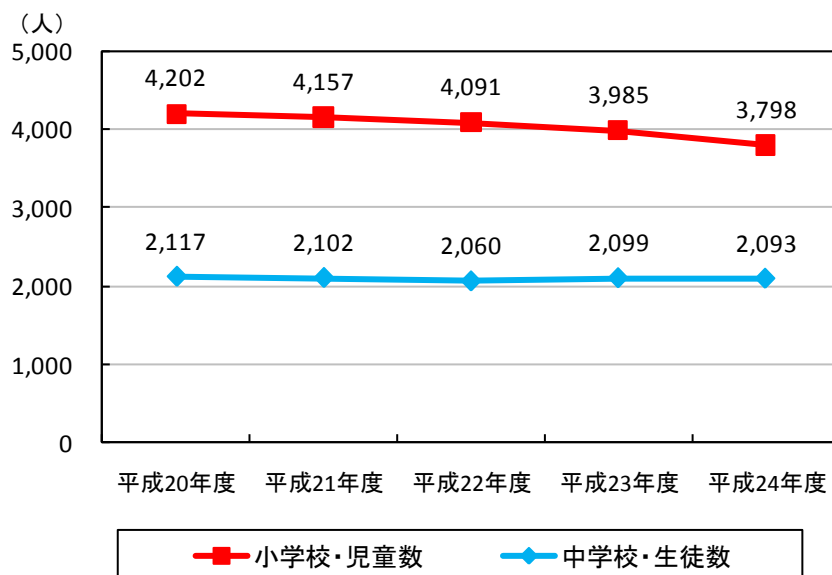


### ■ 幼稚園・園児数の推移



資料：福島県企画調整部統計課「学校基本調査報告書」

### ■ 小学校・児童数及び中学校・生徒数の推移



資料：福島県企画調整部統計課「学校基本調査報告書」

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	確かな学力の向上	<p>学力向上推進会議や教育講演会の<b>実施方法</b>などを工夫し、各校の課題に応じた細やかな支援を推進します。</p> <p>児童生徒一人ひとりに応じた指導を充実させるため、各学校の実態に応じた非常勤講師の配置と効果的な活用を図ります。</p>
②	豊かな心の育成	<p>学校・家庭・地域の一層の連携強化に努めるとともに、児童生徒一人ひとりへのきめ細かな指導により、いじめ、不登校等の問題行動の未然防止を推進します。</p> <p>全小中学校でのスクールカウンセラーによるカウンセリングの時間を確保し、児童生徒や保護者の不安や悩みの解決を図ります。</p>
③	健やかな体の育成	<p>学校体育や運動部活動などの充実により体力の向上を図ります。</p> <p>市内全学校に対する放射線対策により、安心して屋外で活動できる環境づくりを行い、運動量を確保します。</p> <p>食育推進計画に基づき、<b>栄養士の人材確保及び効果的な配置等により食育の充実を図ります。</b></p>
④	郷土の歴史教育の充実	<p>地域への誇りと愛着を育むため、松平定信等の偉人に関する学習や<b>白河</b>の歴史的な史跡、文化財への見学学習等を通して、郷土の歴史や文化への関心を高めます。</p>
⑤	特別支援教育の充実	<p>障がいのある児童生徒が障がいの程度や心身の状態、発達段階に応じて、適切な学習環境が確保され、教育が受けられるよう、特別支援学級や通級指導教室、通常学級における特別支援教育を充実します。</p> <p>特別支援教育支援員の効果的な活用や障がいに応じた就学指導を、各学校との連携を密にして実施します。</p>
⑥	幼児教育の充実	<p>私立幼稚園への支援の充実を図るとともに、市立幼稚園における預かり<b>保育</b>事業を実施します。</p>
⑦	魅力ある教育環境の整備	<p>地域の人材を活用した授業づくりや、地域の自然や伝統文化を学校教育活動に取り入れることで、地域に開かれた学校づくりを推進します。</p> <p>児童生徒の読書への関心を高めるため、<b>市立各図書館</b>や地域の人々と連携して、学校図書館の活用を図ります。</p> <p><b>幼稚園・小中学校施設及び学校給食施設</b>については、耐震化や老朽化施設の改修などを計画的に推進します。</p>
⑧	大学等への就学機会の確保	<p>大学等への就学機会の確保のため、経済的な理由によって、就学が困難な生徒に対し、奨学資金の貸<b>付</b>等による支援を行います。</p>

### 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

	取組み	主体	期待される波及効果
①	PTA活動や学校の諸活動などのボランティア活動に積極的に参加し、学校に対する関心と理解を深め、学校と連携し、地域全体で子どもの成長を見守ります。	家庭、学校、団体	主要な取組み：⑥ 成果指標：-
②	学習時間の確保、学習に集中できる環境づくり、生活習慣や社会ルールなど、家庭における教育に努めます。	家庭	主要な取組み：① 成果指標：①、②
③	いじめの未然防止、早期発見のために、家庭や地域が学校と連携を深めて学校内外の子どもに対して声をかけるなど積極的にかかわります。	家庭、団体、学校	主要な取組み：② 成果指標：③

写真を挿入予定

施策 4-2

## 青少年の健全な育成

### 【めざすまちの姿】

学校・家庭・地域と関係機関との連携を図りながら、青少年の心と体の健やかな発達を促し、正義感や倫理観にあふれた豊かな人間性を育むことで、青少年が人生の目標を見出し、たくましく成長しています。

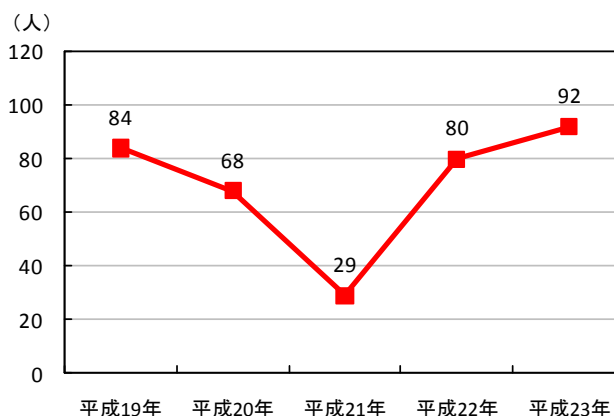
### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①家庭教育に関する講演会等への参加者数	人	6,000	6,000	現状レベルを維持する
②放課後子ども教室の実施校数	校	4	4	現状レベルを維持する
③少年補導員の活動回数	回/年	206	206	現状レベルを維持する

### 【現状と課題】

- 次世代を担う青少年が心身ともに健やかに成長することは私たちの共通の願いです。家庭は、生活に必要な基本的習慣や思いやりの心、善悪の判断を養う上で重要な役割を担っており、家庭教育は極めて大切です。
- 現代のテレビ・ビデオ・携帯電話・インターネット等のさまざまな情報メディアの発達・普及により、子どもの「読書離れ」や健康への影響が指摘されています。
- 青少年を取り巻く環境は、核家族化や少子高齢化等により、多様化・複雑化しており、いじめや不登校、引きこもり、少年犯罪の深刻化など、様々な問題が発生しています。
- こうした中で、青少年が未来への夢や希望を持ち、その実現に向けてたくましく成長していくためには、家庭や地域での教育力の向上や社会全体で青少年の健全育成に取り組んでいく必要があります。

### ■少年犯罪検挙・補導人数の推移



資料：白河警察署

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	家庭教育の充実	<p>保育園、幼稚園、小学校、中学校において実施する家庭教育学級に対する学習機会の拡大と情報提供に努めます。</p> <p><u>子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会の充実を図るため、幼稚園、小中学校、高校のPTA連絡協議会等と連携し講演会等を実施します。</u></p> <p><u>読書習慣の普及や家族とのふれあいを推進するため、携帯電話やインターネット等の情報メディアの利用に関して、家庭でのルールづくりの重要性などの啓発に取り組みます。</u></p>
②	家庭・地域・学校等との連携	<p>下校時の子どもの安全について、「ひなんの家」の設置を促進し、見守りの体制を強化します。</p> <p>放課後児童クラブや放課後子ども教室により、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域との交流活動の機会を提供するとともに、家庭、地域、学校等が連携し、全市的に「しらかわ運動」を推進することで青少年の健全育成に努めます。</p>
③	青少年の非行防止活動の充実	<p>青少年の事故や非行を未然に防ぐため、少年補導員や警察と連携を図りながら、街頭補導・指導活動を推進します。</p> <p>少年補導員の研修を実施し、補導員の資質向上に努めます。</p>
④	青少年活動の支援	<p>青少年が心の豊かさや生きる力を養うため、社会体験や自然体験などを通じた学習機会の充実を図ります。</p> <p>青少年育成市民会議の充実を図り、地区推進協議会の活動を支援します。</p>

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 地域の祭りや環境美化活動などの行事に青少年の参加を促し、大人とのふれあいを通じて、社会規範意識の向上や他人を思いやる心の育成など、地域全体で青少年の健全育成に貢献します。	市民、団体	<p>主要な取組み：②、④</p> <p>成果指標：-</p>
② 少年補導員との連携により、青少年を取り巻く環境の安全と、健全育成に貢献します。	少年補導員、学校、町内会	<p>主要な取組み：③</p> <p>成果指標：③</p>

## 施策

## 4-3

## 生涯学習社会の実現

## 【めざすまちの姿】

市民が生涯にわたって、誰もがあらゆる機会やあらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことができる生涯学習社会が実現されています。

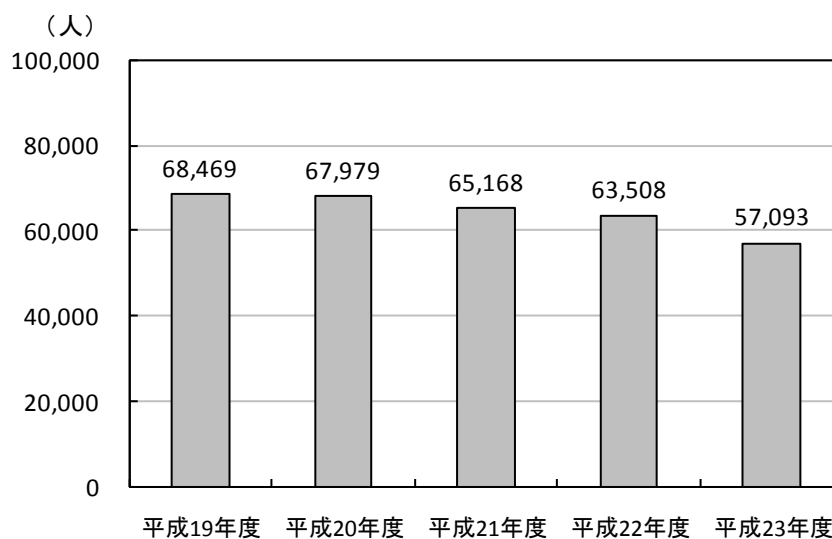
## 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①出前講座の利用件数	件	23	40	増加を目指す
②公民館の利用者数	人	57,093	75,000	増加を目指す
③市民一人当たりの図書貸出冊数	冊	4.9	8.5	増加を目指す
④市民共学バイキング講座数	講座	10	20	増加を目指す

## 【現状と課題】

- 近年、生涯学習による生きがいや健康づくり、地域づくりを実践していこうという意識が高まる中で、公民館でのクラブ活動や各種教室の開催、福島大学白河サテライト教室の開催、図書館の利用等により、市民は生涯学習に取り組んでいます。
- 生涯学習を推進していく上では、市民は学習機会の提供を受けるだけでなく、自らが積極的に学び、学習成果を地域に還元する中で自己実現を図ることが重要となっています。
- 今後も市民の自発的な生涯学習活動を促すとともに、市民自らが積極的に生涯学習活動を企画運営していく機会の充実や仕組みづくりが求められています。
- 公民館や図書館などの社会教育施設は、市民の生涯学習の機会や場を提供する生涯学習の拠点及び身近な地域の交流の場として重要な役割を担っていることから、**計画的な環境の整備が必要です。**
- 施設の運営に当たっては、社会の変化に対応した取組みが求められるとともに、施設の老朽化に対しては計画的な改修・修繕を実施するなど、利用者のニーズに応える施設の充実が必要です。

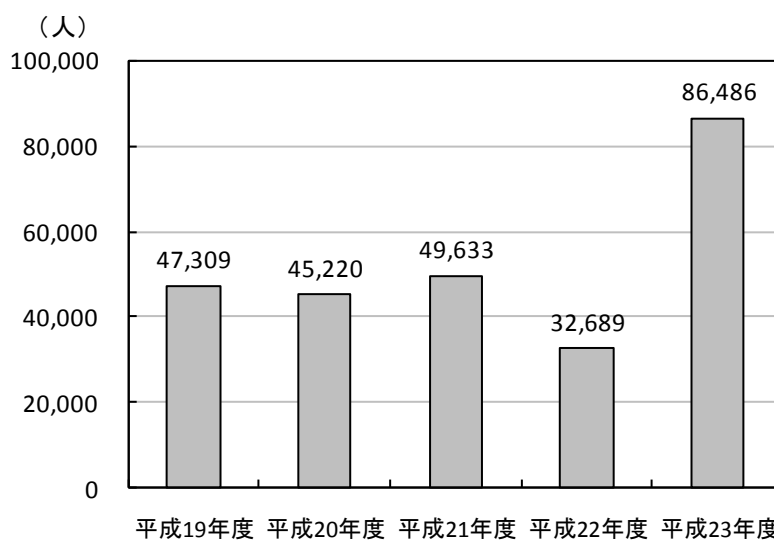
## ■公民館の利用者数の推移



※平成23年度は「大信公民館」の実績なし

資料：市教育委員会

## ■図書館入館者数の推移



※市立図書館 平成22年度は新館準備のため平成22年10月1日より休館。

平成23年度は平成23年7月24日に新館開館。

資料：市教育委員会（各図書館）

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	生涯学習推進体制の充実	<p>市民の声を反映し、学習効果の高い講座や教室とするために、市民自らが事業を企画運営できる体制の充実に努めます。</p> <p>自主的なサークル活動やボランティア活動を促進するため、出前講座や市民共学バイキング講座を活用した支援を行うとともに、学習発表の機会の充実に努めます。</p> <p>生涯学習へのきっかけづくりや継続的な学習活動に対し、気軽に相談できる相談窓口の整備を図るとともに、市民で構成された白河市生涯学習推進会議の有効活用を図ります。</p>
②	生涯学習機会の提供	<p>公民館での各種教室や福島大学白河サテライト教室等の充実に図ります。</p> <p>広報紙やホームページ等を活用し、年間で開催される生涯学習関連の講座等のスケジュールなど生涯学習に関する情報の提供に努めます。</p> <p>市民の様々な学習ニーズに対応できるよう、専門知識を有したボランティア講師の育成を図ります。</p>
③	生涯学習拠点の充実	<p>老朽化している社会教育施設については、計画的な改修・修繕を行い、市民が安心して学習できる環境をつくります。</p> <p>図書館においては、<u>図書及び視聴覚資料などの充実に努め、誰もが利用しやすい環境を整えるとともに、資料等の調査や相談に対応できる運営を行い、図書サービスの充実に努めます。</u></p> <p>ボランティア等と連携して、<u>子どもが読書に親しむことができる機会を提供するなど、</u>子どもの読書活動の活発化を図ります。</p>

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 公民館や図書館における学習活動などへの参加を通じて、学び合う仲間の輪を広げます。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：②
② 積極的に学習活動を行い、学びを通じて自己実現を目指し、その学んだ成果を地域づくりに活かします。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：-
③ 市民共学バイキング講座の運営に協力します。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：④

【主な部門別計画】 白河市生涯学習推進計画  
白河市子ども読書活動推進計画



**写真を挿入予定**

施策 4-4

## 文化・スポーツの振興

### 【めざすまちの姿】

市民の文化活動が活発化し、子どもから大人まで市内で多くの文化・芸術にふれることができる環境が整備され、個性豊かな文化が創造されています。

市民の多様なニーズに対応できる、スポーツ指導者が育成されるとともに、スポーツ施設の整備・充実が図られることで、市民の誰もがスポーツを身近に楽しむ環境が整っています。

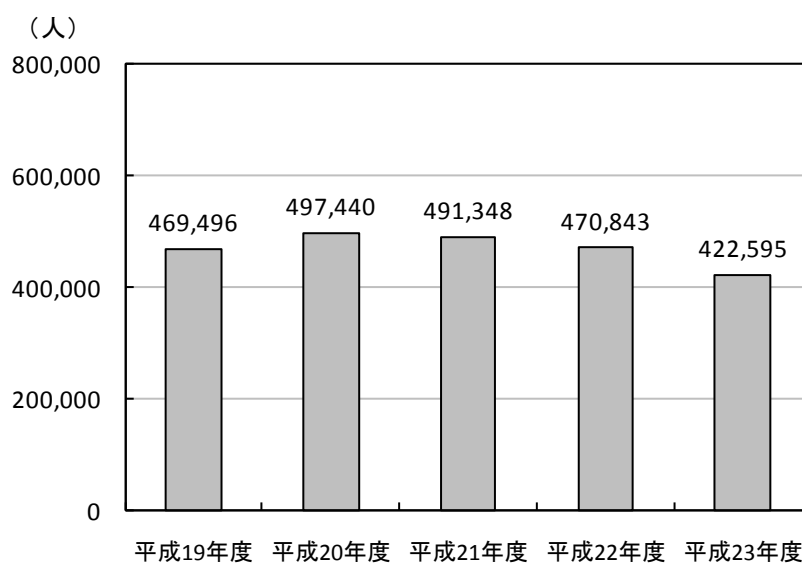
### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①文化施設への来館者数	人/年	41,138	170,000	増加を目指す
②1週間に1回以上スポーツに取り組んでいる市民の割合	%	6.8	10.0	増加を目指す
③総合型地域スポーツクラブの設置数	クラブ	9	10	増加を目指す
④スポーツ施設の利用者数	人/年	450,527	630,000	増加を目指す

### 【現状と課題】

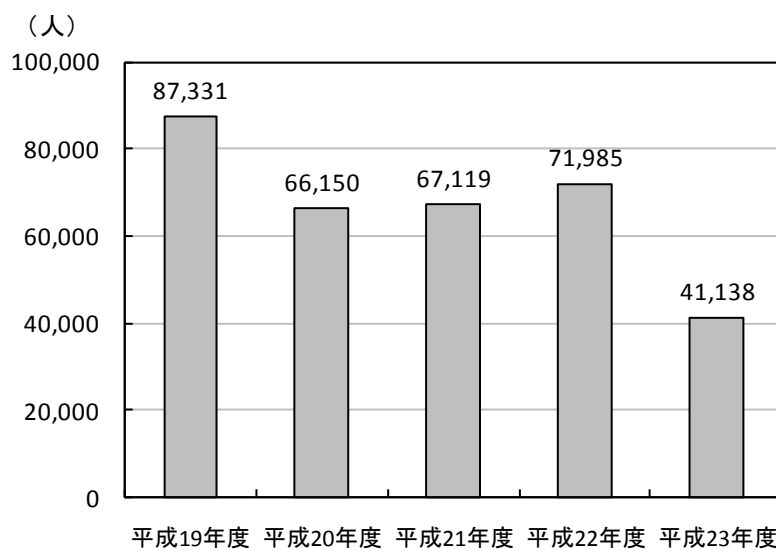
- 本市の文化・スポーツ活動は、人や地域に交流機会を提供するとともに、一体感や連帯感の醸成につながり、市民の心を元気にする効果が期待されます。**特に、スポーツ活動では、全国大会等において高い成績を収めるなど、本市の知名度向上に貢献してきました。**
- 市民の文化・芸術活動を活発化するため、多彩な行事を開催することで市民に優れた文化・芸術を鑑賞する機会を提供することが求められています。
- 文化活動の担い手である文化団体の後継者の確保及び育成に対する支援が求められています。
- 市民の芸術文化活動や交流活動の拠点として、新たに市民文化会館の建設**に取り組みとともに、**その他の文化施設の計画的な改修・修繕が必要です。
- 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律が施行されたことにより、**市民文化会館等の文化施設は、本市の文化芸術の水準向上に積極的に寄与するよう自主的かつ主体的な運営が必要です。**
- 市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツ活動に親しめるよう、各種スポーツ教室、市民総合体育大会、スポーツフェスティバル等を開催するなど参加機会の充実や、スポーツクラブや各種競技団体への支援が重要です。
- 高齢化の進行に伴い、さらなる市民の健康の保持増進を図るため、だれもが継続的に参加しやすいスポーツ活動の**環境の整備**が求められています。
- 多様化するスポーツニーズに対応できるよう、自発的なスポーツ活動ができるスポーツクラブや団体を育成するとともに、専門性の高い指導者の育成が必要となっています。

## ■スポーツ施設の延べ利用者数の推移



資料：市教育委員会

## ■文化施設への来館者数の推移



資料：市教育委員会

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	文化・芸術活動の推進	文化団体などの連合体の形成及びその運営を支援し、市民の多様な文化活動や創作活動を推進します。 子どもたちを中心に芸術文化の鑑賞機会、体験機会の充実を図るとともに、企業や民間団体と連携しながら、市民の芸術文化に親しむ機会の提供を図ります。
②	文化・芸術団体への支援と人材育成	市民が地域の文化振興の担い手として、自主的な文化・芸術活動を推進するため、団体の育成を目的とした必要な支援を推進するとともに、専門的な知識・技能を有する指導者やボランティアの発掘・育成に努めます。
③	文化交流拠点の整備・充実	文化・芸術に親しむことができる文化交流拠点として、市民文化会館を整備します。 既存の文化施設の計画的な改修・修繕に努めるとともに、施設の効率的な運営を行います。
④	生涯スポーツ推進体制の充実	誰もが年齢や体力に応じて気軽にスポーツ活動に参加できるよう、スポーツイベントや各種スポーツ教室の充実に努めます。 市民が主体的にスポーツ・レクリエーションに取り組める体制や環境づくりの充実に努めます。 スポーツを通じて地域コミュニティの活性化を図るとともに、総合型地域スポーツクラブの育成・支援に努めます。
⑤	スポーツ指導者・団体の育成	スポーツ推進員等の指導者育成を図るため、実技講習会などを開催し、専門的な知識・技術の習得を推進します。 スポーツ少年団や各種スポーツ競技団体への必要な支援に努めます。
⑥	スポーツ施設の充実	各地域のスポーツ施設・設備の適切な維持管理と充実を図るとともに、その有効活用を促進します。 学校体育施設を開放し、地域住民のスポーツ活動の振興を図ります。

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	文化・芸術活動に興味を持ち、積極的に文化・芸術活動へ参加するとともに、学習資源として利活用します。	市民、団体、企業	主要な取組み：① 成果指標：①
②	自主的・自発的にスポーツ活動に取り組むとともに、仲間づくりに努めます。	市民、団体	主要な取組み：④ 成果指標：②、③、④
③	市民主体によるスポーツ活動団体の組織化や継続的な運営に努めます。	市民、団体	主要な取組み：⑤ 成果指標：②、③

写真を挿入予定

## 施策

## 4-5

## 歴史や伝統文化の保存・継承

## 【めざすまちの姿】

歴史・伝統文化が次世代に受け継がれることで、地域に対する理解が深まるとともに、地域の連帯感が醸成され、白河市独自の歴史・伝統文化が生きたまちづくりが行われています。

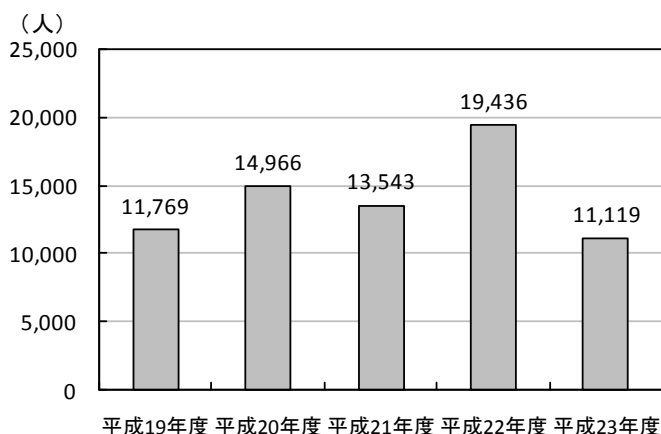
## 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①資料館・集古苑の入館者数	人	10,000	15,000	増加を目指す
②民俗芸能・伝統行事記録保存件数	件	5	15	増加を目指す
③文化財の指定件数	件	133	140	増加を目指す

## 【現状と課題】

- 本市には、歴史や風土の中で育まれてきた様々な文化財が数多く残されています。特に、白河関跡、小峰城跡、南湖公園に代表される史跡や名勝などの文化財や、関辺のさんじもさ踊、奥州白河歌念仏踊などの伝統芸能など、地域に息づくさまざまな歴史や伝統文化が残されており、まちに品格と魅力を与えています。
- 市民が白河市に誇りや愛着を感じられるよう、先人の守り伝えてきた郷土の歴史と伝統文化を学び、それを次世代に伝承され、発展させていくことが重要です。
- 歴史民俗資料館、集古苑、各地域の資料館は、市内外に残された白河市ゆかりの歴史資料などを収集・整理・保存し、それらを生かした展示や普及活動を行うとともに、市外からの観光拠点としての役割も担っています。
- 民俗芸能・伝統行事については、伝承する担い手の高齢化が課題となっており、後継者の育成が求められています。それらの保存・育成を図るとともに映像等による記録化を進める必要があります。
- 様々な文化財を良好な状態で後世に伝えていくため、市民と協働で保全活動と調査活動を並行して行い、必要に応じて文化財指定等の保護措置を図るとともに、指定文化財の活用を検討する必要があります。また、被災した小峰城跡については、早期の修復を図る必要があります。

■資料館・集古苑等の入館者数の推移



資料：文化財課

【主要な取組み】

取組み		内容
①	郷土の歴史や伝統文化の保護・継承	文化財の指定によって、文化財の保護を支援する体制を整え、計画的な保護・保全・管理に努めるとともに、市内の文化財の適切な活用を図ります。 民俗芸能・伝統行事の保護活動の記録化を継続して実施するとともに、継続的な行事实施に向けて、後継者育成に努めます。
②	文化・芸術・歴史の公開・普及	白河の歴史を示す資料や歴史を明らかにするうえで不可欠な文化・芸術・歴史資料を収集するとともに、収集資料の調査・研究、各地の資料調査を進め、白河の歴史・文化理解の促進のため、歴史民俗資料館や集古苑において、様々な企画展等を計画的に開催します。 文化・芸術・歴史資料について、観光とタイアップして関連する資料を活用することで白河の魅力を幅広く発信します。
③	埋蔵文化財の保護	被災した小峰城跡の修復と指定地拡大や、白川城跡の国史跡指定を目指した調査を進め、埋蔵文化財の保護を図ります。 今後新たな史跡指定の可能性のある重要遺跡について、将来を見据えた計画的な発掘調査を継続的に進めます。

【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 市内各地域の歴史や伝統文化に対する関心を高め、郷土に対する愛着と誇りを持って、地域ぐるみで文化財の管理に取り組みます。	市民、町内会等管理団体	主要な取組み：① 成果指標：③

【主な部門別計画】 **史跡名勝南湖公園第二次**保存管理計画





# 5 都市基盤分野

---

やすらぎと快適さのある住みよいまち

施策 5-1

## 魅力ある街並みの形成

### 【めざすまちの姿】

住む人が誇りや愛着を持ち、訪れる人が白河の歴史・伝統文化・自然を体感できる、魅力ある街並み景観が形成されています。

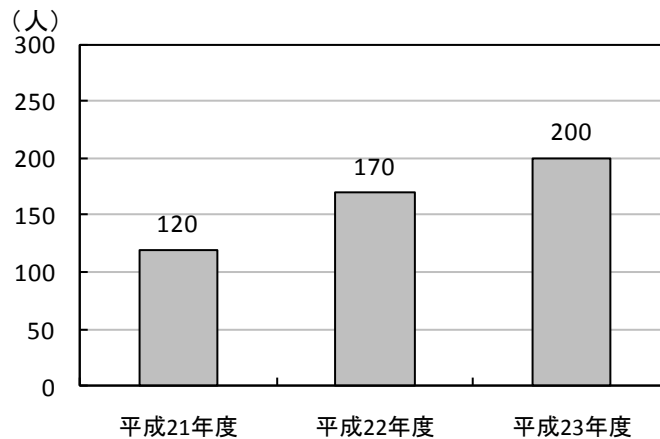
### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①景観形成セミナーや歴史まちづくりシンポジウム等への参加者数	人	200	220	増加を目指す
②景観まちづくり協議会数	件	3	6	増加を目指す
③景観協定地区の認定地区数	地区	2	4	増加を目指す
④景観協定地区内の建築物等の修景に対する助成件数	件	2	10	増加を目指す

### 【現状と課題】

- 足元の歴史文化資源に光を当て磨いていくため、市では平成23年に景観条例及び景観計画を施行し、また、歴史的風致維持向上計画を策定して国認定を受け、現在これらに基づく各種の施策を展開しています。
- 美しく、優れた景観は、街全体のイメージを向上させ、市民の街への愛着を育むものです。
- 市民がいつまでも住み続けたい、住んでみたいと思える個性的な街となるためには、本市の特色である自然環境や歴史・文化を生かした景観形成を、市民や企業、NPO等と協働して推進する必要があります。
- 景観計画や歴史的風致維持向上計画、中心市街地活性化基本計画に基づく施策の推進により、美しい街並み形成に対する市民意識が醸成されてきています。
- 中心市街地の空洞化や歴史的建造物等の老朽化、東日本大震災での被災等に伴う歴史・文化資源の解体が進み、これまで取組んできた足元の資源を生かしたまちづくりに大きな支障を及ぼしています。
- 街並み景観に対する市民意識のより一層の醸成や、取組みの成果が効果的に多方面に波及するような景観形成を推進する必要があります。

■景観形成セミナーや歴史まちづくりシンポジウム等への参加者数の推移



資料：まちづくり推進課

【主要な取組み】

取組み		内容
①	自然景観や歴史的街並み景観の保全・活用	歴史的風致維持向上計画に基づき、地域に残る歴史文化資源の保全・ <u>活用を図ります。</u> 景観計画及び景観形成ガイドラインの方針に基づき、 <u>修景のための助成の活用を推進し、建築物や野外広告物について地域ぐるみの景観整備を図ることで、</u> 歴史と景観を生かした白河らしい街並み形成に努めます。
②	景観形成に関する啓発の推進	景観形成や歴史まちづくりのセミナー等を継続的に開催し、より一層の市民意識の向上を図ります。 個々の地区で展開されるまちづくり運動を有機的に結びつけるため、各地区における活動に関する情報を収集し、共有する場を設けることで、市民主体の景観形成に関するまちづくりを積極的に支援します。
③	魅力ある景観の創出	市民が主体となる景観まちづくり協議会の設立と景観協定の締結を推進するとともに、その後の活動を支援することで、地域の意向を十分に反映した魅力ある景観の創出に努めます。

**【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】**

取組み		主体	期待される波及効果
①	主体的かつ積極的に景観づくりに関する活動に参加します。	市民、事業者、NPO	主要な取組み：①、③ 成果指標：①、②、③、④
②	関係機関との連携を図り、市民・事業者への啓発・情報発信により意識向上を図るとともに、市民活動を支援します。	市、NPO	主要な取組み：②、③ 成果指標：①、②、③

**【主な部門別計画】** 白河市景観計画  
白河市歴史的風致維持向上計画

**写真を挿入予定**

施策 5-2

## 快適な道路網の整備

### 【めざすまちの姿】

幹線道路の整備が進み、市内及び市外との円滑な交通が確保されています。  
生活に密着した道路・橋りょうが整備され、市民が快適に暮らしています。

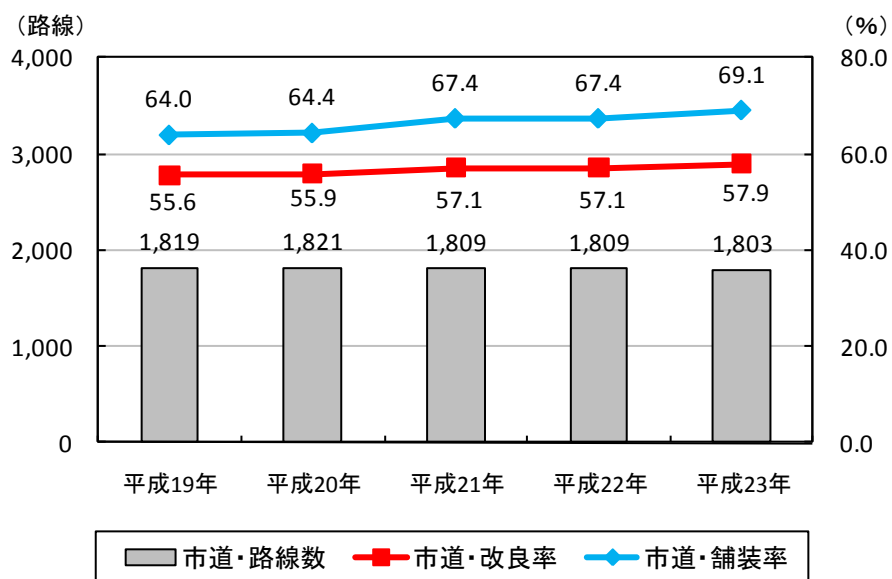
### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①道路舗装率（市道）	%	69.2	72.0	増加を目指す
②道路改良率（市道）	%	58.0	60.0	増加を目指す
③道路維持管理上の事故件数 (市の管理上の瑕疵によるもの)	件	0	0	現状レベル を維持する
④スマートインターチェンジ利用 台数	台/日	2,862	2,870	現状レベル を維持する

### 【現状と課題】

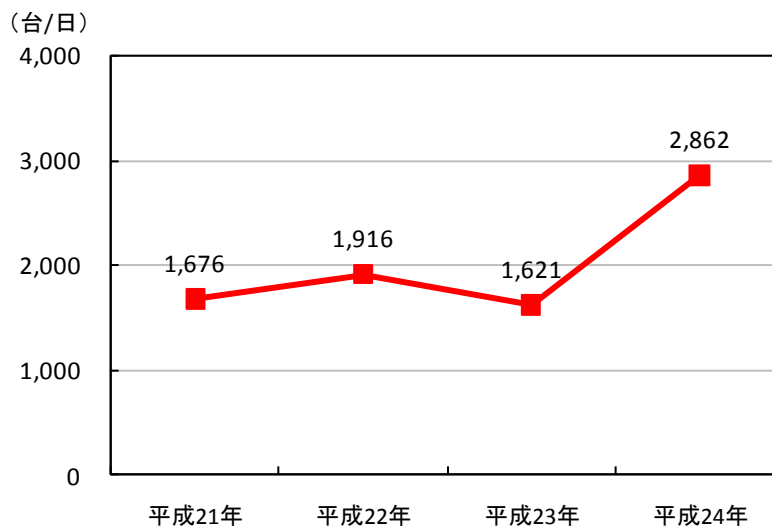
- 道路は、地域住民が生活する上で根幹をなす施設であり、その維持・向上は極めて重要となっています。
- 国・県道については、関係機関に対して整備促進を働きかけることで、国道4号において4車線化が進められているほか、県道社田浅川線の堀之内バイパスや県道高萩久田野線舟田バイパスが完成し、供用を開始するなど、着実に整備が進められています。
- 都市計画道路については、都市における交通体系を確立するため、早期の整備が望まれています。
- 身近な生活道路については、子どもや高齢者なども安全で安心して利用できる道路整備に取り組んでいます。
- 東日本大震災の際には、道路網が寸断されたことにより、交通が阻害され、物流が滞るなど、市民生活に大きな影響を及ぼしたことから、道路利用者が安全かつ円滑に移動でき、災害発生時でも道路機能の維持・確保を図ることが求められています。
- 老朽化した橋りょうについては、道路や河川の整備に合わせながら、必要に応じて修繕を実施しています。今後も橋りょうの延命化について検討しながら、計画的な整備を図る必要があります。

■市道の路線数、改良率、舗装率舗装率の推移



資料：道路河川課

■スマートインターチェンジ利用台数の推移



資料：企画政策課

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	生活道路の整備と維持管理	良好な道路環境を確保・維持するため、生活道路の点検等を継続して実施するとともに、緊急で即効性のある改修・補修や歩道整備など、必要に応じ適切な措置・対策を講じます。
②	主要幹線道路の整備	長期未着手都市計画道路の見直し路線については、早期に計画を決定・変更し、幹線道路の整備促進を図ります。 国道と市内外を結ぶ重要な路線である県道については、交通の利便性を向上させるため、県との連携を図り、改良及び整備促進に努めます。
③	広域幹線道路の整備促進	国・県等の関係機関に対し、災害時の緊急輸送路としての機能保全・強化が重要なことから、円滑な通行や安全性を確保するため、国道4号の4車線化や国道294号白河バイパスなどの早期整備に向けた働きかけを行うとともに、補修等の維持管理についても、適切な維持管理のための予算確保を要望します。
④	安全で快適な歩道の整備	歩行者系街路のネットワークのさらなる充実を図るため、その整備促進に努めます。 子どもや高齢者、障がい者などに配慮した歩道の整備とバリアフリー化に努めます。
⑤	橋りょうの整備	老朽化した橋りょうの修繕を引き続き行うとともに、延命化を図る整備の計画的な実施に努めます。

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

	取組み	主体	期待される波及効果
①	地域環境の保全や安全な通行に寄与するため、道路や側溝の維持管理に努めます。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：①
②	身近な生活道路の清掃や緑化等の活動を行うなど、沿道の美化に努めます。	市民、団体	主要な取組み：④ 成果指標：-



**写真を挿入予定**

施策 5-3

## 良好な居住環境の整備

### 【めざすまちの姿】

歴史のある中心市街地を基点に都市機能が集積し、周辺には里山に囲まれたのどかな田園が広がる自然と人々の生活が上手に調和した住環境が整っています。

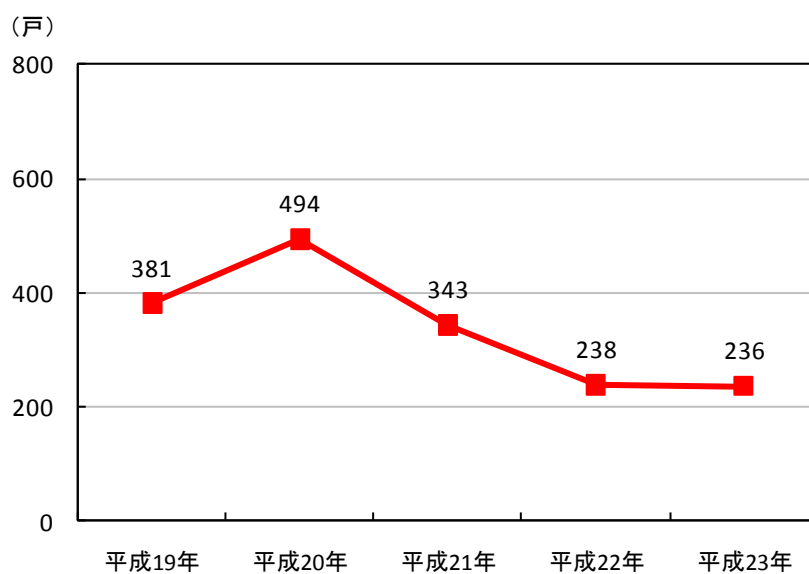
### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①都市交流施設の入館者数	人	393,500	<b>534,000</b>	増加を目指す
②市営住宅の入居率	%	79.0	85.0	増加を目指す
③地デジ難視聴の解消率	%	86.8	100	増加を目指す

### 【現状と課題】

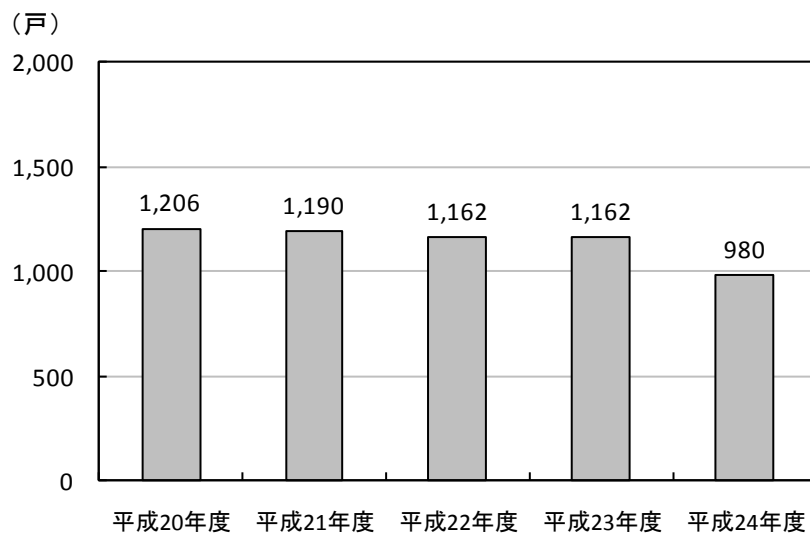
- JR白河駅を中心とする中心市街地は、鉄道やバスなどの公共交通機関が早くから整備され、県南地方の商業・業務の中心地として賑わってきましたが、都市構造の変化や車社会の進展、郊外型大型小売店の進出により中心市街地の機能低下が進んでおり、また、南湖上流地区については、一部無秩序な開発を招くことが懸念されます。
- 核家族など家族形態や生活スタイルの変化により、従来の良質な地域コミュニティが希薄化し、地域の担い手不足が深刻化していることから、人と人との交流等を通して、自分が住んでいる地域及び都市全体の魅力や問題点を再認識することが望まれます。
- ふるさと白河に愛着が持てるよう、市民が交流できる場や機会を増やし、市立図書館に見られるようなまちなかの交流拠点をコンパクトに集積し、安全・安心な回遊性のある歩行空間を有した誰もが快適に感じる都市構造に変えていく必要があります。
- 「白河市公営住宅ストック総合活用計画」に基づき、既存市営住宅の適切な維持管理や老朽市営住宅の用途廃止によるコスト削減に加え、民間建築等の適切な指導と誘導を図っています。今後は、市営住宅の入居世帯が高齢化する傾向にあるため、住宅のバリアフリー化や福祉施設との連携にも配慮した市営住宅の有効活用が求められています。
- 高度情報化社会の進展にあわせ、市内全域で光ファイバによる超高速ブロードバンド・サービスを受けられる環境が整備され、情報格差は是正されていますが、地上デジタル放送については、難視聴地区の解消が課題となっています。

### ■市内新設住宅着工数の推移



資料：福島県・建築着工統計

### ■市営住宅の管理戸数の推移



資料：建築住宅課

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	市街地の整備	<p>豊かな自然と歴史、文化が共生したまちづくりを推進するため、既に整備された都市基盤を有効に利用しつつ、生活者の視点にたった安全で暮らしやすい居住環境の整備をさらに進め定住人口の増加を図ります。</p> <p>交流人口の拡大のため、市民文化会館等の都市交流施設のまちなか立地や歴史的文化遺産を活用した観光客向けの歩行系街路ネットワークの構築を図ります。</p> <p>民間等による開発が見込まれる地区については、市民や民間事業者との合意形成を図り、自然やまちなかの景観等に配慮した秩序ある市街地を形成するため、開発行為指導要綱に基づき、適正な規制と誘導を図ります。<b>特に、南湖上流地区の国道294号西側については、都市的かつ秩序ある土地利用を推進するため、民間開発の適切な誘導に努めます。</b></p>
②	居住環境の充実	<p>市民の意見や防災の意識を取り入れながら、歴史・文化的な城下町の都市構造の中に、人にやさしいユニバーサルデザインのまちづくりの視点を加えることで、居住環境を向上します。</p> <p>市内の若年層や田舎暮らしを希望する定年退職者、被災者を対象に定住を促進するとともに、<b>一般住宅の耐震化を促進するため、耐震診断者派遣などの支援を行います。</b></p>
③	市営住宅の整備	<p>国の様々な制度を活用し、市の財政負担の軽減・平準化及び民間活力の導入などの観点を踏まえ、「公営住宅長寿命化計画」に基づき、市営住宅の新規供給から既存ストックの建替えや改修を中心とした有効活用を図り、住宅セーフティネットとしての施策効果を高めます。</p>
④	情報通信基盤の整備	<p>地上デジタル放送の難視聴地区において、恒久的対策を講じるとともに、既存の手法で解消できない地区については、国等とともに新たな手法の検討を進めます。</p>

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 自分たちの住んでいる地域への愛着を深め、地域のルールづくりや都市環境を向上させる活動に積極的に参加します。	市民、団体	主要な取組み：①、② 成果指標：-
② 地域特性に応じた <b>良好な</b> 住環境の保全及び都市環境の形成に努めます。	市民、事業者	主要な取組み：①、② 成果指標：-

【主な部門別計画】 白河市都市計画マスタープラン  
白河市中心市街地活性化基本計画  
公営住宅ストック総合活用計画

**写真を挿入予定**

施策 5-4

## 公共交通の充実

### 【めざすまちの姿】

公共交通ネットワークを充実することにより、公共交通機関の利用者が増えるとともに、環境に配慮した地球にやさしい、安全で快適な移動手段が確保されています。

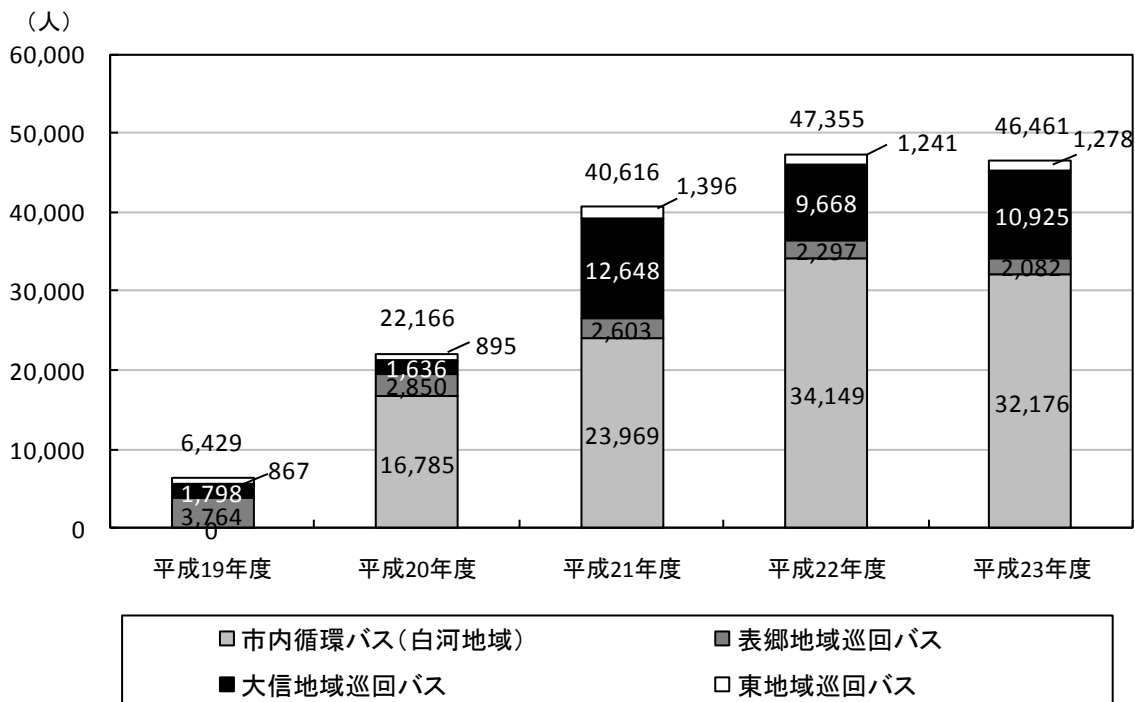
### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①市内循環バス・地域巡回バスの利用者数	人/年	51,000	65,000	増加を目指す
②新白河駅の利用者数	人/日	2,504	2,510	現状レベルを維持する
③白河駅の利用者数	人/日	579	580	現状レベルを維持する

### 【現状と課題】

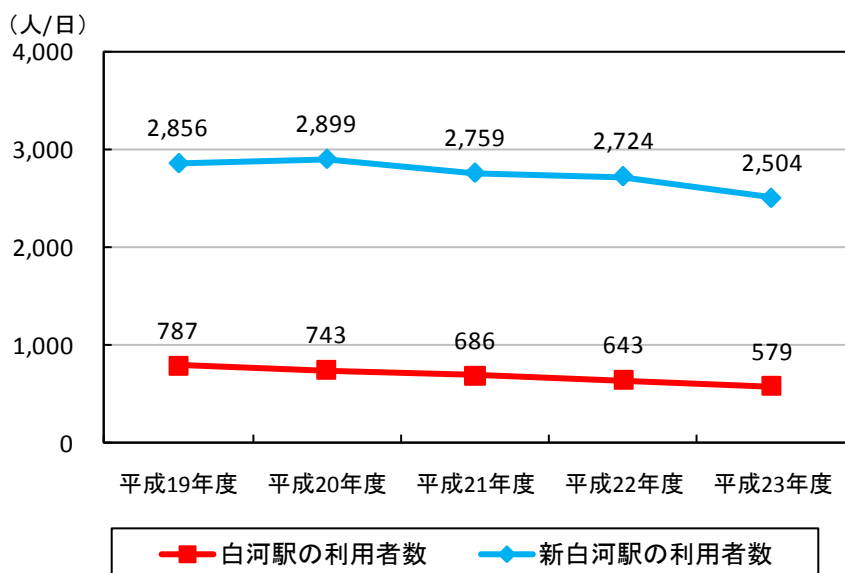
- 地球温暖化が社会的な問題となっている中で、自家用車から公共交通機関への転換を図り、環境負荷を軽減させることが求められています。
- 公共交通については、高齢者や運転免許を持たない方などの日常生活を支える移動手段として不可欠なものとなっています。しかしながら、これまでの急速な自家用車の普及とともに公共交通機関の利用者は減少しております。
- 公共交通機関の利用者拡大に向け、車両設備のバリアフリー化や利用実態の把握に努めるとともに、市民のニーズを的確に捉えながら、公共交通ネットワークの充実を図り、市民が安全で快適に利用できる公共交通の実現に努める必要があります。
- 鉄道や航空といった公共交通機関については、利用者の利便性向上を図るため、鉄道ダイヤの充実や駅施設のバリアフリー化、航空路線の維持・拡充等について関係機関へ働きかけていく必要があります。

■市内循環バス・地域巡回バスの年間利用者数の推移



資料：地域支援課

■白河駅、新白河駅の利用者数（一日平均）の推移



資料：東日本旅客鉄道株式会社

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	バス交通の確保	日常生活に不可欠な生活路線については、バス事業者や近隣市町村等と協議しながら、既存の運行経路や運行形態について継続的に見直しを行い、効果的で効率的なバス交通の確保に努めます。
②	バス交通の利便性の向上	公共施設、駅、病院、中心市街地等を結ぶ交通アクセスとしての確保に努めます。 車両設備のバリアフリー化を図るとともに、市民のニーズや道路状況の変化に対応した運行に努め、安全で快適に利用できるバス交通の実現を図ります。
③	鉄道・空港の利活用の促進	鉄道ダイヤの充実、駅施設のバリアフリー化、福島空港の航空路線の維持・拡充等について関係機関への要望活動を行い、利用者の利便性の向上を図ります。

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	公共交通ネットワークを充実し、利用者が快適に利用できるよう努めます。	事業者、関係機関	主要な取組み：①、②、③ 成果指標：①、②、③
②	利用者の円滑な移動が図られるよう、車両のバリアフリー化やダイヤの見直しに努めます。	事業者、関係機関	主要な取組み：②、③ 成果指標：①、②、③

## 【主な部門別計画】 白河市地域公共交通総合連携計画



**写真を挿入予定**

施策 5-5

## 安全で安定した水の供給

### 【めざすまちの姿】

持続可能な水道事業の構築により、安全で安心して飲める水道水が安定して供給されています。

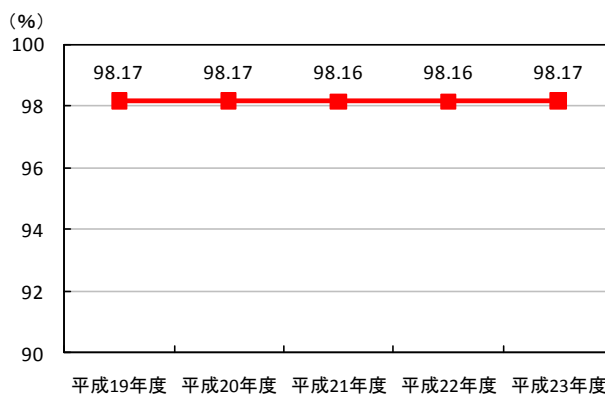
### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①水質基準適合率	%	100	100	現状レベルを維持する
②管路の耐震化率	%	15.6	17.0	増加を目指す
③給水収益に対する企業債残高の割合	%	352.6	300.0	減少を目指す

### 【現状と課題】

- 人口減少や社会経済情勢の変化などにより、水需要が年々減少し、水道料金収入も減少傾向にあります。
- 水の安定供給を行うため、老朽管や老朽施設の改良等を計画的に進めるとともに、災害に備え、施設等の耐震化、危機管理体制の強化が求められています。
- 水道水の安全性に対する不安を解消するため、維持管理と検査の徹底が必要です。
- 後年度における施設の更新事業に備えるため、企業債の発行を抑制して企業債残高を減らし、健全で安定した水道経営を図ることが必要です。

### ■上水道普及率の推移



資料：水道部

### 【主要な取組み】

取組み		内容
①	安全・安心な水道水の供給	<p>水質基準に適合する水質を守るため、定期的な検査を継続していきます。</p> <p>放射能に対する不安を解消するために、検査結果を広報紙等に掲載し、市民への情報提供を行います。</p>
②	水の安定供給の向上	<p>計画的な施設の耐震化や管路のループ化により水道施設の安定した機能を確保し、災害や事故の被害を最小限に抑える減災対策を実施します。</p>
③	健全な水道経営の推進	<p>水道事業経営が持続可能となるよう、事業の統合、経費の削減、施設のスリム化などにより、経営の効率化・健全化を進めるとともに、公平で適正な費用負担と合理性を兼ね備えた料金体系の構築を図ります。</p> <p>特に、後年度における施設の更新事業に備えるため、企業債の発行を抑制して企業債残高を減らすよう努めます。</p>

### 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 水の大切さを理解し、水の有効利用と水道料金の期限内の納付に努めます。	市民、事業者	<p>主要な取組み：③</p> <p>成果指標：③</p>

### 【主な部門別計画】 白河市水道事業整備基本計画

施策 5-6

衛生的で快適な下水道の整備

【めざすまちの姿】

下水道の整備が計画的に進むことで、より衛生的で快適な市民生活と河川や湖沼など公共用水域の水質が守られています。

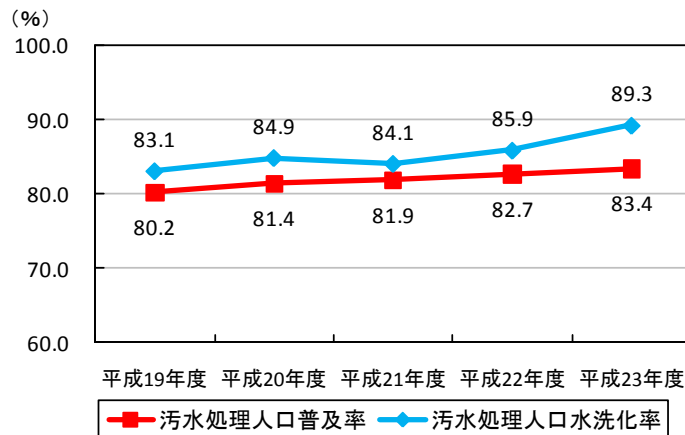
【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①汚水処理人口普及率	%	83.4	88.9	増加を目指す
②汚水処理人口水洗化率	%	89.3	92.9	増加を目指す

【現状と課題】

- 市民の快適な暮らしを支えるとともに、河川等の水環境の水質保全を図るため、下水道の整備を計画的に進める必要があります。
- 設備の適切な維持管理のため、公共下水道の長寿命化計画策定や農業集落排水事業の機能強化に取り組んでいます。
- 公共下水道及び農業集落排水施設への速やかな接続、浄化槽市町村整備推進事業への加入など、水洗化の普及促進をさらに進めていく必要があります。
- 放射性物質が検出された発生汚泥については、減容化施設（乾燥機）の設置などにより適正な処理を進めています。

■汚水処理人口普及率及び汚水処理人口水洗化率の推移



資料：下水道課

### 【主要な取組み】

取組み		内容
①	公共下水道の整備と維持管理	市民の衛生的で快適な暮らしを支えるため、下水道事業計画や長寿命化計画に基づき、施設を整備するとともに、適切な維持管理に努めます。
②	農業集落排水施設の整備と維持管理	農業用排水の水質汚濁の防止や農村地域の生活環境の改善を図るため、農村下水道である農業集落排水施設の整備と発生活泥の資源循環を推進するとともに、施設の維持管理を充実します。
③	合併処理浄化槽の設置整備の促進	公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道や農業集落排水による集合処理の適さない地域においては、市町村設置型による合併処理浄化槽の整備を促進します。
④	水洗化の普及促進	広報紙等を通じて、公共下水道及び農業集落排水施設への速やかな接続を促し、水洗化の普及に努めます。

### 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	公共下水道及び農業集落排水施設への速やかな接続に努めます。	市民、事業者	主要な取組み：①、②、④ 成果指標：①、②
②	公共下水道、農業集落排水区域外においては、合併処理浄化槽の設置と適正な維持管理に努めます。	市民、事業者	主要な取組み：③、④ 成果指標：-

### 【主な部門別計画】 白河市生活排水処理基本計画



## 6 環境分野

---

自然と共生し、潤いのある環境を未来につなぐまち

施策 6-1

## 資源循環型社会の形成

### 【めざすまちの姿】

地球温暖化や資源の枯渇など地球全体の環境問題に対する意識が高まり、身近にできるごみの減量化・再資源化のための取り組みが定着することで、環境負荷の少ない資源循環型社会が形成されています。

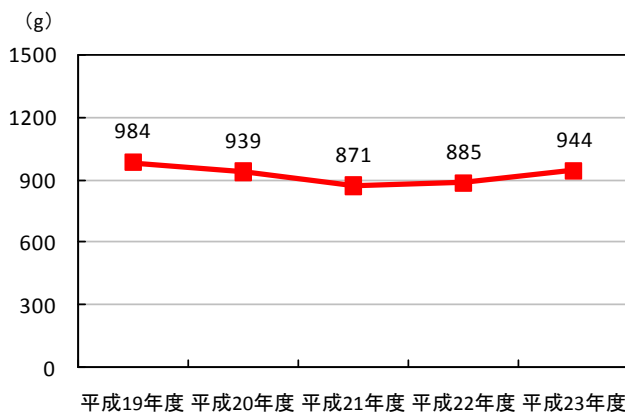
### 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①温室効果ガスの総排出量(市の公共施設)	t/年	4,939	4,500	減少を目指す
②市民一人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	913.8	900	減少を目指す
③年間資源回収率	%	13.4	15	増加を目指す
④レジ袋削減協定参加事業者数	団体	6	8	増加を目指す

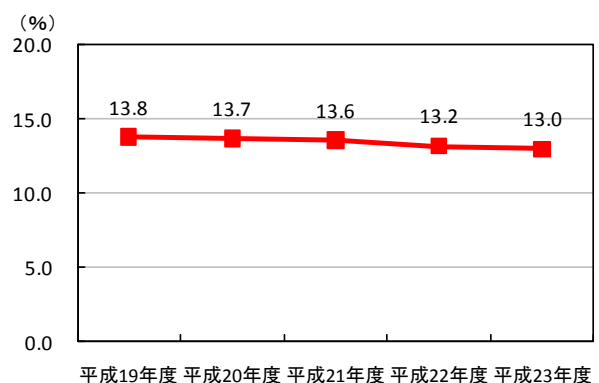
### 【現状と課題】

- 環境への負荷軽減を目指す市民活動が積極的に行われており、特に、原発事故以降は電力使用量の低減のための省エネルギー活動が活発となっています。
- マイバックの普及、町内会や子ども会による資源回収活動が活発に行われていることから、市民一人ひとりの資源循環型社会に対する意識が向上しています。
- 資源価格が上昇傾向となっていることから、3R（リデュース：削減、リユース：再利用、リサイクル：再資源化）の重要性が高まっています。
- 不法投棄については、増加傾向にあることから、不法投棄防止の意識啓発や監視体制の強化が求められています。

■市民一人1日当たりのごみ排出量の推移



■年間資源回収率の推移



資料：生活環境課



## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	資源循環型社会の普及啓発	<p>資源が持続的に循環する社会の形成に向けた取組みを、広報紙やホームページ、各種イベント等において、普及・啓発することで、市民の意識高揚を図ります。</p> <p>各家庭や事業所における積極的な省エネ・省資源活動を促進して、温室効果ガスの発生抑制に努めます。</p>
②	ごみ減量化・資源化・再利用の推進	<p>マイバック推進デーなど県や小売業と連携し、レジ袋の削減からごみ減量化につなげるとともに、3R推進のため、国・県・事業者との連携を強化することで、効果的なごみの減量及び資源の再利用促進を図ります。</p> <p>生ごみ処理機助成制度の促進や紙製容器包装用ごみ袋の活用により、ごみの減量化・資源化と市民の意識高揚に努めます。</p> <p>各町内会の保健委員と連携し正しいごみの出し方を周知するとともに、マナーの向上を図ります。</p>
③	不法投棄対策の推進	<p>地域の状況に応じて、監視カメラの設置等を進めるとともに、地域ぐるみでの監視体制を強化することで、不法投棄をしにくい環境づくりに努めます。</p>

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 物を大切に、ごみ発生量の減量化やごみの分別による資源化に努めます。	市民	<p>主要な取組み：②</p> <p>成果指標：②、③</p>
② 電気や水の節約など、環境に配慮した生活に努めます。	市民	<p>主要な取組み：①</p> <p>成果指標：①</p>
③ 不法投棄に関する監視及び指導の強化に協力します。	市民、団体	<p>主要な取組み：③</p> <p>成果指標：-</p>

## 【主な部門別計画】 エコオフィスしらかわプランⅡ

## 施策 6-2

## 地域環境の保全

## 【めざすまちの姿】

河川などの身近な環境保全や意識向上を図るための環境学習等の機会が充実するとともに、市民の環境保全活動への参加意欲が高まることで、環境保全活動が活発に展開され、水と緑に恵まれた自然環境が保全されています。

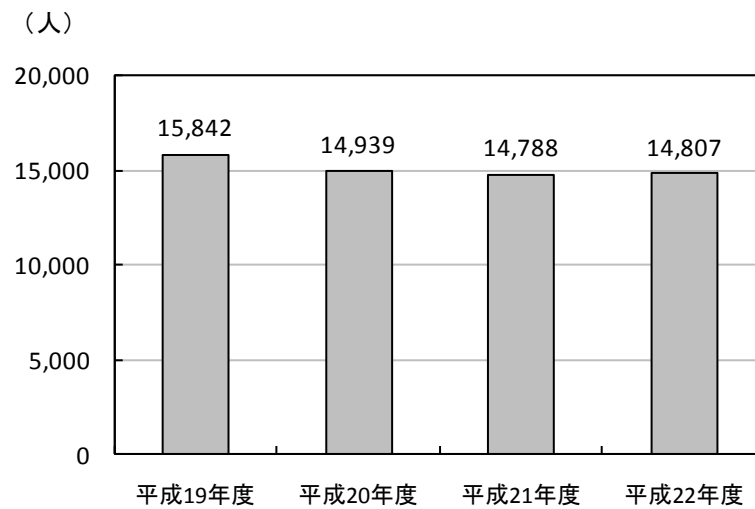
## 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①市内一斉清掃参加人数	人	13,650	15,000	増加を目指す
②谷津田川の水質（BOD値）	mg/L	4.4	3.0以下	減少を目指す
③南湖の水質（COD値）	mg/L	3.8	3.8以下	減少を目指す
④子どもエコクラブ登録団体数	団体	1	3	増加を目指す
⑤騒音調査における環境基準達成率	%	60	70	増加を目指す

## 【現状と課題】

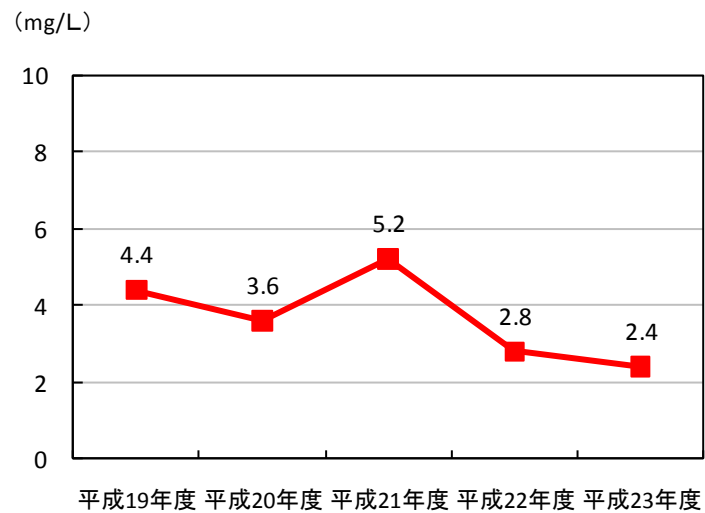
- 我が国では、平成5年に制定された環境基本法などに基づき、公害対策や自然の保護などが進められてきました。
- 本市では、阿武隈川、南湖、権太倉山、関山など、豊かな自然環境に恵まれており、子どもたちへの継承を図るため、水、大気環境の保全に取り組んできました。
- 「白河市美しいふるさとづくり条例」に基づき、美化推進地区に指定された6箇所の地域で、市民・事業者・市がそれぞれの役割に応じた環境美化活動が行われています。
- 県の天然記念物に指定されているビャッコイ等の希少野生動植物が減少傾向にあることから、効果的な保全対策が求められています。
- 工場などを発生源とする産業型の公害だけでなく、騒音や生活排水による河川等の汚濁などの都市生活型の公害が増加するなど、公害問題は多様化しています。
- 良好な生活環境を守るためには、市民一人ひとりのモラルの向上が不可欠であり、市民・事業者・市がそれぞれの立場で生活環境の保全に向けた取組みを進める必要があります。

### ■市内一斉清掃参加人数の推移



資料：生活環境課

### ■南湖の水質の推移



資料：生活環境課

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	環境美化の推進	自然豊かで美しく快適な生活環境づくりを進めるため、市民・事業者・市のそれぞれの役割について積極的な啓発活動を推進するとともに、関係団体等との連携を強化することで、市内一斉清掃や河川美化活動等の地域の自主的な環境美化活動を促進します。
②	環境保全のための教育・学習環境の充実	環境の保全に対する市民の理解を深めるため、講習会やシンポジウムを開催するとともに、出前講座やごみ処理施設の見学等を通じた環境教育・学習環境を充実します。 学校における環境学習について、こどもエコクラブ等による課外授業など、子どもからの環境学習の機会の拡充に努めます。
③	生物多様性の保全	ビャッコイ等の希少野生動植物の生息・生育環境を保護することで、地域の生物多様性の保全に努めます。
④	環境汚染の防止	県や関係機関と連携し、水質汚濁や大気汚染などの公害の防止に努めるとともに、河川、湖沼等の水質調査を実施し、監視・指導体制の強化を図ります。 日常生活の身近なところで発生する騒音・振動問題等の早期解決を図るため、苦情処理相談窓口の体制を充実・強化します。
⑤	生活衛生環境の保全	生活環境の保全及び環境衛生の改善を図るため、ごみ・し尿処理対策について、白河地方広域市町村圏整備組合と連携した取組みを推進します。 美化推進地区ごとに美化推進員によるパトロール活動を実施し、ごみポイ捨て防止啓発活動を実施します。

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	白河市美しいふるさとづくり条例で指定された美化推進地区の環境美化運動に参加します。	市民、事業者	主要な取組み：①、②、③、 ⑤ 成果指標：①、②、③
②	市内一斉美化活動に参加します。	市民、事業者	主要な取組み：①、②、③、 ⑤ 成果指標：①、②、③

## 【主な部門別計画】 白河市環境基本計画

写真を挿入予定

## 施策 6-3

## 緑豊かで身近な自然環境の保全と創出

## 【めざすまちの姿】

多くの市民や観光客が集う魅力あふれる公園となっています。  
適切な地域緑化の推進が図られるとともに、森林や里山の保全・活用の促進により、緑豊かな自然環境が創出されています。

## 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①市民参加で管理されている公園の割合	%	87.5 (84/96カ所)	<b>89.8</b> (88/98カ所)	増加を目指す
②市民一人当たりの都市公園面積	m <sup>2</sup>	21.6	23.0	増加を目指す
③南湖森林公園の利用者数	人	13,300	14,630	増加を目指す

## 【現状と課題】

- 良質で快適な生活環境の創出には、ゆとりや安らぎをもたらす公園・緑地は欠かすことのできないものです。
- 本市には、南湖、小峰城跡、白河関跡に代表される史跡を生かした公園やコミュニティの場としての身近な公園が数多く存在しています。
- 一体的な魅力ある公園づくりを進めるため、特に、史跡を生かした公園については、それぞれの特色を生かした環境の整備と回遊できるようネットワークの形成が必要です。
- 公園の維持管理水準を高めるため、既存のボランティア活動に限らず、新たなボランティア活動の発掘と育成の体制づくりが必要です。
- 緑を守り、市民のやすらぎの場の創出に向けて、市街地や市街地周辺にある風致地区などの維持・保全を図りながら、社寺境内や公園、道路等の緑地空間の計画的な整備に努めることが求められています。
- 緑豊かな自然環境を創出するため、森林と市民の関わりを深め、里山づくりを進めるなど、森林や里山の保全・活用する必要があります。

■都市公園の状況

単位:ha

公園名	位置(所在地)	面積
南湖公園	南湖地内	44.4
城山公園	郭内地内	9.5
友月山児童公園	菖蒲沢地内	0.08
向新蔵児童公園	向新蔵地内	0.25
双石公園	双石新田地内	0.17
稲荷山公園	九番町西裏地内	0.36
高山北公園	新白河一丁目地内	0.25
高山西公園	新白河四丁目地内	0.25
一里段公園	白坂一里段地内	0.91
白河市鶴子山公園	表郷金山字鶴子山地内	3.8
白河総合運動公園	北中川原地内	11.2
しらさかの森スポーツ公園	白坂牛清水地内	19.32
白河市表郷総合運動公園	表郷番沢字久の内地内	8.89
白河市大信総合運動公園	大信上新城字原畑地内	5.88
白河市東風の台運動公園	東釜子字狐内地内	17.41
羅漢墓地	金子平地内	6.5
	合計	129.17

※平成24年4月1日現在

資料:都市計画課

## 【主要な取組み】


取組み		内容
①	史跡を活かした公園等の保存管理と整備	<p>緑にあふれる美しい景観を次世代へ継承するため、南湖公園や城山公園、関の森公園の適正な保存管理と整備に努めます。</p> <p>公園内の文化財の保存・管理や地域と連携した公園管理、観光の拠点としての連携及び整備の強化に努めます。</p>
②	身近な公園の維持管理と整備	<p>身近な公園の維持管理等に多くの市民が参加できるよう、公園の維持管理に関する人材やボランティア団体の育成を図ります。</p> <p>災害等緊急時の避難場所と医療・物流支援活動の拠点となる防災機能を有した公園の整備に努めます。</p>
③	地域緑化の推進	<p>地域にふさわしい緑化を進めるため、風致地区の維持・保全を図りながら、社寺境内や公園、道路等の緑地空間の計画的な整備に努めます。</p> <p>緑化についての市民の意識を高めるとともに、市民参加を促進し、住民等と行政が一体となった緑豊かな地域づくりを推進します。</p> <p>公共施設の緑化を推進するとともに、工場や住宅団地などの緑化や緑化協定の締結に向けて、啓発や指導に努めます。</p>
④	森林や里山の保全・活用	<p>森林や里山の良好な環境の保全を図るため、森林が持つ多面的機能が発揮されるよう適正に管理するとともに、多様な生物の生息環境である里山の保全に努めます。</p> <p>自然とのふれあいを通じて、市民が自然の大切さや生態系を理解、学習するための森林公園施設の充実を図ります。</p> <p>森林環境交付金の活用などにより、森林づくりへの市民の参画を促進します。</p>

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	身近な緑化に努めるとともに、公園の清掃活動や維持管理に参加します。	市民、団体	主要な取組み：②、③ 成果指標：①
②	里山の魅力を再認識し、貴重な自然環境を次世代に継承するため、ボランティア活動等による里山の保全に努めます。	市民、団体、事業者	主要な取組み：④ 成果指標：－

【主な部門別計画】 白河市都市計画マスタープラン  
白河市緑の基本計画





写真を挿入予定



# 7 コミュニティ・行財政分野

---

地域のふれあいと支え合いで共に創るまち

## 施策 7-1

## 市民との協働による地域づくり

## 【めざすまちの姿】

市民団体やNPO法人等との連携や協働の取組みを積極的に進めることで、市民と行政のパートナーシップが強化され、市民活動が活発に行われています。

幅広い年代が様々な地域活動に参加し、世代間交流が生まれ、地域へ愛着を持つ住民が増加し、特色ある地域が形成されています。

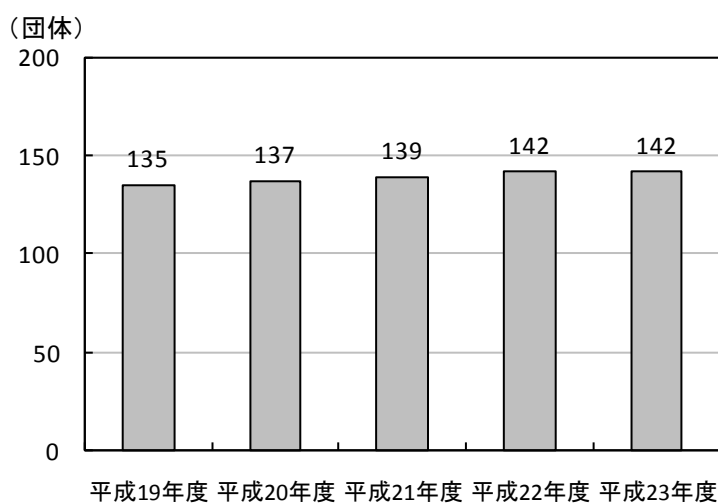
## 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①市民活動団体の数	団体	195	203	増加を目指す
②市民協働事業の数	事業	29	38	増加を目指す

## 【現状と課題】

- 少子高齢化や高度情報化の進展などの社会情勢の変化に応じて、市民一人ひとりの豊かさの概念も変化しはじめています。本市においても、市民ニーズの多様化・高度化、厳しい財政状況、職員の削減など、多くの課題に直面しており、**行政がすべての地域の課題に対応することが難しくな**ってきています。
- 町内会などの地域コミュニティ活動においては、住民の高齢化、消費者ニーズの多様化等により地域活動の低下が課題としてあげられる一方で、東日本大震災を契機に地域活動やボランティア・市民活動などへの参加を通して、行政と共に住みよい地域づくりに関わろうとする市民協働の意識が芽生えつつあります。
- 地域における行政サービスについて、町内会やボランティア、NPO、あるいは新たな市民組織などが持つ知識やノウハウを生かして行政と連携しながら担う「新しい公共」の仕組みをこれまで以上に構築していく必要があります。
- 地域住民が集い活動するための拠点であり、緊急時の避難施設となる集会所を計画的に整備する必要があります。

## ■市民活動団体の数の推移



資料：地域支援課

### 【主要な取組み】

取組み		内容
①	協働の仕組みづくり	まちづくりの基本ルールとなる自治基本条例を制定し、同条例及び市民参画・協働推進指針に基づき、官民一体となった協働の仕組みを構築します。
②	参画と協働の推進	市民と行政との協働を推進するため、町内会やボランティア、NPOなどに対して、市や県の補助事業を促すとともに、市の政策形成過程における市民参画を促進します。 市民団体の活動状況等の情報や意見を交換する場をつくるなど、活動する市民同士のつながりを強化することで、市民活動の活発化を目指します。
③	特色ある地域コミュニティ活動への支援	地域の活力向上を図るため、地域の特性を活かした市民の自発的な取組みを支援し、独自性のある事業に対して補助を行うことで、地域の活性化につながる事業を実施します。
④	コミュニティ施設の整備と利活用促進	地域活動の拠点となり、緊急時の避難施設となる集会所の整備を毎年計画的に進めるとともに、利用しやすい施設への改修・修繕などにより、地域活動の活性化に努めます。

### 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

	取組み	主体	期待される波及効果
①	町内会、ボランティア、NPO等の活動に積極的に参加します。	市民、団体	主要な取組み：② 成果指標：①
②	市民協働の補助金等を活用し、地域の課題や特性を踏まえた協働の取組みを展開します。	市民、団体	主要な取組み：②、③ 成果指標：②

### 【主な部門別計画】 白河市市民参画・協働推進指針

写真を挿入予定

写真を挿入予定

## 施策 7-2

## 人権尊重・男女共同参画社会の推進

## 【めざすまちの姿】

市民一人ひとりの人権意識が向上し、男女が互いに尊重し合える地域社会が実現されています。

## 【めざす姿の成果指標】

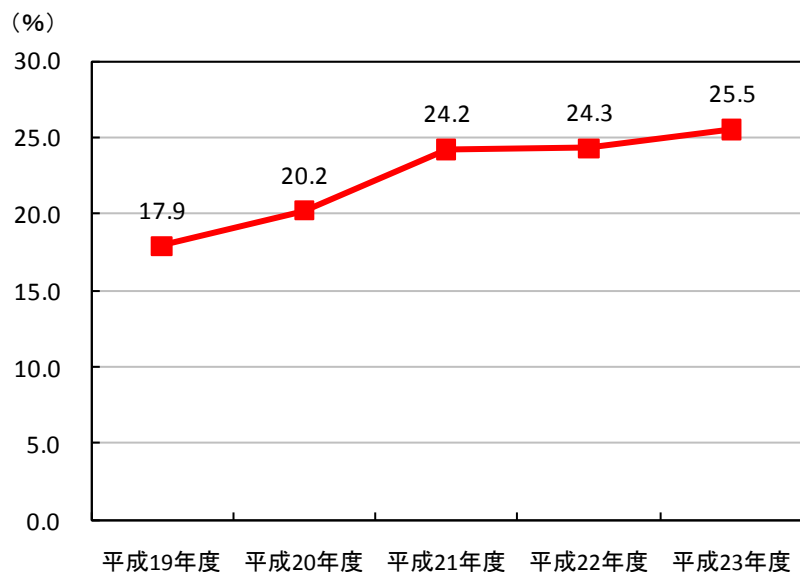
指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①附属機関等における女性委員の割合	%	25.5	30.0	増加を目指す
②女性の就業率	%	45.6	50.0	増加を目指す

## 【現状と課題】

- 近年、インターネットによる人権侵害等が社会問題になるなど、人権問題はより一層複雑・多様化しています。
- 男女共同参画については、国において平成22年に「第3次男女共同参画基本計画」が策定され、法律や制度面における男女平等の条件がより一層整備されています。
- 本市では、平成20年に策定した「白河市男女共同参画計画」に基づき、女性のキャリア形成のための支援など、男女共同参画社会の形成に向けた取組みを進めています。
- 女性の活躍の場は、広がりを見せているものの、今もなお「男は仕事」「女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識や慣行が存在しており、女性の能力発揮や社会参画を阻む要因となっています。
- 男女共同参画社会の実現に向けて、働く女性が育児や介護など家庭の事情が生じた場合においても、不安を抱えることなく自身の仕事と家庭を両立できるような支援及び社会的意識づくりが必要です。
- 今後も、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の実現に向けての環境整備や、男女共同社会を形成していく上で克服すべき課題である「女性に対するあらゆる暴力の根絶」に向けて、正しい認識の普及・啓発と暴力を容認しない社会環境の整備が求められています。



## ■附属機関等における女性委員の割合の推移



資料：地域支援課

### 【主要な取組み】

取組み		内容
①	人権尊重の意識づくり	職場・地域・家庭など、それぞれの立場でお互いの人権を尊重し合う社会へ向けての継続的な人権啓発活動と、人権の重要性や人権を正しく理解してもらうために小・中学校での人権教育を推進します。
②	男女共同参画意識の啓発・促進	男女共同参画について、市民や事業者に対し、広報紙やホームページなどを活用した広報活動の充実に努めるとともに、出前講座や講演会等を開催することで、男女共同参画意識の啓発を図ります。 政策形成過程や方針決定の場における女性の参画を進めるため、「白河市男女共同参画計画」に基づき、市の附属機関等へ女性の積極的な登用を促進します。
③	男女共同参画に係る環境整備	男性が家事や地域活動に参加することを促進し、女性が地域活動のリーダーなどとして責任を担うことができるよう、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進します。 男女共同参画社会の形成に向けた専門的な学習機会及び情報提供を充実させることにより、男女が平等に「自分らしく」生きることができるよう環境整備に努めます。

**【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】**

取組み		主体	期待される波及効果
①	男女が互いに人権を尊重しつつ、個性と能力を十分に発揮できる社会の実現に向けた啓発に努めます。	市民、団体、事業者	主要な取組み：①、②、③ 成果指標：①、②
②	男女共同参画に関する交流会や研修会等に積極的に参加します。	市民、団体	主要な取組み：①、②、③ 成果指標：①、②

**【主な部門別計画】 白河市男女共同参画計画**

**写真を挿入予定**

**写真を挿入予定**

## 施策

## 7-3

## 多様な交流と連携の推進

## 【めざすまちの姿】

国際交流や都市間交流を通して多様な価値観を認め合い、地域の良さを再認識し、文化の薫り高い魅力ある都市が形成されています。

定住人口と交流人口のバランスのとれた都市空間が形成されています。

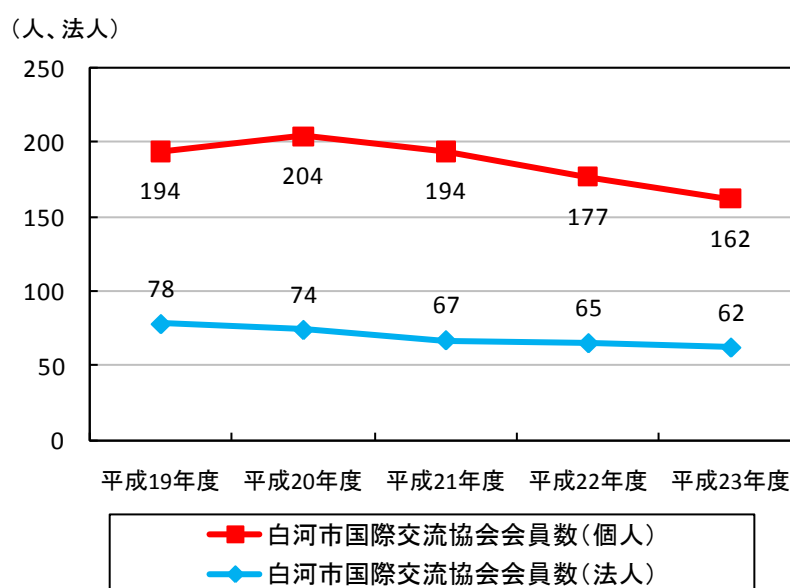
## 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①白河市国際交流協会会員数 (個人)	人	144	250	増加を目指す
②白河市国際交流協会会員数 (法人)	法人	58	80	増加を目指す

## 【現状と課題】

- 国際交流は、フランス共和国コンピエーニュ市と市の国際交流協会会員同士による友好関係が続いています。
- 国際交流の主要事業である中学生派遣事業は参加者等から好評を得る一方、一般市民の関心は高いとは言えない状況です。
- 今後は、国際交流活動が広く市民に浸透するとともに、交流の裾野を広げ、商工関係など多面的な交流を検討する必要があります。そのためには、国際交流活動推進の核となる国際交流協会の組織強化が求められます。
- 市内在住外国人との交流事業は、要請により縫製会社の中国人研修生に対する講義は実施していますが、それ以外の交流は行われていない状況です。
- 都市交流は、主に観光事業を通して国内の友好都市等のイベントに参加するなど良好な関係が続いています。
- 東日本大震災を契機に、近隣自治体等との災害応援協定締結の機運が高まっています。
- 白河市への定住・二地域居住については、原子力災害に伴う風評により、厳しい状況です。

## ■白河市国際交流協会会員数（個人・法人）の推移



資料：秘書広報課

### 【主要な取組み】

取組み		内容
①	国際交流の推進	<p>国際交流協会の会員数を増やすなど組織の強化を図りつつ、コンピューターニュー市との交流・親睦をさらに深め、既存の事業以外の交流を検討します。</p> <p>市内在住外国人との交流を積極的に図るため、交流ネットワークの構築を検討します。</p>
②	地域間交流の推進	<p>友好関係をさらに発展させるため、人的交流や災害協定など実務的な連携をより一層強化するとともに、民間レベルの交流を促します。</p>
③	定住・二地域居住の推進	<p>県やF I T構想推進協議会、近隣市町村などの各関係機関と連携・協力し、原子力災害に伴う風評被害の払拭に努めるとともに、雇用の確保や教育・文化施設の充実など、市の持つ総合的な魅力の発信に努め、定住・二地域居住環境の整備に努めます。</p>

### 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み	主体	期待される波及効果
① 海外や国内他都市への関心と理解を高め、交流等へ積極的に参加します。	市民、団体	<p>主要な取組み：①、②</p> <p>成果指標：①、②</p>

施策 7-4

開かれた市政の推進

【めざすまちの姿】

必要な情報や市政の動きが広報紙やホームページを通して分かりやすく伝えられています。市民の声を的確に把握し、政策形成過程で市民参画が推進されています。市の保有する情報が適正に管理され、情報公開等の相談や請求に対して迅速に対応することで市政の信頼性が高まり、透明性が確保されています。

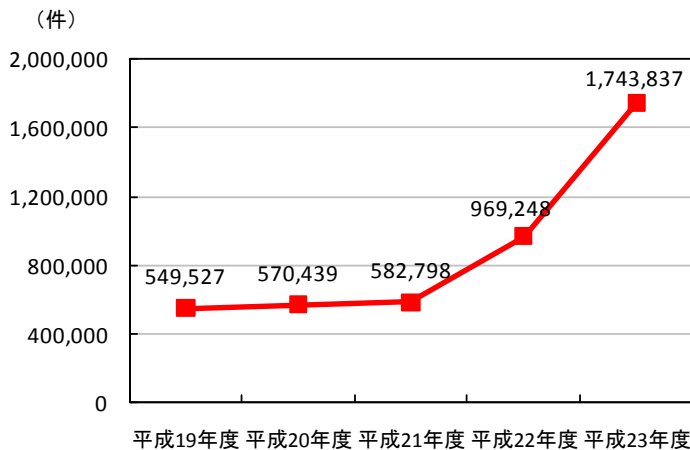
【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①「白河市公式ホームページ」へのアクセス件数	件/月	90,000	94,500	増加を目指す
②「市政懇談会」の開催件数	件/年	18	25	増加を目指す

【現状と課題】

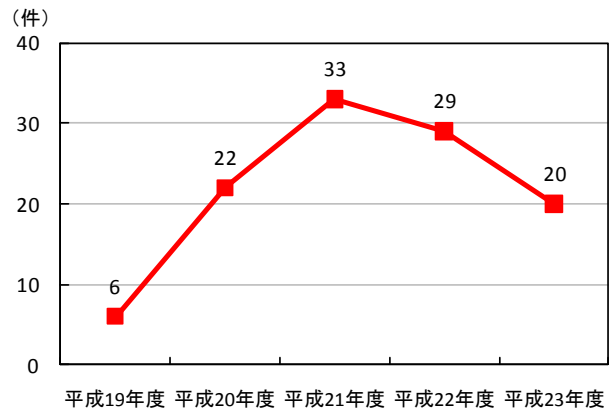
- インターネット等の普及により情報発信媒体が多様化し、市民の情報収集形態が変化してきています。
- 自治体もマスメディアに依存せず自らが広く情報発信が可能になるなど、広報を取り巻く環境が大きく変化していることから、新しい情報伝達方法に対応していく必要があります。
- タイムリーな市政情報を迅速、かつ、効果的に提供するためには、明確な意思に基づく戦略的な広報が必要です。
- 協働のまちづくり及び市政への市民参画を推進するためには、公正で開かれた市政運営が不可欠です。そのためには市が保有する情報を分かりやすく提供するとともに、市民ニーズを的確に把握することが重要です。
- 高度情報通信社会の進展により、個人情報保護の適切な管理が求められています。

■「白河市公式ホームページ」へのアクセス件数の推移



資料：秘書広報課

■情報公開・自己情報開示請求件数の推移



資料：総務課

### 【主要な取組み】

取組み		内容
①	広聴活動・参画機 会の充実	市民の要望・意見・提言を市政に反映させるため、引き続き市長への手紙、市政懇談会などによる広聴活動を推進します。 インターネットの活用など新たな意見集約方法を検討します。 パブリックコメント制度の定着を図り、政策形成過程での市民への情報提供に努め、政策決定における市民参画を推進します。
②	広報活動の充実	広報紙については、分かりやすい紙面構成に努めるとともに、インターネットやマスメディアを活用し、効果的・効率的な広報活動を展開します。 見やすく分かりやすいホームページを構築するとともに、ホームページ研修会の開催により、職員のスキルアップを図り、各課の掲載内容の充実を図ります。
③	情報の公開と個人 情報の保護	市政運営の透明性を確保するため、制度の周知・浸透に努め、かつ、情報公開までに要する事務の迅速化を図ります。 個人情報の漏洩等のリスク管理体制を必要に応じて見直し、個人情報の保護を徹底します。

### 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	自ら積極的な行政情報の収集を行うとともに、市政の運営について関心を持ちます。	市民	主要な取組み：① 成果指標：①、②
②	パブリックコメント制度等を活用し、市の重要な施策や計画策定について、意見や要望を述べ、市政に積極的に参画します。	市民	主要な取組み：① 成果指標：①、②

## 施策 7-5

## 効果的・効率的な行政運営の推進

## 【めざすまちの姿】

限られた行政資源の有効活用を図りながら、最少の経費で最大の効果を挙げる行政運営が行われています。

市民の立場に立った質の高い行政サービスが提供されています。

## 【めざす姿の成果指標】

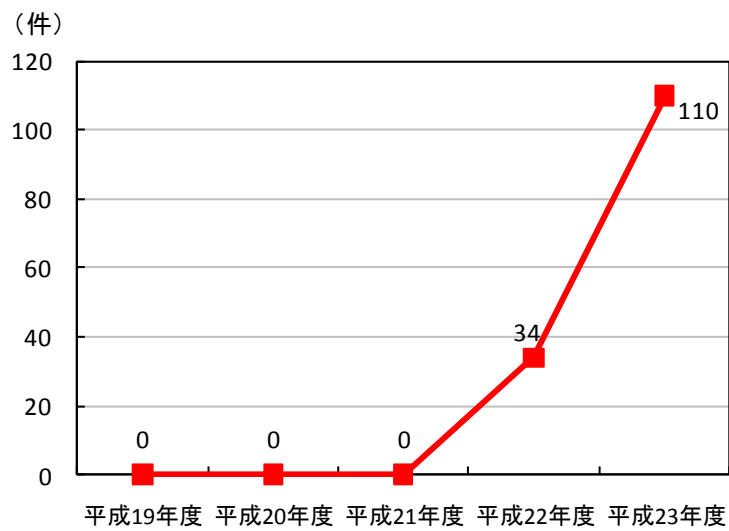
指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①コンビニエンスストアにおける 証明書の交付利用件数	件	7,700	10,000	増加を目指す
②県からの権限移譲受入件数	件	413	550	増加を目指す

## 【現状と課題】

- これまで行ってきた行政サービスの水準を将来にわたって維持するとともに、新たな市民ニーズや行政課題に的確に対応することが求められています。
- 公共施設の効率的な管理や民間活力の導入、国・県、他の市町村との連携による事務事業の実施など、効果的・効率的な行政運営を推進することが求められています。
- 最少の経費で最大の効果を挙げるため、PDCAのマネジメントサイクルによる事業の選択と資源の適正配分を図る必要があります。
- 市では、来庁者がワンストップで申請・届出・相談を行える総合窓口を設置するとともに、コンビニエンスストアでの証明書交付サービスを実施するなど、市民の利便性の向上に取り組んでいますが、より分かりやすく、利便性の高い窓口の在り方について検討する必要があります。
- 地方分権改革の推進及び県からの権限移譲を進めるためには、市の役割と責任がますます高まることから、さらに簡素で効果的な組織機構の構築と職員の政策形成能力等の向上を図る必要があります。
- 職員の能力や実績、適性等に応じた人事管理と心身ともに健康で安心して働くことができる環境整備を図る必要があります。

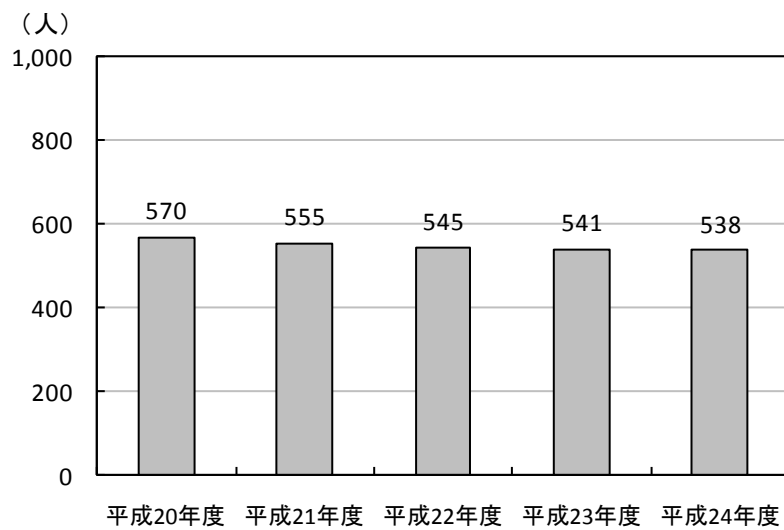


### ■県からの権限移譲受入件数の推移



資料：総務課

### ■職員数の推移



資料：総務課

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	事務事業の重点化と効率化	<p>総合計画や行政改革実施計画などの各種計画の相互連携や各部の運営目標の設定により PDCA のマネジメントサイクルを推進し、事業の選択と集中を図りながら、計画的かつ効果的な行政運営に努めます。</p> <p>行政評価を活用しながら、所期の目的に照らし効果が薄れてきた事業については廃止又は縮小する一方、重要な事業は拡大するなど事業の見直しを行います。</p> <p>情報通信技術を最大限に活用し、業務の迅速化と効率化を図りつつ、情報セキュリティ対策の強化に努めます。</p>
②	最適な主体・手法による行政サービスの提供	<p>公共施設については、引き続き指定管理者制度を活用するとともに、費用対効果等を考慮し、効率的にサービス提供が可能な業務については、民間活力の導入を図ります。</p> <p>広域的な推進が求められる事務事業については、国や県、他の市町村との連携を深めます。</p>
③	窓口サービスの充実	<p>総合窓口においては、「便利さ」や「わかりやすさ」を実感できるよう窓口案内の改善・充実を図るとともに、市民が来庁目的を達成できるよう、職員の接遇や意識の向上を図るなどしながら、市民満足度の高い窓口サービスの提供に努めます。</p> <p>市民の利便性の向上を図るため、コンビニエンスストアでの市税等の納入や各種証明書の交付<b>などの取り組み</b>の充実に努めます。</p>
④	最適な組織体制の構築	<p>適時適切な組織機構の見直しを行うとともに、必要に応じてプロジェクトチームを活用することにより、社会経済情勢等の変化や新たな行政需要に対し、迅速に対応します。</p> <p>効率的で質の高い行政サービスの提供に不可欠な職種や職員数を確保するため、新たな定員管理計画を策定し、適切な定員管理に努めます。</p>
⑤	適正な人事管理と人材育成	<p>人材育成基本方針に基づき、職員一人ひとりの能力や資質の向上を図るため、地方分権時代に求められる政策形成や政策法務能力を高める研修など、多様な研修機会の創出に努めます。</p> <p>職員の能力や適性を的確に把握し、最大限に発揮させるため、人事評価や職員の意向調査などを活用しながら、適正な人事管理に努めます。</p> <p>各種検診やメンタルヘルス講習会等を実施し、職員の心身の健康維持に努めます。</p>

**【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】**

	取組み	主体	期待される波及効果
①	行政改革推進委員会をはじめとする様々な附属機関等に参画し、計画の進捗状況について評価するとともに、効果的な行政運営が行われるよう市に提言します。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：-

<p><b>【主な部門別計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>白河市第2次行政改革大綱</li> <li>白河市第2次行政改革実施計画</li> <li>白河市定員管理計画</li> <li>白河市人材育成基本方針</li> </ul>
--



## 施策 7-6

## 健全な財政運営の推進

## 【めざすまちの姿】

市民協働を推進し、全職員共通の認識のもと、事務事業の見直し及び選択と集中による効果的な予算配分を図るとともに、自主財源の確保に努めることで、将来にわたり持続可能な自治体経営が実現しています。

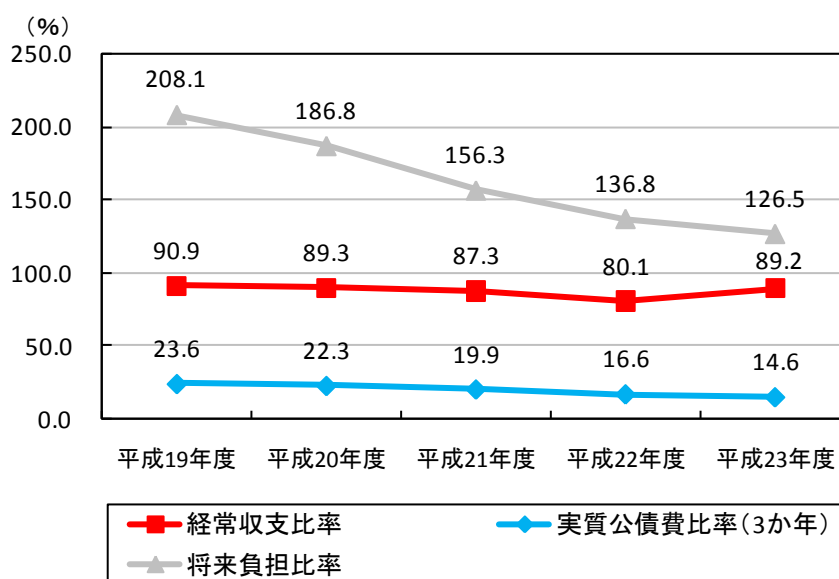
## 【めざす姿の成果指標】

指標名	単位	現状値 (平成24年度)	目標値 (平成29年度)	方向性
①経常収支比率	%	89.2	90以下	一定レベルを維持する
②実質公債費比率	%	14.6	12~14	減少を目指す
③将来負担比率	%	126.5	110前後	減少を目指す
④市税収納率（現年課税分）	%	96.0	98.0	増加を目指す

## 【現状と課題】

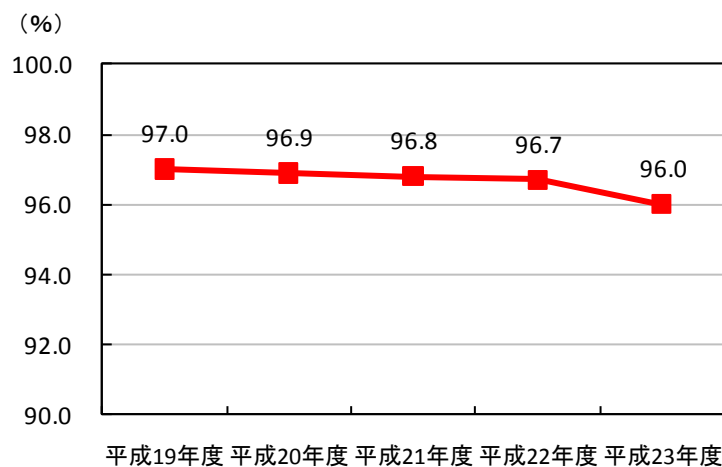
- 合併直後の硬直化した財政運営からの脱却を目指した「人件費」や「物件費」の削減効果と、繰上償還による「公債費」の負担軽減により、健全化を示す財務指標は改善しています。
- 財務指標は改善傾向にあるものの、他団体との比較において公債費と普通建設事業費は大きく上回っている状況にあります。
- 現行制度では、「普通交付税合併算定替期間」である特例措置が平成27年度で終了となり、平成28年度からは段階的に減額され、平成33年度には大幅な普通交付税の減収が見込まれています。
- 歳出については、少子・高齢化への対応などにより扶助費の増加が今後も見込まれます。限られた予算の中、市民が必要と認め、費用対効果のある事業を優先して実施していく必要があります。
- 「社会保障と税の一体改革」など、重要な財源である普通交付税を取り巻く国の動向を注視する必要があります。
- 東日本大震災及び原子力災害、さらには景気低迷の影響など社会経済の動向を踏まえて、全職員が共通認識のもと、事務事業の徹底的な見直しを図るとともに、あらゆる財源の確保に最大限に努めることが求められています。

■ 経常収支比率・実質公債費比率（3か年）・将来負担比率の推移



資料：財政状況資料集（財政課）

■ 市税収納率（現年課税分）の推移



資料：収税課

## 【主要な取組み】

取組み		内容
①	安定した自主財源の確保	<p>社会保障と税の一体改革、さらには社会経済の動向を把握しながら、法令に基づく適正な課税客体の把握に努め、公平公正な賦課決定を行うとともに、滞納整理計画の早期実施による市税収納率の向上を図ります。</p> <p>また、適正な受益者負担に立った使用料・手数料の見直し、積極的な遊休財産の処分・活用を図ることにより財源の確保に努めます。</p>
②	中長期的な財政構造の健全化	<p>「財政計画」に基づく財政運営により、歳入の確保と歳出規模の適正化に努めるとともに、公債費の負担軽減や基金への積み立て等を実施することにより、財源調整機能の強化を図ります。</p> <p>また、市の広報紙やホームページを通じて、市の財政状況や預かった税の使われ方を市民に分かりやすく説明し、市民が中長期的な視点で本市の将来を理解し、考えることのできる環境を整えます。</p>

## 【めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”】

取組み		主体	期待される波及効果
①	市の財政状況について理解に努めるとともに、納税者・受益者としての意識を持ちます。	市民（納税者・受益者）	主要な取組み：① 成果指標：④

## 【主な部門別計画】 白河市財政計画

**写真を挿入予定**





# 重点戦略プラン

1 重点戦略プラン設定の方法

2 重点戦略プラン設定の具体化

重点戦略プラン1 白河の安心で安全な暮らしを支える環境づくり

重点戦略プラン2 活力にあふれ躍動する白河の礎づくり

重点戦略プラン3 白河の歴史と文化を活かしたまちづくり

重点戦略プラン4 白河の未来を担う人と輝く地域づくり



## 1 重点戦略プラン設定の方法

本市の将来像である「みんなの力で未来をひらく 歴史・文化のいきづくまち 白河」の実現を目指し、総合計画を着実に推進するため、基本構想に掲げるまちづくりの理念を基に、中長期的な視点に立って、重点的に取り組むべき課題に対応したプロジェクトを「重点戦略プラン」として設定します。

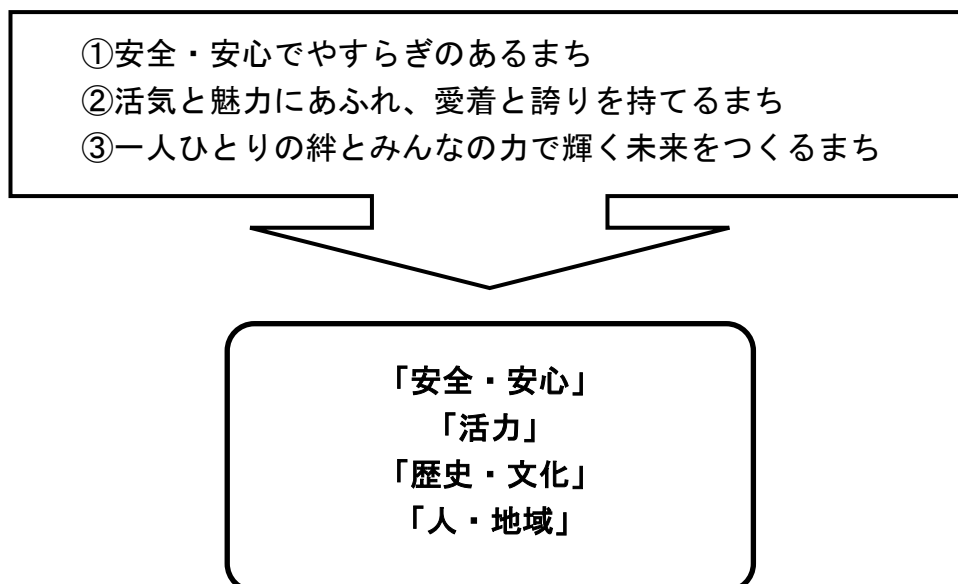
重点戦略プランは、市民満足度調査結果の分析や市の社会経済指標にみられる課題等を総合的に把握し設定することで、基本計画の7つの分野ごとに体系的に展開される施策を横断した観点で、財源の重点的・優先的な配分などにより戦略的な取組みを進めることとします。

## 2 重点戦略プラン設定の具体化

### (1) まちづくりの理念を踏まえた戦略の構築

基本構想に掲げる「みんなの力で未来をひらく 歴史・文化のいきづくまち 白河」は、まちづくりの理念である①「安全・安心でやすらぎのあるまち」、②「活気と魅力にあふれ、愛着と誇りを持てるまち」、③「一人ひとりの絆とみんなの力で輝く未来をつくるまち」に基づいて定められているため、まちづくりの理念を踏まえて重点戦略プランを設定します。

そのため、まちづくりの理念の3つから、核となるキーワードをそれぞれ抽出し、次のとおりに定めます。



## (2) 基本目標を踏まえたプロジェクト（施策・事業）の構築

これらの4つのキーワードに基づき、基本目標を参考にして、重点プロジェクトを次のように構築します。

- ①「安全・安心」⇒白河の安心で安全な暮らしを支える環境づくり
- ②「活力」⇒活力にあふれ躍動する白河の礎づくり
- ③「歴史・文化」⇒白河の歴史と文化を活かしたまちづくり
- ④「人・地域」⇒白河の未来を担う人と輝く地域づくり

## (3) 重点戦略プランを推進する上での視点

①「白河の安心で安全な暮らしを支える環境づくり」、②「活力にあふれ躍動する白河の礎づくり」、③「白河の歴史と文化を活かしたまちづくり」、④「白河の未来を担う人と輝く地域づくり」の推進に向けて、次の視点を考慮し各戦略の施策構築に取り組んでいきます。

### ①白河市の強みや地域特性の活用

東北地方の玄関口として宮城県等の東北各地や首都圏と直結した高速交通体系、歴史文化資源を活かしたまちづくり、阿武隈川等の河川や里山等をはじめとした豊かな自然と共生した住環境、商業・医療・交流施設や公園等の都市機能の集積等の強みや地域特性を効果的に活用する視点。

### ②新たな社会的ニーズへの対応

環境や観光、防災分野等において、社会情勢の変化や技術革新等により導入可能となった新たな財やサービスを踏まえた社会的ニーズに対応する視点。

### ③地域での暮らしを支え、人を育む支援

地域の中で暮らす誰もが健やかでいきいきと暮らせる支え合いの地域社会づくりを進めるとともに、本市の未来を担い、明るい未来を築いていく人材の育成を図る視点。

## 白河の安心で安全な暮らしを支える環境づくり

## 【ねらい】

東日本大震災の発生以降、その教訓を踏まえた復興のまちづくりプランである「白河市震災復興計画」を策定し、復興に向けた取組みが進む一方、震災と[原発事故](#)がもたらした傷跡は今なお残っており、引き続き、放射性物質による環境汚染からの回復や市民の健康不安の解消といった復興を目指す上で克服すべき課題の解決に取り組んでいく必要があります。

そのため、放射性物質の継続的なモニタリングと除染、汚染廃棄物の適切な処理の推進による環境の回復、市民の健康維持や安全確保に努めるとともに、防災・減災対策による災害に強いまちづくり等の取組みを進めることにより、全ての市民の安心で安全な暮らしを支える環境を実現します。

## 【戦略プロジェクト】

## (1) 環境回復プロジェクト

主要な取組み：除染対策の推進  
汚染廃棄物の円滑な処理  
安全・安心な農村物の提供 等

## (2) 市民の心身の健康を守るプロジェクト

主要な取組み：放射線等の実態把握  
原子力災害に伴う市民の健康管理  
地域医療体制の整備 等

## (3) 災害・減災対策プロジェクト

主要な取組み：防災・減災体制の強化  
防災・減災施設の整備  
[災害に強く安全・安心な道路等の整備](#) 等

## 活力にあふれ躍動する白河の礎づくり

### 【ねらい】

1990年代からはじまった長引く景気低迷を背景に、国内外を問わず経済・雇用環境は厳しい状況下にあります。本市においても、低水準の就業率や高い水準の完全失業率、市内総生産額の低下から見られるように、例外なく低迷しています。また、原発事故による風評被害等が地域産業へ与えた影響は大きく、その対応が喫緊の課題となっています。このため、地域社会が直面する不況や閉塞感を打開し、地域経済を活性化させることが必要です。

そのため、市が有する高速交通体系などの優位性を最大限に活用した企業誘致・産業集積の促進をはじめ、地域産業の活力創出を担う中小企業への支援、産業を支える人材の育成に取り組むとともに、風評の払しょくによるイメージの回復及び農産物等の放射性物質汚染からの安全確保に努めることにより、地域経済の生産性が向上し、活気を取り戻すことができる産業基盤の構築を実現します。

### 【戦略プロジェクト】

#### (1) 地域産業振興プロジェクト

主要な取組み：企業誘致の促進  
 中小企業等への支援の充実  
 中心市街地の活性化 等

#### (2) 風評払しょくプロジェクト

主要な取組み：イメージ回復と観光客の誘致  
 地産地消・ブランド化の推進  
 観光情報の発信 等

#### (3) 低炭素社会推進プロジェクト

主要な取組み：再生可能エネルギーの導入促進  
 資源循環型社会の普及啓発 等

## 白河の歴史と文化を活かしたまちづくり

## 【ねらい】

本市には、古くから受け継がれてきた地域固有の歴史的・文化的資源や優れた自然・景観等が豊富にあります。こうした魅力あふれる地域資源を守り育み・活かし伝えていくため、自然や風土に配慮しながらその魅力を最大限に活かしたまちづくりを進めることが必要です。

そのため、歴史文化資源を活かした街並みの形成や史跡・文化財などの多様な地域資源を活用した観光・交流の促進、市内の優れた文化芸術活動の創造・発信による地域文化の形成を図ることにより、白河の歴史・文化を活かした魅力あるまちづくりを実現します。

## 【戦略プロジェクト】

## (1) 歴史まちづくりプロジェクト

主要な取組み：郷土の歴史や伝統文化の保存・継承  
歴史的街並み景観の保全・活用  
史跡を活かした公園等の保存管理と整備 等

## (2) 文化創造・発信プロジェクト

主要な取組み：文化・芸術活動の推進  
文化交流拠点の整備 等

## (3) 観光・交流プロジェクト

主要な取組み：着地型観光の推進  
地域間交流の推進 等

## 白河の未来を担う人と輝く地域づくり

## 【ねらい】

人口減少・高齢化の進行により、あらゆる分野の存立基盤が弱体化する傾向にあります。こうした中、持続可能な社会の構築を目指し、誰もが住み良い地域をこれからも維持していくためには、その担い手となり、次世代へと受け継ぐことができる人材の育成とそのような人々が活躍できる環境づくりが重要です。

そのため、白河の未来を担い、地域を支えていく子どもたちを生み、育てやすい環境づくり、社会の変化に適応し生き抜く力を育む人づくり、地域の課題を地域住民が主体的に解決していく力となる地域コミュニティの力の再生を図ることにより、白河の未来を担う人と輝く地域を実現します。

## 【戦略プロジェクト】

## (1) 子どもを生み、育てやすい環境づくりプロジェクト

主要な取組み：子どもの健やかな発達支援の充実  
 出産・子育てできる環境整備  
 家庭・地域・学校等との連携 等

## (2) 生き抜く力を育む人づくりプロジェクト

主要な取組み：確かな学力の向上  
 郷土の歴史教育の充実  
 生涯学習機会の提供 等

## (3) 地域コミュニティの力再生プロジェクト

主要な取組み：高齢者の生きがいの推進  
 地域福祉活動の活性化  
 特色ある地域コミュニティ活動への支援 等